


ネットワークカメラ ユーザマニュアル

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご質問・ご要望については、ご遠慮なく販売店までご連絡ください。

著作権

Copyright 2015-2018 Zhejiang Uniview Technologies Co., Ltd. 無断複写転載等を禁ず。当社の事前の書面による許可なく、いかなる形式または手段でも、本マニュアルの全体または一部を複写・複製・翻訳・配布することは一切できません。

商標に関する確認

 など Uniview の商標やロゴは Zhejiang Uniview Technologies Co., Ltd. の所有物です。本書に記載されている他の商標、企業名、製品名は、すべて、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項



注意！

デフォルトパスワードは最初のログインに使用されます。アカウントのセキュリティを確保するため、最初のログイン後に、パスワードを変更してください。強力なパスワード（8文字以上）を設定するよう推奨します。




- 該当法規の規定により、本書で説明されている製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、ドキュメントを含む）は「現状のまま」で提供されます。
- 本書の内容について完全性や正確性を期していますが、本書内の記述、情報、推奨事項は、明示・暗示を問わず一切の保証なしに提供されます。本書の技術的誤謬や誤植について、当社は一切責任を負いません。本書の内容は予告なく変更されることがあります。更新された記述内容は、本書の新版に追加されます。
- 本書の使用ならびにそれによって生ずる結果は、すべて使用者が責任を負うものとします。当社では、収益の損失、業務の中断、データやドキュメントの喪失等、本製品の使用に起因するいかなる特別損害、結果的損害、偶発的損害、間接的損害に関して、一切責任を負いません。
- 動画および音声による監視を規定する法規は、国ごとによって異なります。監視目的で本製品を使用する前に、お住まいの地域の法規を確認してください。装置の違法な操作に起因するいかなる結果に関しても、当社では一切責任を負いません。
- 本書に記載されている機能は単なる参考に過ぎず、実際のバージョンや機種と異なる可能性があります。本書に掲載のスクリーンショットは、特定の要件やユーザの好みに応じてカスタマイズされている場合があります。その結果、例や機能の一部が、お使いのモニターの表示内容と異なることがあります。
- 本書は多数の製品機種のガイドとして作成されており、特定の製品を意図したものではありません。
- 物理環境などの不確定要素により、実際の値と本書の参考値が食い違うことがあります。最終的な解釈は当社の一存に委ねられます。

環境保護

本製品は環境保全の要件を満たすよう設計されています。適切な方法で保管・使用・廃棄するため、各国の法規や規則を遵守してください。

記号

本書には下表の記号が使用されています。危険な状況を回避するため、各記号の指示に従い、製品を正しく使用してください。

記号	説明
 警告！	重要な安全上の指示が記載され、使用者が怪我をする原因となる状況が示してあります。
 注意！	すなわち、使用者の注意を要し、不適切な方法で使用すると、製品が破損したり動作不良になる状況を意味します。
 ヒント！	製品の使用に関する役に立つ情報や追加情報を意味します。

目次

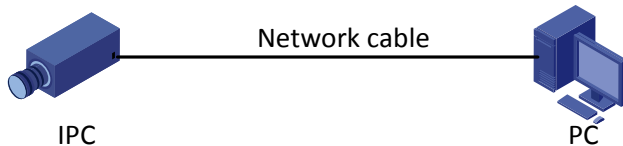
1 ネットワーク接続	1
2 ログイン	1
準備	1
ウェブインターフェースへのログイン	3
ウェブインターフェースについて	5
初期設定	5
3 パラメータの設定	6
ローカルパラメータ	6
ネットワークの設定	8
イーサネット	8
ポート	12
FTP	12
Eメール	14
ポートマッピング	15
DNS	15
DDNS	15
EZCloud	16
SNMP	16
802.1x	17
QoS	17
画像の設定	18
画像調整	18
OSD設定	29
プライバシーマスク	31
音声とビデオの設定	32
ビデオ設定	32
音声コンフィギュレーション	34
スナップショット	35
ROI	36
メディアストリームコンフィギュレーション	37
インテリジェントアラームコンフィギュレーション	39
スマート設定	39
クロスライン検知	40
侵入検知	41
移動物体	42
置き忘れ物	43
顔検知	44
人数カウント	44
自動追跡	45
ヒートマップ	46
デフォーカス検知	47
シーン変更検知	47
高度な設定	48
ボックス-ドームのリンケージ	49

共通アラームコンフィギュレーション	52
動体検知アラームの設定	52
タンパーアラームの設定	56
音声検知アラームの設定	57
アラーム入力の指定	58
アラーム出力の設定	59
メモ리카ードストレージ	61
エッジストレージの設定	61
キャッシュポスト録画の設定	63
システムメンテナンス	64
セキュリティ	64
システム時刻の設定	67
サーバの設定	68
シリアルポートモードの設定	69
ワイパーコントロール	72
デバイス状態の表示	72
写真ストレージの状態	73
デバイスのアップグレード	74
システムの再起動	74
システム設定ファイルのインポートとエクスポート	74
診断情報の収集	75
フォーカス設定	75
デバイス取付高さ	76
魚眼カメラパラメータ	76
4 ライブビュー	78
ライブビューツールバー	79
画像中の特定エリアの表示	80
デジタルズームの使用	80
エリアフォーカスの使用	81
3D ポジショニングの使用	82
魚眼カメラのライブビュー	82
パノラマカメラの 5ePTZ	84
5 エッジストレージによるビデオ再生とダウンロード	86
ビデオ再生	86
ダウンロード	87
6 PTZ コントロール	87
PTZ コントロールツールバー	87
プリセットによるパトロールの設定	88
プリセットの設定	88
パトロールの設定	90
ホームポジションの設定	95
PTZ のリモートコントロール	95
PTZ の限界	96
パトロールの再開	96
7 LPR (ナンバープレート識別)	97
LPR ライブビュー	97

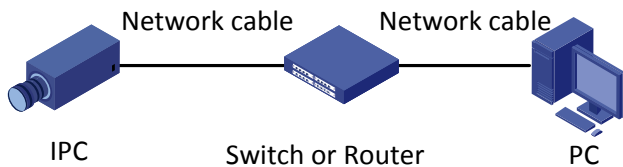
LPR の設定.....	97
付録 A 用語集.....	100
付録 B よくある質問.....	101

1 ネットワーク接続

PCからネットワークカメラ（別名 IP カメラ、IPC）にアクセスする前に、ネットワークケーブルを使用して直接、または、スイッチやルータを介して、PC にネットワークカメラを接続する必要があります。



シールド付ツイストペア（STP）ケーブルを使用して、ネットワークカメラのネットワークインターフェースと PC を接続します。



シールド付ツイストペア（STP）ケーブルを使用して、カメラのネットワークインターフェースとスイッチまたはルータを接続します。

2 ログイン

準備

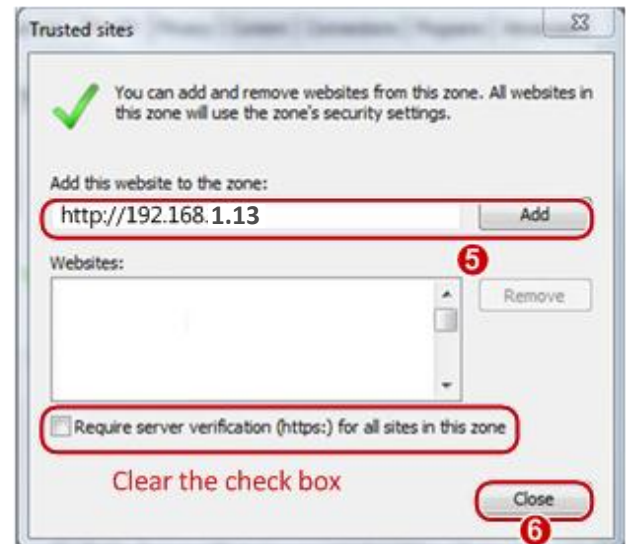
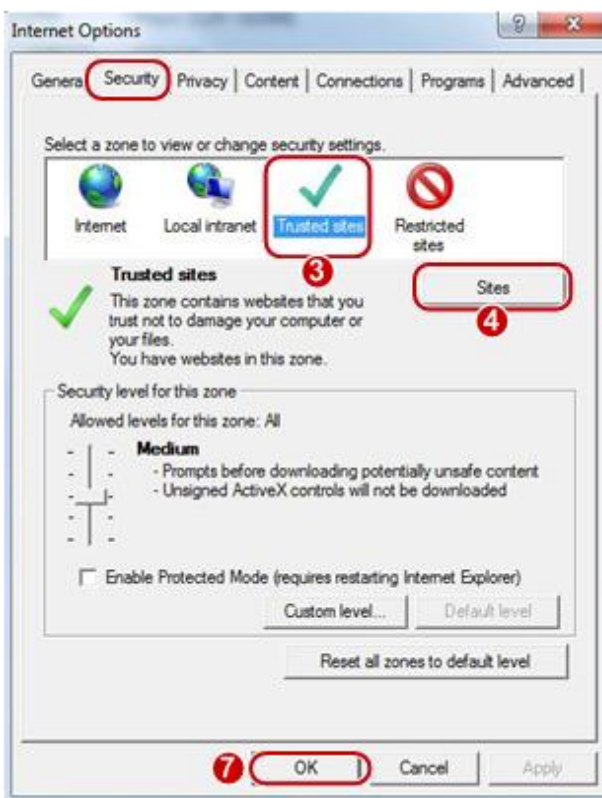
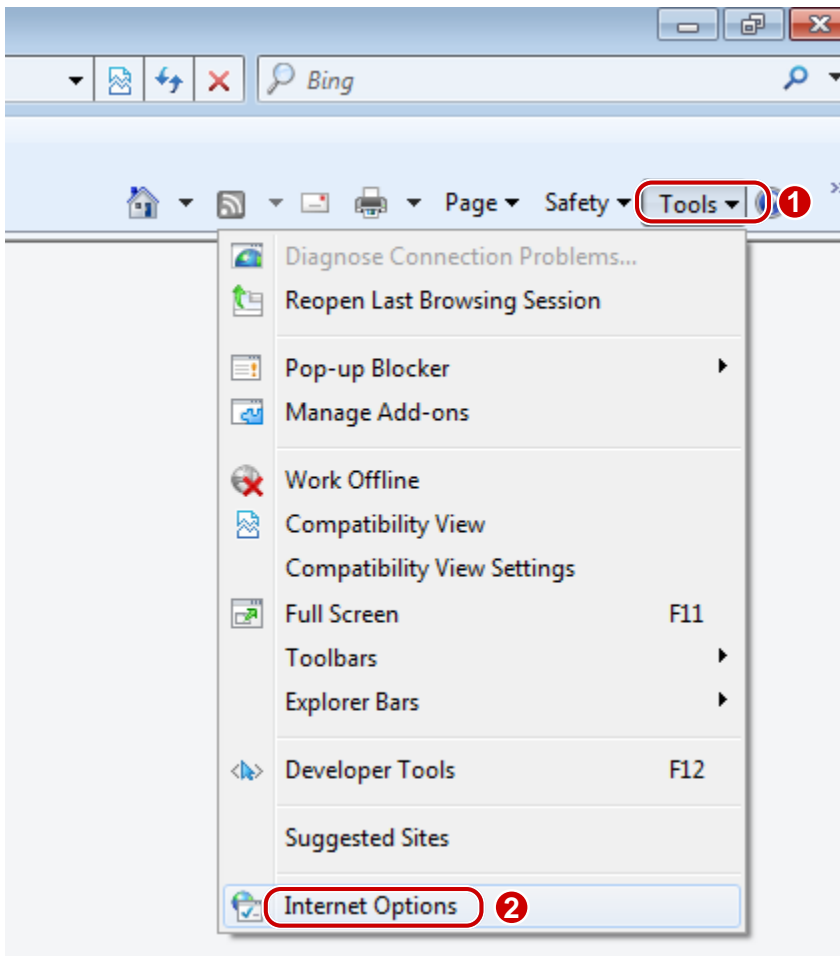
クイックガイドに従って設置を完了したら、カメラを電源に接続して起動します。カメラが起動すると、ウェブブラウザまたは EZStation クライアントソフトウェアをインストールした PC クライアントから、カメラにアクセスできます。ウェブブラウザとして Internet Explorer（IE）を推奨します。EZStation の詳細については、*EZStation ユーザマニュアル*を参照してください。

次に、Microsoft Windows7 オペレーティングシステムにインストールした IE を例にとって説明します。

ログイン前のチェック

- カメラが正常に動作している。
- PC とカメラとのネットワーク接続が正常に動作している。
- PC に Internet Explorer バージョン 10.0 以降がインストールされている。
- （オプション）解像度が 1440 x 900 に設定されている。

信頼できるサイトとして IP アドレスを追加する



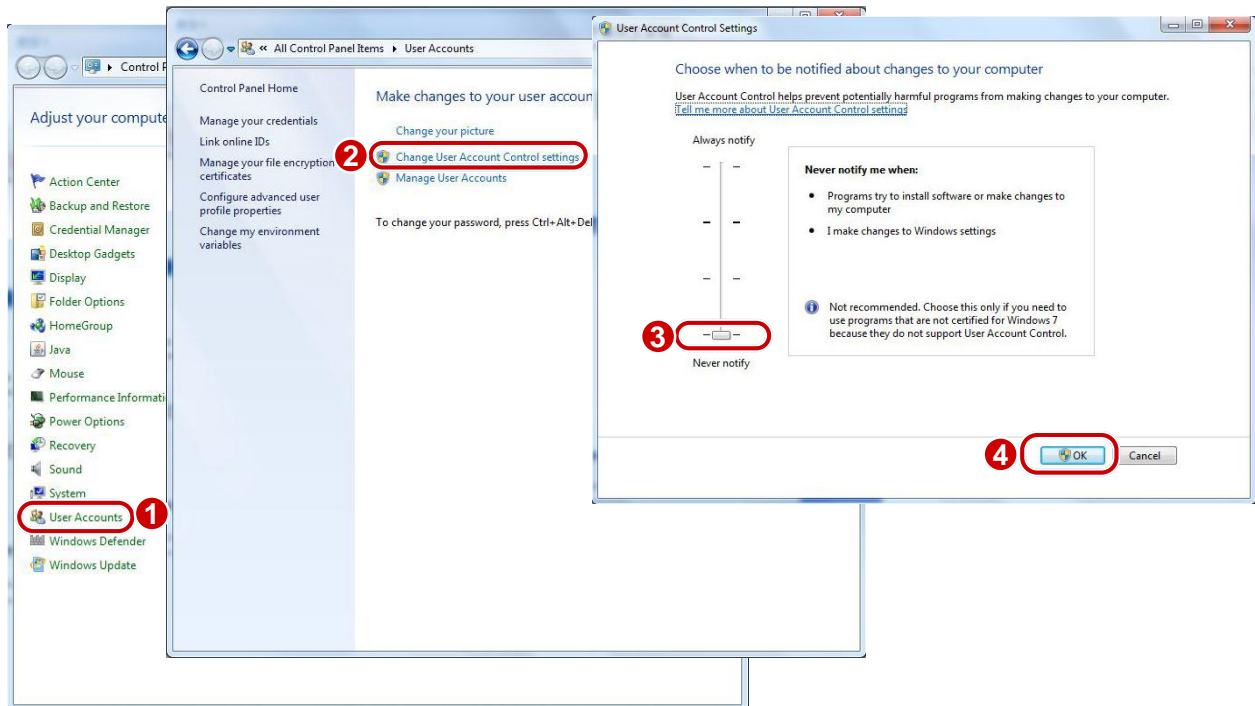


ヒント！

この例の IP アドレス 192.168.1.13 は、デフォルト IP アドレスです。アドレスを変更した場合は、実際のカメラのアドレスと入れ換えてください。

(オプション) ユーザアクセス管理設定の変更

カメラにアクセスする前に、手順に従って、**User Account Control Settings** を **Never notify** に設定します。



ウェブインターフェースへのログイン

カメラのデフォルトの静的 IP アドレスは 192.168.1.13 で、デフォルトのサブネットマスクは 255.255.255.0 です。

デフォルトでは DHCP が起動します。ネットワークで DHCP サーバが使用されている場合、カメラの IP アドレスが動的に割り当てられるので、正しい IP アドレスを使用してログインする必要があります。EZStation クライアントを使用して、カメラの動的 IP アドレスを表示します。

以下で、IE を例に取り上げてログイン手順を説明します。

1. アドレスバーに、カメラの正しい IP アドレスを入力して、ログインページを表示させます。



2. 初めてログインする際には、システムの指示に従って ActiveX をインストールしてください。インストールを完了するには、ブラウザを閉じる必要があります。



ヒント！

- 手動で ActiveX をロードするには、アドレスバーに `http://IP address/ActiveX/Setup.exe` を記入して、**Enter** を押します。
- デフォルトパスワードは最初のログインに使用されます。アカウントのセキュリティを確保するため、最初のログイン後に、パスワードを変更してください。強力なパスワード（8文字以上）を設定するよう推奨します。
- カメラは、ログインの失敗回数を制限して、不正なアクセスから保護しています。6回続けてログインが失敗すると、自動的にカメラは10分間ロックされます。

3. ユーザの初回ログイン時に、画面にプライバシーポリシーが表示されます。プライバシーポリシーを読んだら、「プライバシーポリシーを読んで同意しました」ボックスにチェックマークを入れ、「OK」ボタンをクリックし、次の手順に進みます。

Privacy Policy

Privacy Policy of Uniview Technologies

Introduction

Uniview Technologies highly emphasizes protection of users' personal information and privacy, and to this end we established this Privacy Policy to inform users how their information is collected, used, shared, stored, and protected. With this Privacy Policy, you will get to know the ways of processing your personal information by us. This Privacy Policy is closely related to the use of products and / services of Uniview Technologies by you, and you shall carefully read and fully understand this Privacy Policy, and make proper choices based on your judgment accordingly, before you use any products and/or services of Uniview Technologies. You should stop using any products and/or services of Uniview Technologies immediately if you disagree with any content in this Privacy Policy. The use of any product and/or service of Uniview Technologies by you will be considered that you agree and fully understand entire content of this Privacy Policy. ("Uniview Technologies" and "we/us" referred to hereinafter all represent "Zhejiang Uniview Technologies Co., Ltd.")

I. Scope of Information Collection

Personal information and non-personal information of the user, resident and yourself may be collected by us when products and/or services of Uniview Technologies are used by you.

Personal information refers to any information that relates to certain natural person and that may be used to identify certain natural person when combined with other information, including but not limited to name, gender, date of birth, domicile, telephone number, E-mail address, mailing address, payment information, and personal video content.

Non-personal information refers to, other than personal information, data that no direct connection to any specific person may be determined by solely relying on such data, such as profession, language, zip code, area code, serial number, URL, automatically recorded access data (e.g. type of

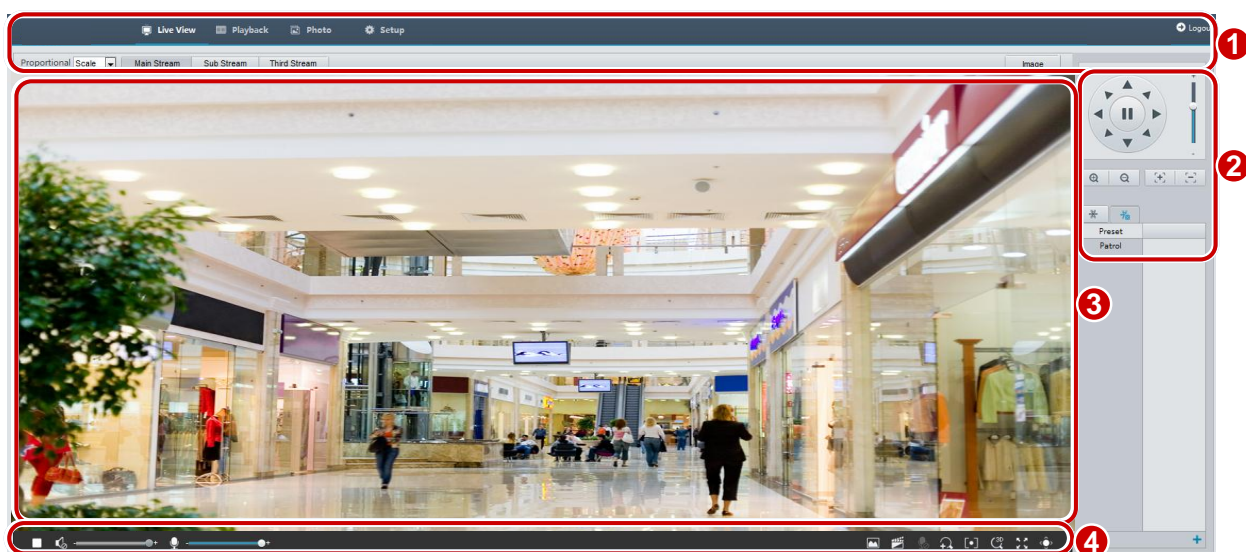
I have read and agree to the above policy

OK Cancel

4. ユーザ名とパスワードを入力し、**Login** をクリックします。初めてログインする際には、デフォルトユーザ名「admin」とパスワード“123456”を使用してください。
- **Live View** を選択してログインすると、ログイン時にライブビューが表示されます。それ以外の場合は、ライブビューウィンドウで、手動でライブビデオを起動する必要があります。
 - **Save Password** を選択してログインすると、ログインするたびにパスワードを入力しなくても済みます。ただし、セキュリティを確保するため、**Save Password** を選択しないよう推奨します。
 - **Username** と **Password** のテキストボックスと **Save Password** チェックボックスをクリアするには、**Reset** をクリックします。

ウェブインターフェースについて

デフォルトでは、ウェブインターフェースにログインしたときに、ライブビューウィンドウが表示されます。下にその一例が挙げてあります。



番号	説明
1	メニュー
2	PTZ コントロールエリア 注意： このエリアは、PTZ ドームカメラと PTZ カメラで使用できます。
3	ライブビューウィンドウ
4	ライブビューツールバー

初期設定

デバイスにログインしたら、次のような初期設定を実行してください。

項目	説明
1. TCP/IP イーサネット 。	実際のネットワークに基づいて、デバイス IP とネットワークパラメータを再設定します。
2. 一旦ログアウトしてから、新しい IP アドレスを使用して再度ログインします。	-
3. システム時刻を設定する 。	実際の状況に応じてシステム時刻を設定します。
4. (オプション) 管理サーバを設定する 。	実際のネットワークに基づいて、管理サーバを設定します。
5. (オプション) 写真保管用のサーバを設定します。	実際のネットワークに基づいて、写真保管用のサーバを設定します。

項目	説明
6. OSD を設定する 。	必要に応じて、時刻など、画面に表示される情報を設定します。
7. (オプション) ユーザを管理する 。	必要に応じて、デフォルトパスワードを変更し、共通ユーザを追加します。

初期設定を終了するとライブビデオを閲覧することができます。必要に応じて他のパラメータも設定してください。



ヒント！

- 表示されたライブビューインターフェースとパラメータと値の範囲は、モデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。
- グレーアウトされているパラメータは変更できません。実際の設定については、ウェブインターフェースをご覧ください。
- 初めてログインする際は、パスワードを変更するよう推奨されます。パスワード変更の詳細については、[セキュリティ](#)を参照してください。

3 パラメータの設定

ローカルパラメータ

PCにローカルパラメータを設定します。



ヒント！

ローカルパラメータはモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. [Setup] > [Common] > [Local Settings] を選択します。

Intelligent Mark	
Untriggered Target	Disable
Video	
Processing Mode	Fluency Priority
Protocol	TCP
Audio	
Encoding Format	G.711U
Recording and Snapshot	
Recording	Subsection By Time
Subsection Time (min)	30 [1-60]
When Storage Full	<input checked="" type="radio"/> Overwrite Recording <input type="radio"/> Stop Recording
Total Capacity(GB)	10 [1~1024]
Local Recording	TS
Files Folder	C:\IPC\ <input type="button" value="Browse..."/> <input type="button" value="Open"/>

2. 必要に応じて設定を変更します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ		説明
インテリジェントマーク	未トリガーターゲット	有効にすると、カメラに、ターゲット（顔検知が有効な場合は顔）のオンスクリーンマークが表示され、それが追跡されます。
ビデオ	処理モード	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイム優先 : ネットワークの状況が良好な場合に推奨されます。 スムージング優先 : ライブビデオでタイムラグを小さくしたい場合に推奨されます。 超低遅延 : ライブビデオでタイムラグを最小限に抑えたい場合に推奨されます。
	プロトコル	メディアストリームを送信して PC でデコードする際に使用されるプロトコルを設定します。
録画とスナップショット :	録画	<ul style="list-style-type: none"> 時間による分割 : コンピュータ内の各録画ファイルの録画済みビデオの再生時間です。例 : 2分。 サイズによる分割 : コンピュータに保存されている各録画ファイルのサイズです。例 : 5M。
	録画上書き	<ul style="list-style-type: none"> 上書き : コンピュータ内で割り当てられているストレージスペースを使い果たした場合、カメラは、新しい録画ファイル用のスペースを作るため、既存の録画ファイルを削除します。 完全停止 : コンピュータ内で割り当てられているストレージスペースが一杯になると、自動的に録画が停止します。
	ファイルフォルダ	<ul style="list-style-type: none"> スナップショットと録画の保存パスです。最大パス長は 260 バイトです。上限を上回ると、ライブビューでの録画やスナップショットが失敗し、画面にメッセージが表示されます。

3. Save をクリックします。

ネットワークの設定

イーサネット

カメラが他のデバイスと通信できるように、カメラの IP アドレスなどの通信設定を変更します。



ヒント！

- IP アドレスを変更した後は、新しい IP アドレスを使用してログインする必要があります。
- ドメイン名でデバイスにアクセスする際には、DNS（ドメイン名システム）サーバの設定が適用されます。

静的アドレス

1. [Setup] > [Network] > [Network] とクリックします。

Obtain IP Address	Static
IP Address	203.3.1.99
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	203.3.1.1
IPv6	
IPv6 Mode	Manual
IPv6 Address	
Prefix Length	64
Default Gateway	
MTU	1500
Port Type	FE Port
Operating Mode	Auto-negotiation

2. **Obtain IP Address** ドロップダウンリストから **Static** を選択します。
3. IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。ネットワーク内で、カメラの IP アドレスが一意になっている必要があります。
4. **Save** をクリックします。

PPPoE



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

カメラが Point to Point over Ethernet（PPPoE）を介してネットワークに接続される場合、IP 取得モードとして PPPoE を選択する必要があります。

1. [Setup] > [Network] > [Network] とクリックします。

The screenshot shows a network configuration interface. At the top, 'Obtain IP Address' is set to 'PPPoE'. Below it, 'Username' is 'user' and 'Password' is masked with dots. A section titled 'IPv6' contains 'IPv6 Mode' set to 'Manual', and empty fields for 'IPv6 Address', 'Prefix Length' (set to '64'), and 'Default Gateway'. At the bottom, 'MTU' is '1500', 'Port Type' is 'FE Port', and 'Operating Mode' is 'Auto-negotiation'.

2. **Obtain IP Address** ドロップダウンリストから **PPPoE** を選択します。
3. インターネットサービスプロバイダー（ISP）から提供されたユーザ名とパスワードを入力します。
4. **Save** をクリックします。

DHCP

カメラの出荷時には、デフォルトでダイナミック・ホスト・コンフィギュレーション・プロトコル（DHCP）が有効になっています。ネットワークに DHCP サーバが展開されている場合、カメラは、自動的に、DHCP サーバから IP アドレスを取得することができます。

手動で DHCP を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. [Setup] > [Network] > [Network] とクリックします。

The screenshot shows the same network configuration interface as above, but 'Obtain IP Address' is now set to 'DHCP'. The 'IPv6' section and other settings remain the same.

2. **Obtain IP Address** ドロップダウンリストから **DHCP** を選択します。
3. **Save** をクリックします。

IPv6

1. [Setup] > [Network] > [Network] とクリックします。



IPv6	
IPv6 Mode	Manual
IPv6 Address	
Prefix Length	64
Default Gateway	

2. デフォルトでは、IPv6 モードは **Manual** に設定されています。
3. IPv6 アドレスを入力し、プレフィックスの長さとしてデフォルトゲートウェイを設定します。ネットワークで、IP アドレスが一意になっている必要があります。
4. **Save** をクリックします。

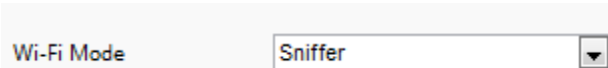
Wi-Fi



ヒント！

一部のモデルではこの機能はサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. [Setup] > [Network] > [Network] とクリックします。Wi-Fi タブをクリックします。



Wi-Fi Mode	Sniffer
------------	---------

2. **Sniffer** を選択します。
3. **Save** をクリックします。

一部のデバイスでは、Wi-Fi ネットワークを検索して接続することができます。

1. [Setup] > [Network] > [Network] と選択します。Wi-Fi Mode で Wi-Fi を選択します。

Wi-Fi Mode

Adaptive Streams On Off

Network Status

Current Status Disconnected

SSID None

IP Address 0.0.0.0

Subnet Mask 0.0.0.0

Default Gateway 0.0.0.0

Strength(%) 0

Wi-Fi Network

SSID	Channel	MAC	Authentication	Encryption	Strength(%)	Strength(dBm)

Wi-Fi

SSID

Password

Encryption

Authentication

Obtain IP Address

2. シグナル強度が表示されます。**Adaptive Streams** を起動します。このページには、他にも Wi-Fi ネットワークがあることが表示されます。再度 Wi-Fi ネットワークを検索するには、**Search** をクリックします。
3. Wi-Fi ネットワークリストで SSID をクリックします。対応するネットワークの情報が表示されます。
4. **Save** をクリックします。
5. **Wi-Fi Mode** が **Wi-Fi Hotspot** に設定されると、カメラは、他のデバイスの Wi-Fi ホットスポットとして機能することができます。

Wi-Fi Mode

Hotspot Settings

SSID

Password

Channel

Gateway Address

6. **Save** をクリックします。

ポート



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. **[Setup] > [Network] > [Port]** とクリックします。

HTTP Port	<input type="text" value="80"/>
HTTPS Port	<input type="text" value="443"/>
RTSP Port	<input type="text" value="554"/>

Note: Modifying the RTSP or server port number will cause the device to restart.

2. 関連するポート番号を設定します。
3. **Save** をクリックします。

FTP

すべてのスナップショット（顔検知を除く）は、一般的な FTP サービスを通じて保存されます。FTP を設定すると、ネットワークカメラから、指定の FTP サーバに、スナップショットをアップロードすることができます。

一般

1. **[Setup] > [Storage] > [FTP]** とクリックします。 **General** タブに進みます。

Server Parameters

Server IP	<input type="text" value="192.168.0.150"/>	Upload Images	<input type="checkbox"/>
Port No.	<input type="text" value="21"/>	Overwrite Storage	<input type="checkbox"/>
Username	<input type="text"/>	Overwrite At(image)	<input type="text" value="1000"/>
Password	<input type="text"/>	<input type="button" value="Test"/>	

Snapshot Image

Save To \\ [Preset No.] \ [IP Address] \ [Date] \ [Hour(s)]

Root Directory
 \\ \\ \\

File Name [Preset No.]-[PTZ Zoom]-[PTZ Latitude]-[PTZ Longitude].jpg

Separator

No.	Naming Element
1	<input type="text" value="Preset No."/>
2	<input type="text" value="PTZ Zoom"/>
3	<input type="text" value="PTZ Latitude"/>
4	<input type="text" value="PTZ Longitude"/>
5	<input type="text" value="None"/>

2. FTP サーバの IP アドレスとポート、FTP サーバへの画像アップロードに使用されるユーザ名とパスワードを設定し、**Upload Images**、**Overwrite Storage** を選択し、**Overwrite At**（画像上書き閾値）を設定します。一部のデバイスでは、FTP テストをサポートしています。その場合、FTP 設定を正しく完了した後に FTP をテストすることができます。
3. FTP サーバにスナップショットを保存するパスと、ファイル名フォーマットを設定します。たとえば、パスを、Preset No.\\IP Address\\Date\\Hour(s) と設定し、ファイル名を Preset No.-PTZ Zoom-PTZ Latitude-PTZ Longitude.jpg と設定します。
4. **Save** をクリックします。

スマート

この機能を使用して、顔認識などのスマート機能で撮影したスナップショットを保存します。FTP を使用するには、[Setup] > [System] > [Server] > [Intelligent Server] とクリックし、FTP へのプラットフォーム通信タイプを設定します。

1. [Setup] > [Storage] > [FTP] とクリックします。Smart タブに進みます。

Server Parameters

Server IP	<input type="text" value="192.168.0.150"/>	Custom Naming Rules	<input type="checkbox"/>
Port No.	<input type="text" value="21"/>	Convert Path into UTF8 Format	<input type="checkbox"/>
Username	<input type="text"/>		
Password	<input type="text"/>		
Device Name	<input type="text"/>		
Device ID	<input type="text" value="1"/>		
Intersection ID	<input type="text"/>		

Snapshot Image

Save To \\ [Preset No.] \ [IP Address] \ [Date]
Root Directory
 \\ \\

File Name [Preset No.]-[PTZ Latitude]-[PTZ Longitude]-[PTZ Zoom].jpg
Separator

No.	Naming Element	Naming Rule
1	<input type="text" value="Preset No."/>	
2	<input type="text" value="PTZ Latitude"/>	
3	<input type="text" value="PTZ Longitude"/>	
4	<input type="text" value="PTZ Zoom"/>	
5	<input type="text" value="None"/>	

2. FTP サーバの IP アドレスとポート、FTP サーバへの画像アップロードに使用されるユーザ名とパスワードを設定します。
3. FTP サーバにスナップショットを保存するパスと、ファイル名フォーマットを設定します。たとえば、パスを、Preset No.\\IP Address\\Date と設定し、ファイル名を Preset No.-PTZ Latitude-PTZ Longitude-PTZ Zoom.jpg と設定します。
4. Save をクリックします。

E メール

電子メールを設定すると、アラームがトリガーされたときに、指定のメールアドレスにメッセージを送信することができます。

1. [Setup] > [Network] > [E-mail] とクリックします。

Sender	
Name	<input type="text"/>
Address	<input type="text"/>
SMTP Server	<input type="text"/>
SMTP Port	<input type="text" value="25"/>
TLS/SSL	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
Snapshot Interval(s)	<input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> Attach Image
Server Authentication	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
Username	<input type="text"/>
Password	<input type="text"/>
Recipient	
Name1	<input type="text"/>
Address1	<input type="text"/> <input type="button" value="Test"/>
Name2	<input type="text"/>
Address2	<input type="text"/> <input type="button" value="Test"/>
Name3	<input type="text"/>
Address3	<input type="text"/> <input type="button" value="Test"/>

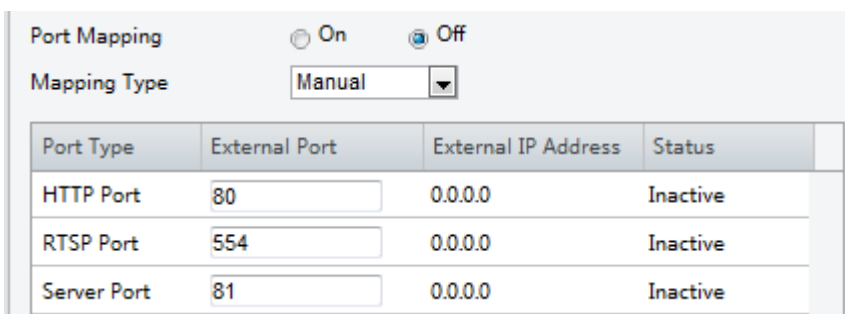
2. 送信者と受信者の関連パラメータを設定します。一部のデバイスでは、電子メールテストをサポートしています。受信者のアドレスを設定した後に、電子メールをテストすることができます。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
TLS/SSL	有効にすると、プライバシーを保護するために、電子メールは、TLS（トランスポート・レイヤー・セキュリティ）または（セキュア・ソケット・レイヤー）で暗号化されます。 電子メールは、まず、SSL 接続を通じて送信しようとしています。SMTP サーバが SSL をサポートする場合、電子メールは SSL 接続を通じて送信されます。サポートされない場合は、STARTTLS を使用して送信しようとしています。
画像の添付	有効にすると、電子メールには、キャプチャ間隔に従って撮影された、3 枚のインスタントスナップショットが添付されます。
ユーザ名/パスワード	登録電子メールアドレスのユーザ名とパスワードです。パスワードには、\/: の各特殊文字が使用できます。*?' "<> % &

3. Save をクリックします。

ポートマッピング

1. [Setup] > [Network] > [Port] とクリックします。Port Mapping タブに進みます。

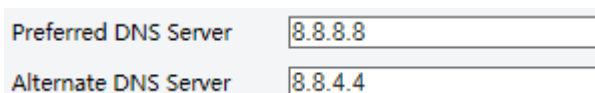


Port Type	External Port	External IP Address	Status
HTTP Port	80	0.0.0.0	Inactive
RTSP Port	554	0.0.0.0	Inactive
Server Port	81	0.0.0.0	Inactive

2. Port Mapping を有効にし、マッピングタイプを選択します。Manual が選択された場合、外部ポートを設定する必要があります（外部 IP はカメラによって自動的に取得されます）。設定されたポートが占有されている場合、Status が非アクティブと表示されます。
3. Save をクリックします。

DNS

1. [Setup] > [Network] > [DNS] とクリックします。



Preferred DNS Server	8.8.8.8
Alternate DNS Server	8.8.4.4

2. DNS サーバアドレスを設定します。
3. Save をクリックします。

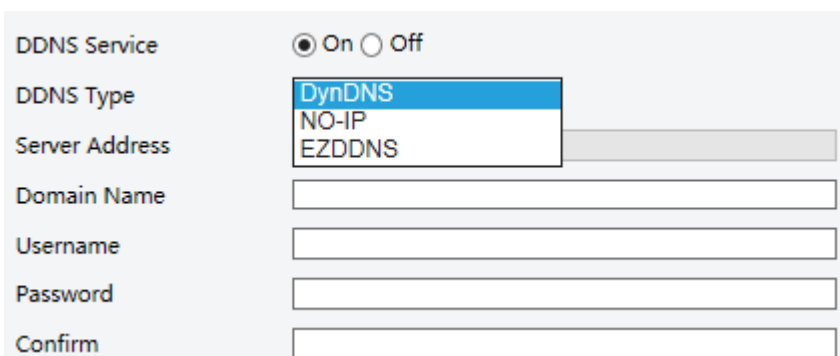
DDNS



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. [Setup] > [Network] > [DDNS] とクリックします。



DDNS Service	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
DDNS Type	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">DynDNS NO-IP EZDDNS</div>
Server Address	<input type="text"/>
Domain Name	<input type="text"/>
Username	<input type="text"/>
Password	<input type="text"/>
Confirm	<input type="text"/>

2. DDNS Service を有効にします。
3. DDNS タイプ : DynDNS、NO-IP、EZDDNS を選択します。
4. サーバアドレス、ドメイン名、ユーザ名、パスワードなど、他の設定を完了します。
5. Save をクリックします。


EZCloud



ヒント！

- この機能は一部のモデルでは利用できません。
- スマートフォン（iOS または Android）で QR コードをスキャンして、アプリをダウンロードします。
- インストールしたら、アプリを実行してカメラを追加します。詳しい手順については、アプリのオンラインヘルプを参照してください。

1. [Setup] > [Network] > [EZ Cloud] とクリックします。

EZCloud	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
Address	en.ezcloud.uniview.com
Register Code	1234567890123456789012345
Device Status	Offline
Scan	

2. On を選択してクラウドサービスを有効にします。
3. Save をクリックします。

SNMP

中央サーバで設定を転送する必要があるカメラでは、SNMPv3 が推奨されます。カメラと中央サーバの両方が SNMPv3 をサポートする必要があります。



ヒント！

- SNMPv3（デフォルト）と SNMPv2 の 2 つのオプションが利用できます。
- SNMPv2 を選択する場合、潜在的なリスクに関するオンスクリーンメッセージが表示され、継続したいかどうか尋ねられます。

1. [Setup] > [Network] > [SNMP] とクリックします。

SNMP Type	SNMPv3
Username	admin
Authentication Mode	MD5
Password
Confirm
Encryption Mode	DES
Password
Confirm
<input type="button" value="Save"/>	

2. SNMPv3 を選択して、設定を完了します。

3. Save をクリックします。

SNMPv2 設定ページで、カメラと中央サーバとの間の双方向認証として、**Read-Only Community Name** が使用されます。デフォルトの名前は **public** ですが、必要に応じて変更できます。**Read-Only Community Name** を変更した場合、中央サーバと同じ名前に変更しなければ、双方向認証は完了しません。

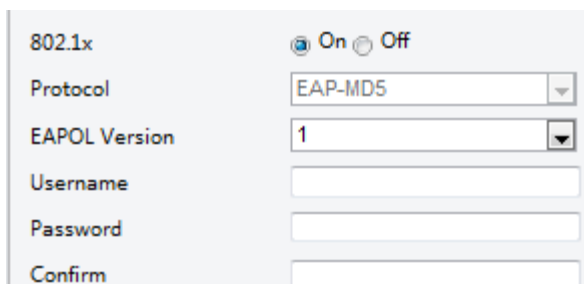


The screenshot shows the SNMPv2 configuration interface. It includes a dropdown menu for 'SNMP Type' set to 'SNMPv2', a text input field for 'Read Community' containing 'public', and a blue 'Save' button.

802.1x

802.1x は、ネットワークに接続する際に、デバイス（カメラなど）に認証を要求します。認証を受けたデバイスのみがネットワークに接続できます。これによってセキュリティが向上します。

1. [Setup] > [Network] > [802.1x] とクリックします。



The screenshot shows the 802.1x configuration interface. It features a radio button for 'On' (selected) and 'Off'. Below are dropdown menus for 'Protocol' (EAP-MD5) and 'EAPOL Version' (1), and text input fields for 'Username', 'Password', and 'Confirm'.

2. On を選択し、他の設定を完了します。

3. Save をクリックします。

QoS

QoS（サービスの質）は、指定のネットワーク通信のサービスを向上する機能です。ネットワークの遅延やブロックなどの問題を回避するためのネットワークセキュリティ機構として、QoS が使用されます。ネットワークが過負荷になった場合でも、QoS によって、重要なサービスが遅延したり中断することなく、効率的にネットワークが動作します。

1. [Setup] > [Network] > [QoS] とクリックします。



The screenshot shows the QoS configuration interface. It lists several categories with corresponding numerical values in input fields: 'Audio & Video' (46), 'Alarm Report' (0), 'Configuration Manage...' (0), and 'FTP' (4). A blue 'Save' button is located at the bottom.

2. 各サービスに優先レベル（0～63）を設定します。現在、QoS によって、音声とビデオ、アラームレポート、設定管理、FTP 転送に、別々の優先順位を割り当てることができます。値が大きいくほど、優先順位が高くなります。たとえば、音声とビデオを 60 に、アラームレポートと設定管理を 0 に、FTP を 4 に設定した場合、ネットワークが混雑しても、優先順位の高い音声とビデオが、スムーズに動作します。
3. **Save** をクリックします。

**注意：**

QoS を使用する際には、スイッチが QoS モードをサポートすることを確認してください。

画像の設定

画像調整

**ヒント！**

- 表示される画像パラメータと許可される値の範囲は、カメラモデルによって異なることがあります。お使いのカメラの実際のパラメータと値の範囲については、ウェブインターフェースをご覧ください。スライダーを動かして設定を調整するか、テキストボックスに値を直接入力することができます。
- **Default** をクリックすると、デフォルト画像設定が復元されます。

シーンの設定

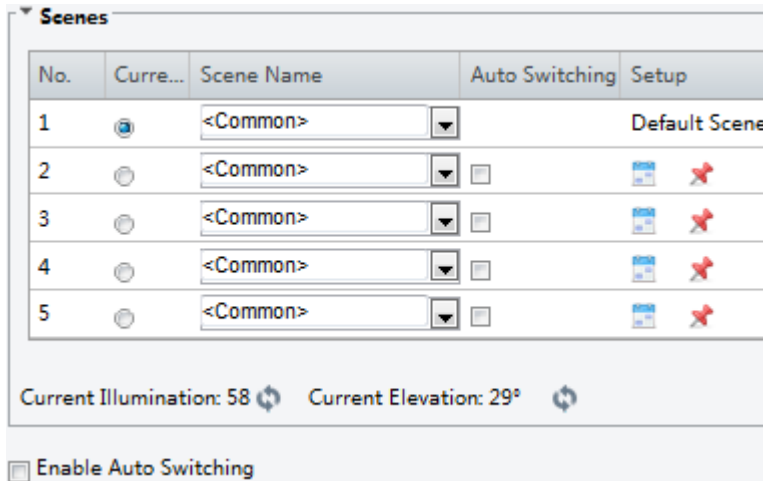
ライブビデオのシーンに応じて適切な画像エフェクトが実現できるように、画像パラメータを設定します。

[Setup] > [Image] > [Image] とクリックします。


一部のモデルでは、シーン管理ページが以下のように表示され、ドロップダウンリストから希望のシーンを選択することができます。


Scene

一部のモデルでは、シーン管理ページが以下のように表示され、以下の手順でシーンを設定することができます。



1. Scenes をクリックします。
2. シーンを選択し、シーン切り換えパラメータを設定します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

列	説明
現在	<p>使用中のシーンを表示します。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションボタンを選択してシーンを切り換え、そのシーンに対応する画像パラメータを表示させます。 • Enable Auto Switching を選択すると、カメラは自動的に現在のシーンを切り換えます。
シーン名	<p>現在のシーンの名前です。デバイスは複数のプリセットシーンモードを提供します。シーンを1つ選択すると、対応する画像パラメータが表示されます。実際のニーズに合わせて画像設定を調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一般：屋外のシーンに推奨されます。 • 屋内：屋内のシーンに推奨されます。 • 高感度：暗い環境に推奨されます。 • 高照度補正：路上のヘッドライトや公園のスポットライトなどの強い光を抑制できます。車両ナンバープレートを取得する際に推奨されます。 • WDR：窓、コリドー、正面玄関など、外が明るく中が暗い、コントラストの大きいシーンに推奨されます。 • カスタム：必要に応じてシーンを設定します。 • 顔：複雑なシーンの中で移動する顔を取得します。
自動切換	<p>シーンを自動切換リストに追加するかどうかが表示されます。</p> <p>注意：</p> <p>Auto Switching が選択された場合、シーン切換条件が満足されると、システムは自動的にシーンを切り換えます。デフォルトでは、自動切換リストにデフォルトシーンが含まれます。</p>
設定	<p> をクリックして、スケジュール、照明、現在の仰角（PTZと水平方向との角度）などの自動切換条件を設定します。すなわち、設定された時間内で、照明条件と現在の仰角が設定条件を満足すると、自動切換が動作します。開始値と終了値がともに0に設定されている場合、条件は無効になります。</p>

- シーンを選択して  をクリックすると、そのシーンがデフォルトシーンとして設定されます。
- 自動切り換えが有効になっている場合、非デフォルトシーンへの切り換え条件が満足されると、カメラは自動的にそのシーンに切り換わります。それ以外の場合は、カメラはデフォルトシーン設定で撮影し続けます。自動切り換えが有効でない場合、カメラは現在のシーン設定で撮影し続けます。



ヒント！

- 自動切り換えが有効になっている（シーンが設定できない）場合、デバイスは、設定シーン間を切り換えます。有効になっていない場合、デバイスは現在のシーンを撮影し続けます。非デフォルトシーンがトリガーされない場合、デバイスはデフォルトシーン設定で撮影し続けます。
- 複数の非デフォルトシーンがトリガーされると、デバイスは、番号が最も小さいシーンに切り換わります (1 から 5 まで)。

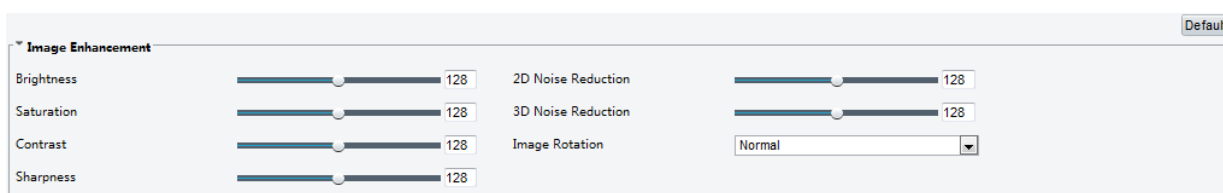
画像補正



ヒント！

この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。



- [Setup] > [Image] > [Image] とクリックし、Image Enhancement をクリックします。



- スライダーで設定を変更します。数値を直接入力することもできます。次の表に、主なパラメータが説明されています。

項目	説明
輝度	<p>画像の明るさを設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低照度 高照度 </div>
彩度	<p>これは、色に含まれる色彩の濃さです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低彩度 高彩度 </div>

項目	説明
<p>コントラスト</p>	<p>最も黒いピクセルと最も白いピクセルとの間の差を設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低コントラスト 高コントラスト </div>
<p>鮮明度</p>	<p>画像中の物体の輪郭のコントラストです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低鮮明度 高鮮明度 </div>
<p>2D ノイズリダクション</p>	<p>画像のノイズを低減します。この機能によって画像がぼやけることがあります。</p>
<p>3D ノイズリダクション</p>	<p>画像のノイズを低減します。この機能によって動きがぼやけることがあります（アプリケーションによってはゴーストが発生する）。</p>
<p>画像回転</p>	<p>画像の回転。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>一般</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>垂直方向に反転</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水平方向に反転</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>180°</p> </div> </div>

項目	説明
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>90° 時計回り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>90° 反時計回り</p> </div> </div>

3. このエリアをデフォルト設定に復元するには **Default** をクリックします。

露光



ヒント！

- この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。
- デフォルト設定は「シーン順応型」です。変更する必要がない場合は、デフォルト設定を使用してください。

1. **[Setup] > [Image] > [Image]** とクリックし、**Exposure** をクリックします。

Exposure

Exposure Mode: Custom	Slow Shutter: <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
Shutter(s): 1/100000 ~ 1/30	Slowest Shutter: 1/12
Gain: 0 ~ 100	Metering Control: Face Metering
Compensation: 0	Face Brightness: 50
Min. Duration(min): 5	Day/Night Mode: <input checked="" type="radio"/> Automatic <input type="radio"/> Day <input type="radio"/> Night
WDR: Off	Day/Night Sensitivity: Medium
WDR Level: 5	Day/Night Switching(s): 3
Suppress WDR Stripes: <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off	

カメラのモデルによっては、このページは次のように表示されます。

Exposure

Exposure Mode: Custom

Shutter(s): 1/100000 ~ 1/200

Gain: 0 ~ 100

Slow Shutter: On Off

Slowest Shutter: 1/12

Compensation: 0

Day/Night Mode: Automatic Day Night

Day/Night Sensitivity: Ultra-low

Day/Night Switching(s): 60

HLC Intensity: 5

2. 必要に応じてパラメータを設定します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
露光モード	<p>適切な露光モードを選択して、希望の露光効果を達成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動: カメラは、環境に応じて自動的に露光を調整します。 カスタム: 必要に応じて露光を設定します。 屋内 50Hz: シャッタースピードを制限して縞模様の発生を低減します。 屋内 60Hz: シャッタースピードを制限して縞模様の発生を低減します。 マニュアル: シャッター、ゲイン、絞りを手動で設定して、画質を微調整します。 動体ブレの低減: 最小シャッタースピードを制御して、動いている顔を撮影した際の動体ブレを低減します。
シャッター	<p>シャッターは、レンズへの入射光を制御します。物体が高速で移動するシーンでは、シャッタースピードを速くします。物体が低速で変化するシーンでは、シャッタースピードを遅くします。</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> Exposure Mode を Manual または Shutter Priority に設定して、シャッタースピードを設定することができます。 Slow Shutter が Off に設定されていると、シャッタースピードの逆数を、フレームレートよりも大きくする必要があります。
利得 (dB)	<p>光量条件に応じてカメラが標準ビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。</p> <p>注意:</p> <p>Exposure Mode を Manual または Shutter Priority に設定した場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
スローシャッター	<p>暗いシーンで画像の明るさが改善されます。</p> <p>注意:</p> <p>Exposure Mode が Shutter Priority に設定されておらず、Image Stabilizer が無効になっている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
最も遅いシャッター	<p>露光中は、カメラのシャッタースピードを最も遅い値に設定します。</p> <p>注意:</p> <p>Slow Shutter が On に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>

パラメータ	説明
補正	<p>希望の効果が得られるように、必要に応じて補正値を調整します。</p> <p>注意： Exposure Mode が Manual に設定されていない場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
測光コントロール	<p>カメラによる光量の測定方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中心重み平均測定：主に画像の中心部の光量を測定します。 ● 評価測定：画像中のカスタマイズされたエリアの光量を測定します。 ● ハイライト補正：画像中の過剰露光部分の明るさを無視します。ただし、この設定を選択すると、画像全体が暗くなります。 ● 顔測定：光量が少ない条件で、顔画面で撮影された顔の明るさを制御して、画質を調整します。 <p>注意： Exposure Mode が Manual に設定されていない場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
デイ/ナイトモード	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動: カメラは、環境光の条件に応じて、最適な画像を出力します。このモードでは、カメラは、デイモードとナイトモードを自動的に切り換えることができます。 ● ナイト：カメラは、既存の光を使用して高画質の白黒画像を撮影します。 ● デイ：カメラは、既存の光を使用して高画質のカラー画像を撮影します。
デイ/ナイト感度	<p>デイモードとナイトモードを切り替える光のしきい値です。感度の値が大きいほど、光の変化に対する感度が大きくなり、デイモードとナイトモードが簡単に切り替わります。</p> <p>注意： Day/Night Mode が Automatic に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
デイ/ナイト切替	<p>切替条件を満たしてから、カメラがデイモードとナイトモードを切り換えるまでの時間を設定します。</p> <p>注意： Day/Night Mode が Automatic に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
WDR	<p>同一画像内で明るいエリアと暗いエリアを区別できるように、WDR を有効にします。</p> <p>注意： Exposure Mode が Customize にも Manual にも設定されておらず、Image Stabilizer が無効になっている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
WDR レベル	<p>WDR 機能を有効にすると、WDR レベルを調整して画質を改善することができます。</p> <p>注意： シーン内で明るいエリアと暗いエリアのコントラストが強い場合、レベル 7 以上を使用します。コントラストが弱い場合、WDR を無効にするか、レベル 1~6 を使用するよう推奨されます。</p>
WDR による縞模様の抑制	<p>これを有効にすると、カメラは、光の周波数に応じてスローシャッターの頻度を自動的に調整して、画像中に現れる縞模様を最小限に抑制することができます。</p>

3. デフォルトに復元するには **Default** をクリックします。



ヒント！

この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. [Setup] > [Image] > [Image] とクリックし、**Smart Illumination** をクリックします。

2. 適切な IR コントロールモードを選択し、パラメータを設定します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
照明タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤外線：カメラは赤外線照明を使用します。 ● ホワイトライト：カメラはホワイトライト照明を使用します。 <p>注意： Control Mode が Manual に設定されていると、カメラは照明レベルを 0~1000 で設定することができます。</p>
コントロールモード	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルモード：カメラは、均衡のとれた画像効果を達成できるように、IR 照明と露光を調整します。このオプションを選択すると、画像の一部が露光オーバーになることがあります。このオプションは、監視対象範囲と画像の明るさが最優先される場合に推奨されます。 ● 露光オーバー抑制：カメラは、部分的な露光オーバーを防止するように、IR 照明と露光を調整します。このオプションを選択すると、画像の一部が暗くなる可能性があります。このオプションは、画像の中央部分をクリアに表示することと、露光オーバーを制御することが最優先される場合に推奨されます。 ● 道路：このモードでは画面全体が強い照明で照らされるので、道路など、広範なシーンを監視する場合に推奨されます。 ● 公園：このモードでは画面全体に均一に光が当たるので、工業団地など、多数の障害物がある狭い範囲を監視する場合に推奨されます。 ● マニュアル：このモードでは、IR 照明の強さを手動で制御することができます。 ● 屋内：このモードは屋内シーンに適用される際に推奨されます。
照明レベル	<p>IR光の強度を設定します。値が大きいほど、光の強度が強くなります。0 では、IR 光が消えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近距離照明レベル：広角シーンでは、最初にこのパラメータを設定するよう推奨されます。 ● 中距離照明レベル：中程度の焦点距離が必要なシーンでは、最初にこのパラメータを設定するよう推奨されます。 ● 遠距離照明レベル：遠景が必要なシーンでは、最初にこのパラメータを設定するよう推奨されます。 <p>注意： Control Mode が Manual に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>

3. デフォルトに復元するには **Default** をクリックします。

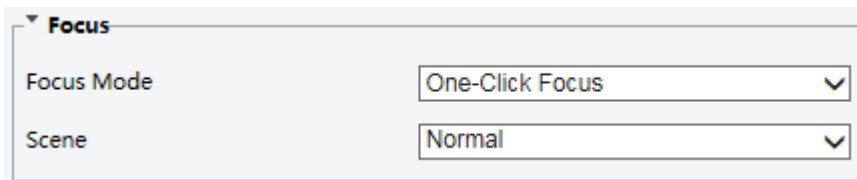
フォーカス



ヒント！

この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. [Setup] > [Image] > [Image] とクリックし、Focus をクリックします。



2. 必要に応じてフォーカスモードを選択します。

パラメータ	説明
フォーカスモード	<ul style="list-style-type: none">オートフォーカス：カメラは、現在の光の条件に応じて、自動的にフォーカスを合わせます。マニュアルフォーカス：必要に応じて手動でカメラを調整します。ワンクリックフォーカス：カメラが回転したり、画像を拡大縮小したり、プリセットが選択されても、カメラは被写体にフォーカスを合わせます。ワンクリックフォーカス（IR）：このフォーカスモードにすると、夜間や暗い屋内などの低照度条件で、IR 光が点灯して画質が向上します。
シーン	<ul style="list-style-type: none">一般：道路や工業団地など、一般的なシーンに使用します。長距離：道路を長距離にわたって監視する際に使用します。たとえば、カメラを 30 メートルの高さに取り付けて、遠くの交差点を監視する際に使用します。

3. デフォルトに復元するには **Default** をクリックします。

ホワイトバランス

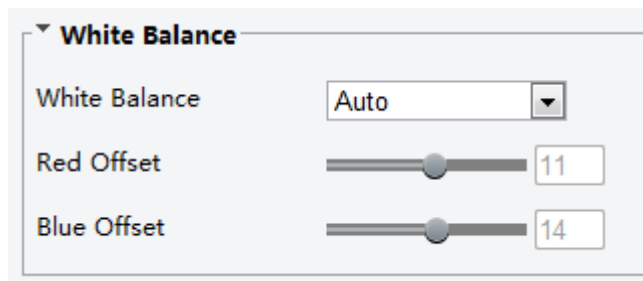
ホワイトバランスとは、人間の目に最適な画像を出力するように、異なる色温度で画像に投影される不自然な色を相殺するプロセスです。



ヒント！

この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. [Setup] > [Image] > [Image] とクリックし、White Balance をクリックします。



2. 必要に応じてホワイトバランスモードを選択します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

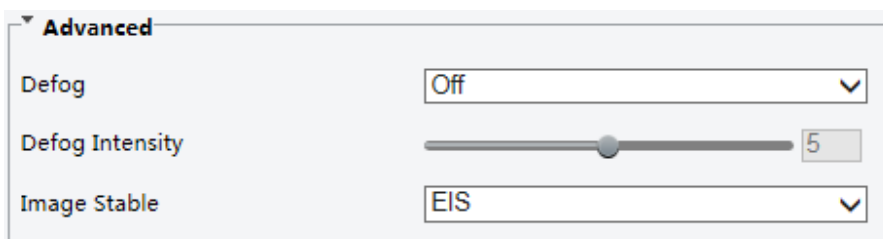
パラメータ	説明
ホワイトバランス	<p>画像の赤または青のオフセットを調整します：</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto/Auto2：カメラは、照明条件（色が青みがる）に応じて、自動的に赤または青のオフセットを調整します。Auto モードにしても画像が不自然に赤っぽくまたは青っぽくなる場合は、Auto2 を試してください。 微調整：手動で赤や青のオフセットが調整できます。 屋外：色温度範囲が比較的広い屋外環境に適しています。 ロック状態：現在の色温度を変更せずにロックします。 ナトリウムランプ：カメラは、照明条件（色が赤みがる）に応じて、自動的に赤や青のオフセットを調整します。
赤のオフセット	<p>手動で赤のオフセットが調整できます。</p> <p>注意： White Balance が Fine Tune に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
青のオフセット	<p>手動で青のオフセットが調整できます。</p> <p>注意： White Balance が Fine Tune に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>

3. デフォルトに復元するには **Default** をクリックします。

高度

デフォグ機能を使用して、霧やもやの条件下で撮影した画像の明瞭性を調整します。

1. [Setup] > [Image] > [Image] とクリックし、**Advanced** をクリックします。



ヒント！

- このパラメータは、WDR をオフにした場合にのみ設定することができます。
- デフォグは、一部のカメラモデルでのみサポートされます。Defog を On に設定したときに、デフォグ強度レベル 6～9 でデフォグが有効になり、デフォグ強度を 5 から 6 に設定すると画像がカラーから白黒に変化します。Defog を Auto に設定しデフォグ強度レベルが 6～9 の間である場合は、霧が薄いときには画像は自動的に白黒に変化せず、霧が濃くなるとカメラは自動的にデフォグに切り換わります。

2. デフォグ機能を有効にし、シーンのレベルを選択します。レベル9では最大のデフォグ効果が得られ、レベル1では最小となります。



デフォグオフ



デフォグオン

3. デフォルトに復元するには **Default** をクリックします。

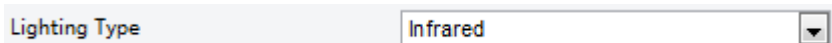
照明タイプ



ヒント！

この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. [Setup] > [Image] > [Image] とクリックし、**Smart Illumination** をクリックします。



2. **Lighting Type** ドロップダウンリストからオプションを選択します。
3. デフォルトに復元するには **Default** をクリックします。

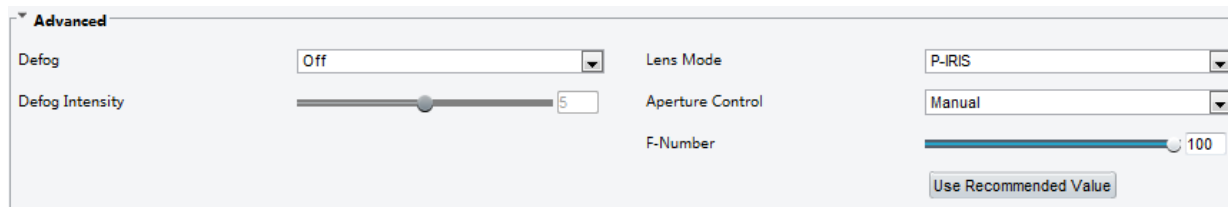
絞りとレンズモードの設定



ヒント！

- この機能は、特定のネットワークボックスカメラのタイプでのみサポートされます。詳細については、実際のモデルをご覧ください。
- P-Iris コントロールモードのレンズを使用し、絞りコントロールケーブルをカメラの Z/F ポートに接続します。
- **Lens Mode** が **P-IRIS** に設定されている場合にのみ、絞りを設定することができます。

1. [Setup] > [Image] > [Image] とクリックし、**Advanced** をクリックします。



2. 必要に応じて設定を変更します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
レンズモード	<ul style="list-style-type: none"> • Z/F：フォーカスとズームを変更します。 • P-Iris：この値を変更します。

パラメータ	説明
開口コントロール	絞りを自動または手動で調整します。 注意： Lens Mode が P-Iris に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。
F 値	開口を手動で変更します。

3. デフォルトに復元するには **Default** をクリックします。

OSD 設定

オンスクリーンディスプレイ（OSD）とは、時刻などのカスタマイズされたコンテンツを含む、ビデオ画像に表示される文字のことです。



ヒント！

この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. [Setup] > [Image] > [OSD] とクリックします。

Enable	No.	Overlay OSD Content	X-Axis	Y-Axis
<input checked="" type="checkbox"/>	1	<Date & Time>	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
<input type="checkbox"/>	2		<input type="checkbox"/> 75	<input type="checkbox"/> 3
<input type="checkbox"/>	3		<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 75
<input type="checkbox"/>	4		<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
<input type="checkbox"/>	5		<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
<input type="checkbox"/>	6		<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
<input type="checkbox"/>	7		<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
<input type="checkbox"/>	8		<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0

Display Style

Effect: Background

Font Size: Medium

Font Color: #0000-1

Min. Margin: None

Date Format: dd/MM/yyyy

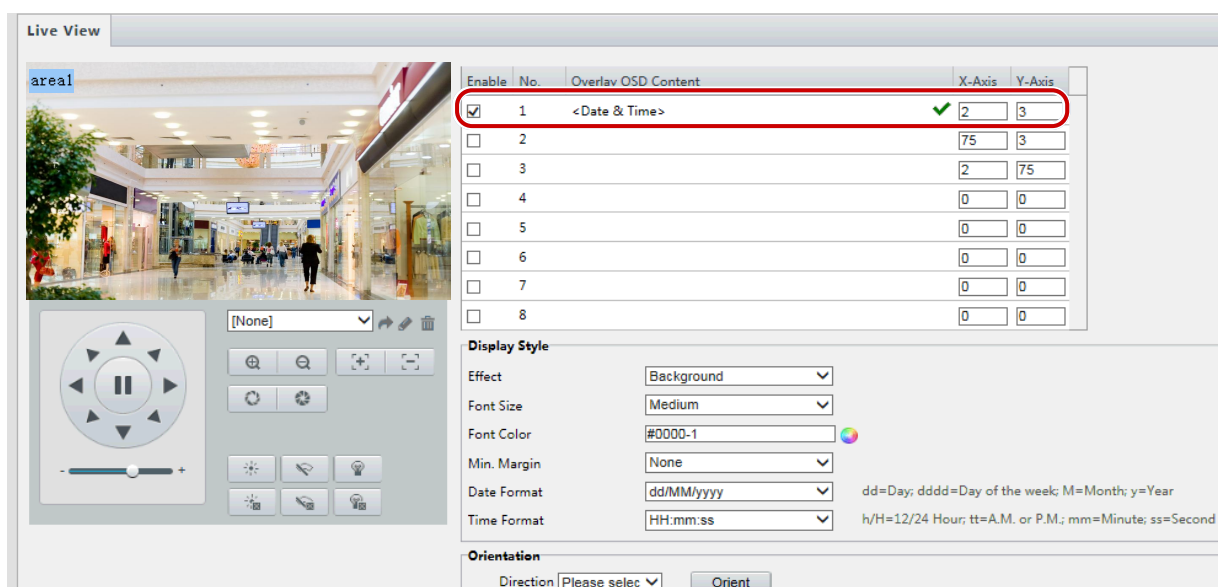
Time Format: HH:mm:ss

Orientation

Direction: Please select

Orient

一部モデルの OSD インターフェースは次のように表示されます。



2. OSD の位置とコンテンツを選択します。

- 位置：Live View エリアで希望のボックスをクリックします。カーソルの形が変化したら、ボタンを押し続けて、ボックスを希望の位置に移動させます。正確な位置に配置するには、Overlay Area で X 座標と Y 座標を使用します。
- オーバーレイ OSD コンテンツ：ドロップダウンリストに Time、Preset、Serial Info が表示されます。Custom を選択して、希望のコンテンツを入力します。
- 位置と OSD コンテンツを設定すると、Status 列に✓の記号が表示されます。これは OSD の設定が成功したことを示しています。各エリアに複数行のコンテンツを設定することができます。表示の順番はへと∨で調整できます。

3. 設定を完了すると、設定が成功したことを示すメッセージが表示されます。

プレビューウィンドウを右クリックして、全画面表示または希望のアスペクト比で表示することができます。プレビューウィンドウをダブルクリックすると、全画面表示をオンまたはオフにすることができます。

1つのエリアで OSD をキャンセルするには、Overlay OSD Content 列で OSD コンテンツをクリアするか、Position 列で None を選択します。

下に時間 OSD の一例が挙げてあります。



プライバシーマスク

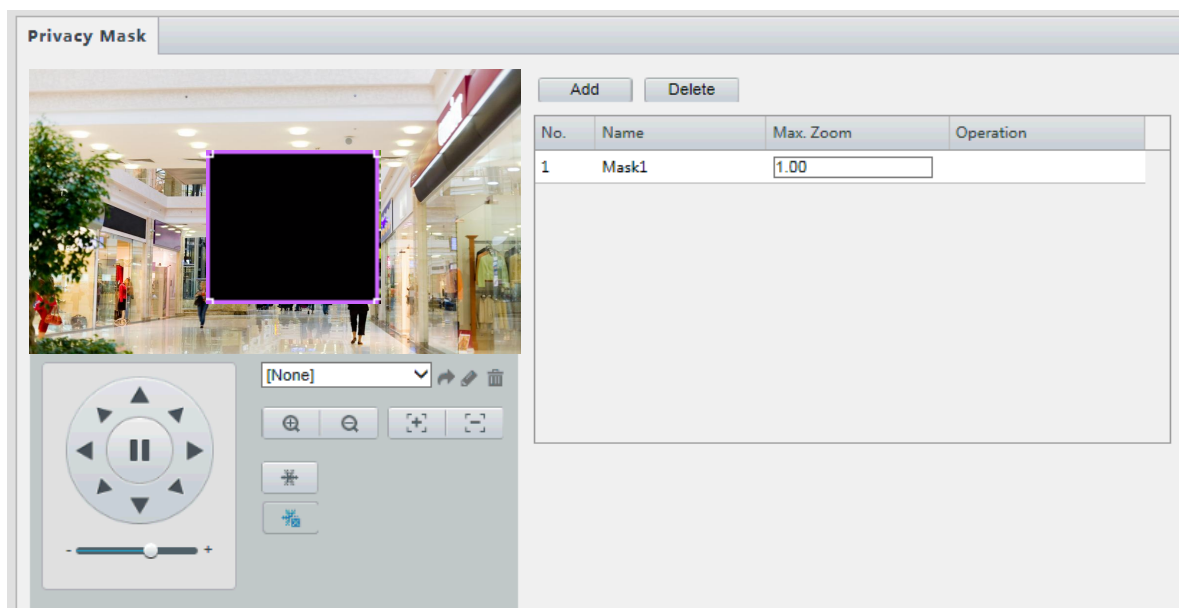
ATM マシンのキーボードなど、カメラの画像内の一部をマスクして、プライバシーを保護しなければならない場合があります。PTZ の位置やズームが変化すると、それに伴ってプライバシーマスクが再調整されエリアが常時保護されます。



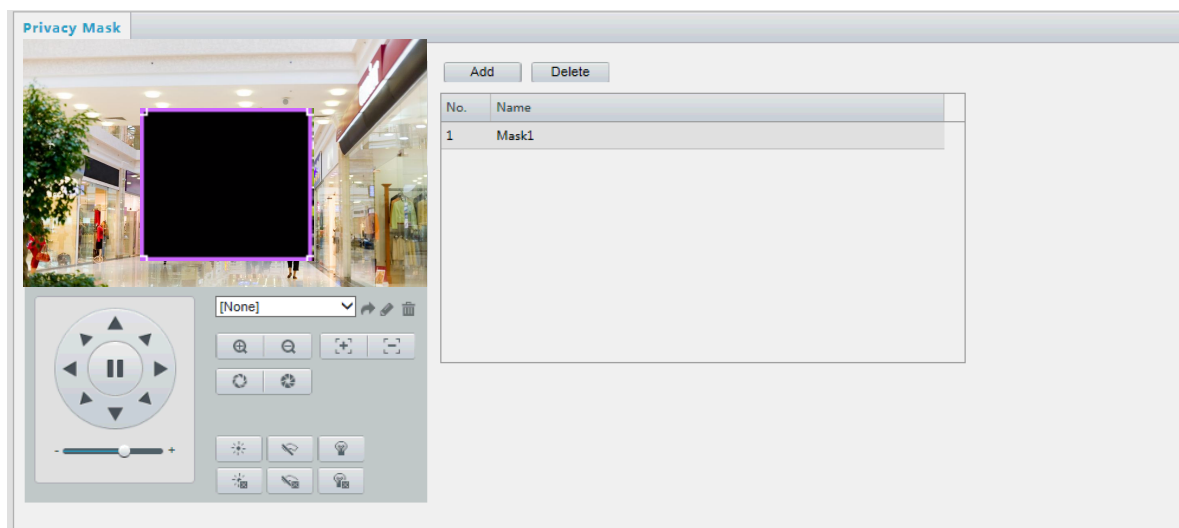
ヒント！

- この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。
- 一部のカメラモデルでは、最高 24 個所のプライバシーマスクがサポートされます。ただし、1 枚の画像では 8 個所のプライバシーマスクまでしか表示されません。

1. [Setup] > [Image] > [Privacy Mask] とクリックします。



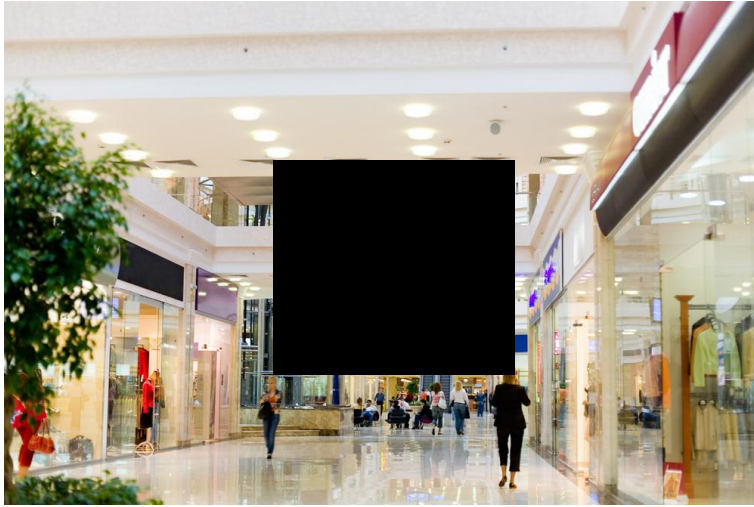
一部のカメラのモデルでは、このページは次のように表示されます。



2. **+** をクリックするとプライバシーマスクが追加され、**🗑️** をクリックするとプライバシーマスクが削除されます。
- 希望の位置をマスクするには : Mask という文字が表示されているボックスをクリックすると、マスクが起動します。カーソルの形が変化したら、希望の位置にボックスをドラッグします。
 - 希望のエリアをマスクするには : マウスで、マスクしたいエリアにボックスを描きます。

プライバシーマスクが設定されると、マスクしたい部分がブロックされます。下にその一例が挙げられています。

3. マスクモードを設定します。必要に応じて、通常モードと不規則モードが選択できます。不規則モードでは、PTZ カメラが回転すると、画像内のマスクされた対象物の形状に応じてプライバシーマスクが変化します。



ヒント！

- マスクモードは一部のモデルのみで使用できます。

音声とビデオの設定

ビデオ設定

カメラがサポートするビデオパラメータを設定して、BNC出力の現状を表示させることができます。利用できる場合、必要に応じて、サブストリームとサードストリームを有効にすることもできます。



ヒント！

- この機能はモデルによって異なることがあります。サードストリームは、一部のカメラモデルのみサポートされます。お使いのカメラでこの機能がサポートされているか判断するには、ウェブインターフェースをご覧ください。
- サブストリームやサードストリームを有効にした後で、必要に応じてパラメータを変更することができます。サブストリームやサードストリームのパラメータは、メインストリームのパラメータと同じ意味を持ちます。

1. [Setup] > [Video & Audio] > [Video] とクリックします。

2. 必要に応じて設定を変更します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
ビデオ圧縮	<p>H.265、H.264、MJPEG の3つのオプションがあります。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ圧縮が H.265 または H.264 に設定されている場合、画質は設定できません。MJPEG に設定されている場合、1、3、5 の3つのフレームレートのみが使用できます。ビットレート、Iフレーム間隔、スムージング、Uコードは設定できません。 設定を H.264 と H.265 の間で変更すると、ビットレートはデフォルトに変化します。H.265 のデフォルトビットレートは H.264 の半分です。
フレームレート	<p>画像エンコードのフレームレート。単位：FPS（1秒間のフレーム数）。</p> <p>注意：</p> <p>画質を確保するため、フレームレートを、シャッタースピードの逆数よりも大きくしないでください。</p>
ビットレートのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> CBR：固定ビットレートとは、カメラが一定のデータレートでデータを送信することを意味します。 VBR: 可変ビットレートとは、画質に応じて、カメラが動的にビットレートを調整することを意味します。
画質	<p>Encoding Mode が VBR の場合、スライダーを動かして画質レベルを調整することができます。スライダーを Bit Rate の方向に動かすとビットレートが減少して、画質が悪くなる場合があります。スライダーを Quality の方向に動かすとビットレートが増加して、画質が改善されます。</p>
Iフレーム間隔	<p>Iフレームがエンコードされる間隔です。通常、Iフレーム間隔が短くなると、画質は向上しますが、帯域幅の消費量が多くなります。</p>

パラメータ	説明
GOP	MPEG ビデオエンコーディングの画像集合体です。このパラメータで、イントラフレーム（Iフレーム）とインターフレームの配列順序が指定されます。
SVC	SVC（スケーラブルビデオコーディング）で、再生画質を劣化させることなくストレージを減らすことができます。
U-コード	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本モード：実際のビットレートは設定されたビットレートの約 3/4 です。 ● 詳細モード：実際のビットレートは設定されたビットレートの約 1/2 です。 注意： <ul style="list-style-type: none"> ● U コードが有効になっている場合、H.264 と H.265 のビデオ圧縮のみがサポートされます。MJPEG はサポートされません。 ● U コードが有効になっている場合、キャプチャモードは 31 以上のフレームレートをサポートしません。
スムージング	<p>スムージングの程度を設定します。Clear を選択すると、Smoothing が無効になります。スライダーを Smooth の方向に動かすとスムージングレベルは増加しますが、画質が悪くなります。</p> <p>注意： ネットワーク環境がよくない場合、スムージングを有効にすると、ビデオの動きが滑らかになります。</p>
BNC 出力	BNC 出力は NTSC と PAL をサポートします。

3. **Save** をクリックします。

音声コンフィギュレーション

音声コンフィギュレーションとは、カメラの音声エンコーディングパラメータの設定を意味します。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. **[Setup] > [Video & Audio] > [Audio]** とクリックします。

2. 必要に応じて設定を変更します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
音声入力	Off を選択すると、音声データはエンコードされません。 注意： 音声が必要な場合は Off を選択するよう推奨されます。これによって、デバイスのパフォーマンスがある程度改善されます。
アクセスモード	現在、ライン/マイクのみです。 注意： この機能は、2個の音声出力チャンネルのあるデバイスでは使用できません。
音声圧縮	G.711U、G.711A、ACC-LC の 3 つのオプションがあります。 G.711U と G.711A は 8K サンプルレートのみをサポートし、ACC-LC は 8K、16K、48K の各サンプルレートをサポートします。
入力ゲイン	サンプリング用音声信号の増幅度です。ゲインが大きいほど、増幅度が大きくなります。
ノイズ抑制	画像内のノイズを削減します。ノイズ抑制を有効にするには On を選択します。
チャンネル	音声出力チャンネルです。音声出力を有効にするには Enable を選択します。 注意： 2 個のチャンネルは、一部のカメラモデルでのみサポートされます。

3. Save をクリックします。

スナップショット

1. [Setup] > [Video & Audio] > [Snapshot] とクリックします。

Snapshot On Off

Resolution ▼

Most Large(KB)

Scheduled Snapshot

Snapshot Interval

Number to Snapshot ▼

Snapshot Mode Schedule Repeat

No.	Snapshot Time	
1	19:12:00	+
		🗑️

2. **On** を選択し、解像度を最大に設定し、必要に応じてスケジュールを設定します。下表に一部のパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
スナップショット間隔	2 枚のスナップショットの撮影間隔です。Snapshot Interval を 1 に設定し、Number of Snapshot を 2 に設定すると、カメラは 2 枚のスナップショットを撮影します（最初のスナップショットを撮影した 1 秒後に次のスナップショットを撮影します）。
スナップショットの枚数	現在、1 枚、2 枚、3 枚のスナップショットが設定できます。
スナップショットモード	<p>スケジュール：スナップショットを撮影する時刻を設定する必要があります。例：19：12：00。これは、19：12：00 にスナップショットが撮影されることを意味します。</p> <p>リピート：間隔が設定できます（単位：秒）。たとえば、上の図に表示されている設定では、60 秒経過しないと、別の 2 枚のスナップショットは撮影されません。</p>

3. **Save** をクリックします。

ROI

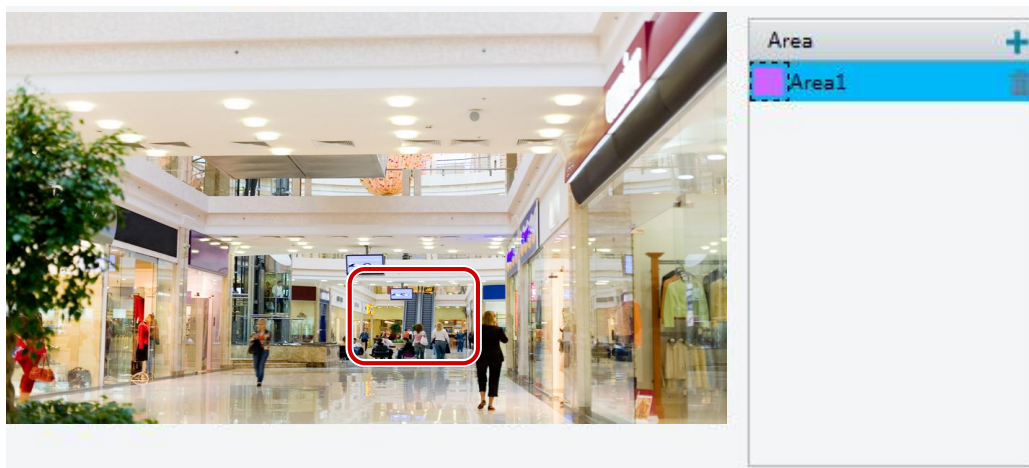
関心領域（ROI）が有効になっていると、システムは、ビットレートが不十分な場合に、まず、ROI の画質を確保します。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. **[Setup] > [Video & Audio] > [ROI]** とクリックします。



2. **+** をクリックし、画像中の希望の部分をカバーするようにマウスをドラッグします。削除するには、エリアを選択して **✖** をクリックします。

メディアストリームコンフィギュレーション

メディアストリーム

カメラで設定されたメディアストリームを表示することができます。また、UDP または TCP プロトコルに従って、カメラが、指定の IP アドレスとポート番号にコードストリームを送信するように設定することもできます。設定を保存した後でカメラを再起動すると、その設定が有効になります。



ヒント！

- この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。
- 実際のニーズやネットワークのパフォーマンスに基づいて、トランスポートプロトコルを選択します。一般に、TCP は、UDP よりも画質が向上しますが、レイテンシーが大きくなります。

1. [Setup] > [Video & Audio] > [Media Stream] とクリックします。

Stream Profile	IP Address	Port	Protocol	Persistent	+
Add Media Stream					
Stream Profile	Main Stream				
IP Address					
Port					
Protocol	TS/UDP				
Persistent	<input type="radio"/> Enable <input checked="" type="radio"/> Disable				
OK Cancel					

2. をクリックし、ストリームタイプを選択し、カメラから音声とビデオのストリームを受信するデコーディングデバイスのユニキャストまたはマルチキャストのグループの IP アドレスとポート番号を設定します。

デバイスの再起動後に、以前に自動的に設定したメディアストリームに戻したい場合は、**Persistent** で **Yes** を選択します。

3. ストリームを削除するには をクリックします。

4. **Submit** をクリックして操作を完了します。

RTSP マルチキャストアドレス

RTSP マルチキャストアドレスを設定すると、サードパーティプレイヤーが、RTP プロトコルを介して、カメラから、RTSP マルチキャストメディアストリームを請求することができます。

1. [Setup] > [Video & Audio] > [Media Stream] > [RTSP Multicast Address] とクリックします。

Main Stream	
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
Sub Stream	
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
Third Stream	
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
<input type="button" value="Save"/>	

カメラのモデルによっては、このページは次のように表示されます。

Main Stream	
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
Sub Stream	
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
Third Stream	
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>
Multicast Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="0"/>

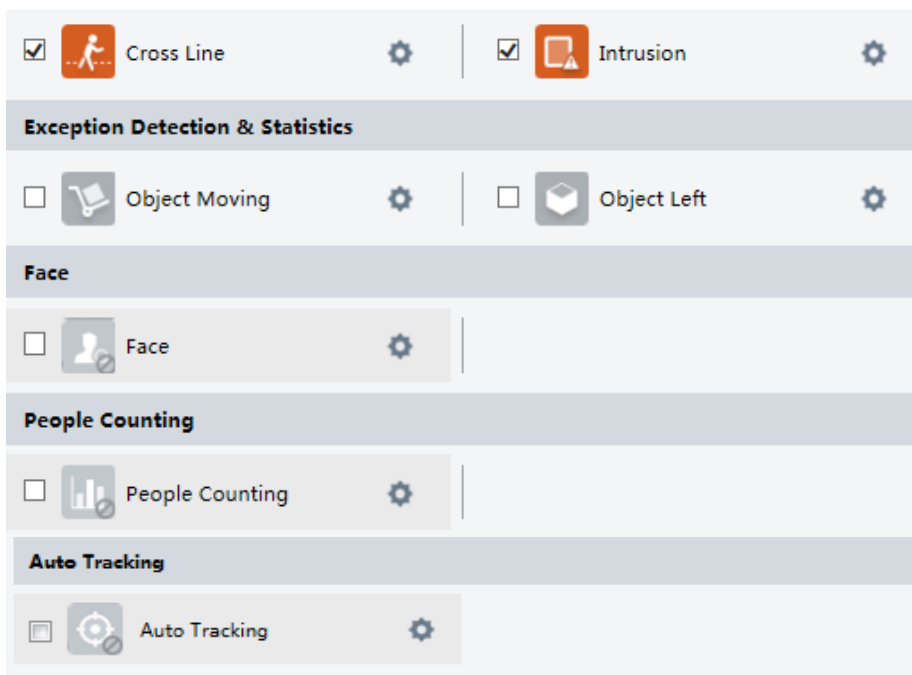
2. マルチキャストアドレス (224.0.0.0~239.255.255.255) とポート番号 (0~65535) を設定します。
3. Save をクリックします。

インテリジェントアラームコンフィギュレーション

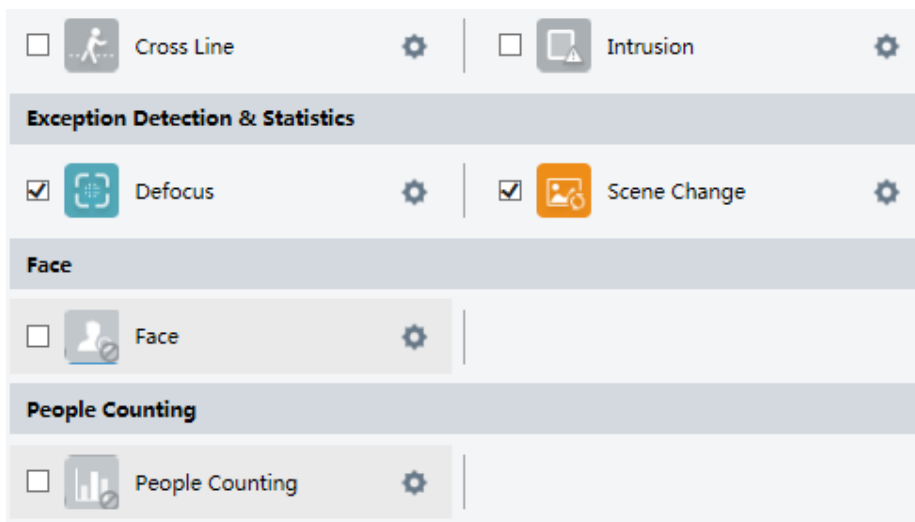
インテリジェント監視を設定して、人数を数えたり、動体を監視することができます。インテリジェント監視には、人数カウント、侵入検知、自動追跡などがあります。サポートされる機能は、カメラのモデルによって異なることがあります。

スマート設定

[Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。




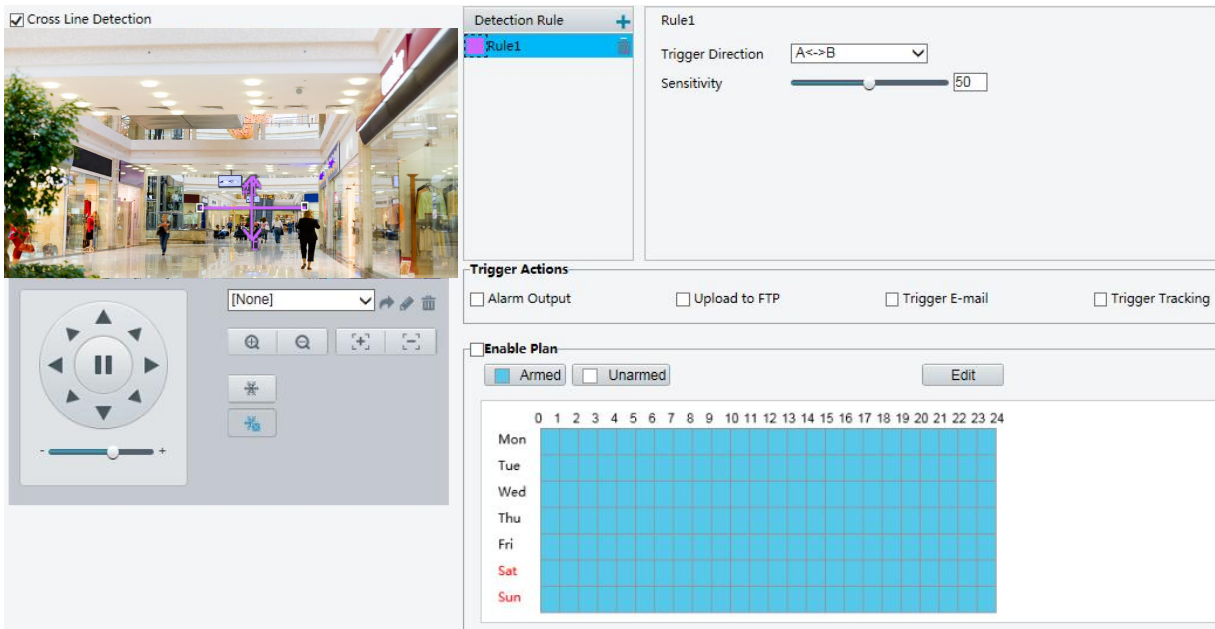
カメラのモデルによっては、このページは次のように表示されます。





クロスライン検知

クロスライン検知は、ライブビデオの仮想ラインを横切る物体を検知し、そのようなイベントが検知されるとアラームを発します。


1. **[Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings]** とクリックします。**Cross Line** を選択し、 をクリックします。

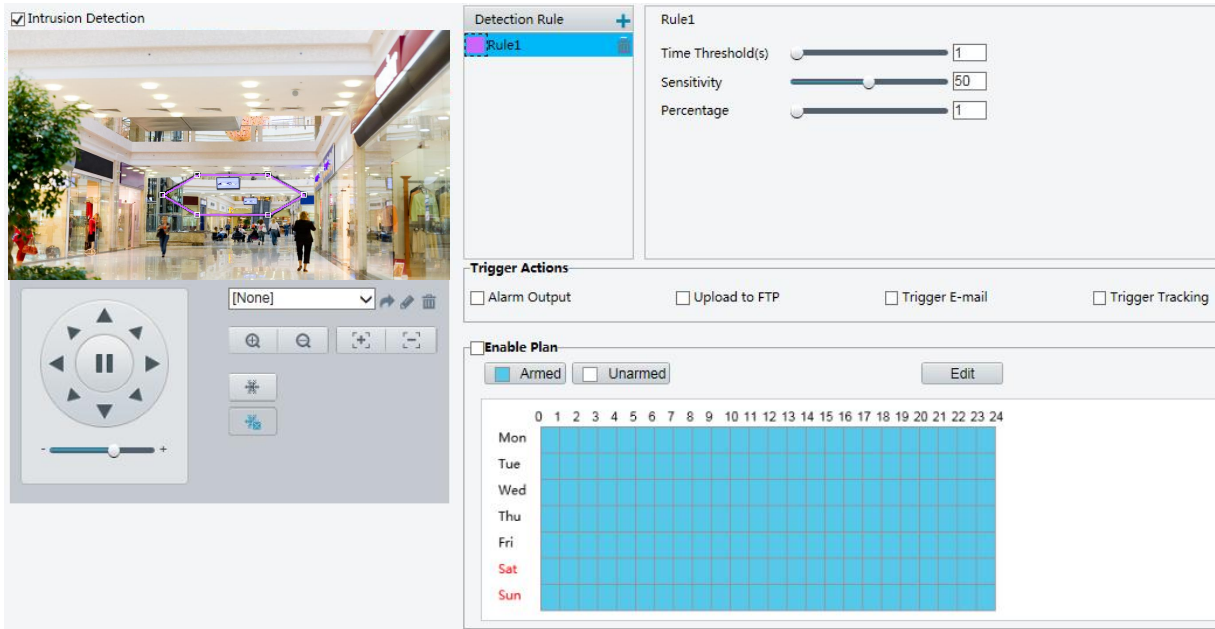




2. **Cross Line Detection** を選択します。
3. **Detection Rule** エリアで  をクリックして新しい検知エリアを追加します。検知エリアを削除するには  をクリックします。
4. 小さなプレビューウィンドウで希望の位置にラインをドラッグし、検知範囲を設定します。
5. カメラにクロスライン検知アラームをレポートさせるか否かを決定する際の基準となる、カメラの方向と感度を設定します。
6. 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
7. **Save** をクリックします。

侵入検知

侵入検知は、ライブビデオで指定のエリアに侵入した物体を検知し、そのようなイベントが検知されるとアラームを発します。


1. **[Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings]** とクリックします。**Intrusion** を選択して  をクリックします。

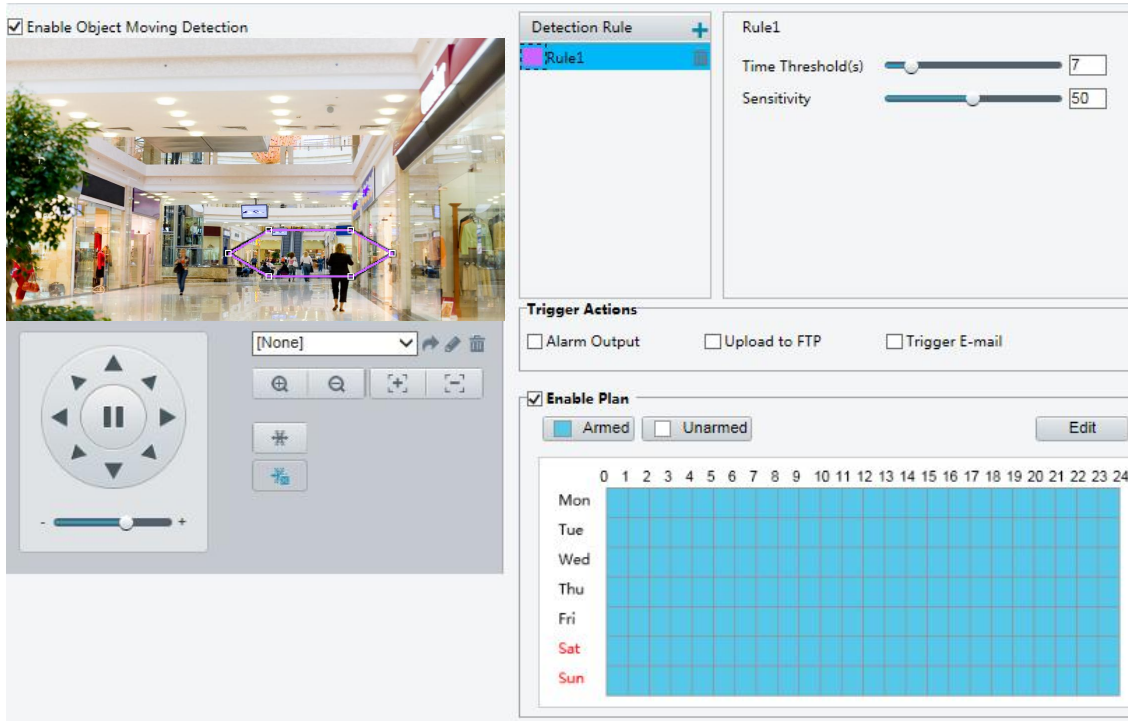




2. **Intrusion Detection** を選択します。
3. **Detection Rule** エリアで  をクリックして新しい検知エリアを追加します。検知エリアを削除するには  をクリックします。
4. ボックスの境界線をドラッグして、希望の位置と範囲を設定します。
5. カメラに侵入検知アラームをレポートさせるか否かを決定する際の基準となる、カメラの時間しきい値と感度と割合を設定します。
 - 時間しきい値：検知エリアに侵入者が侵入してからアラームがレポートされるまでの、最低滞在時間です。
 - 感度：検知感度です。値が大きいほど、検知感度が高くなります。
 - 割合：指定の検知エリアのサイズに対する侵入者のサイズの割合の最低値です。侵入者のサイズがこの値を上回ると、アラームがレポートされます。
6. 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
7. **Save** をクリックします。

移動物体

指定エリアで物体が置き去りにされたことを検知して、アラームを発します。


1. [Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。Object Moving を選択し、 をクリックします。

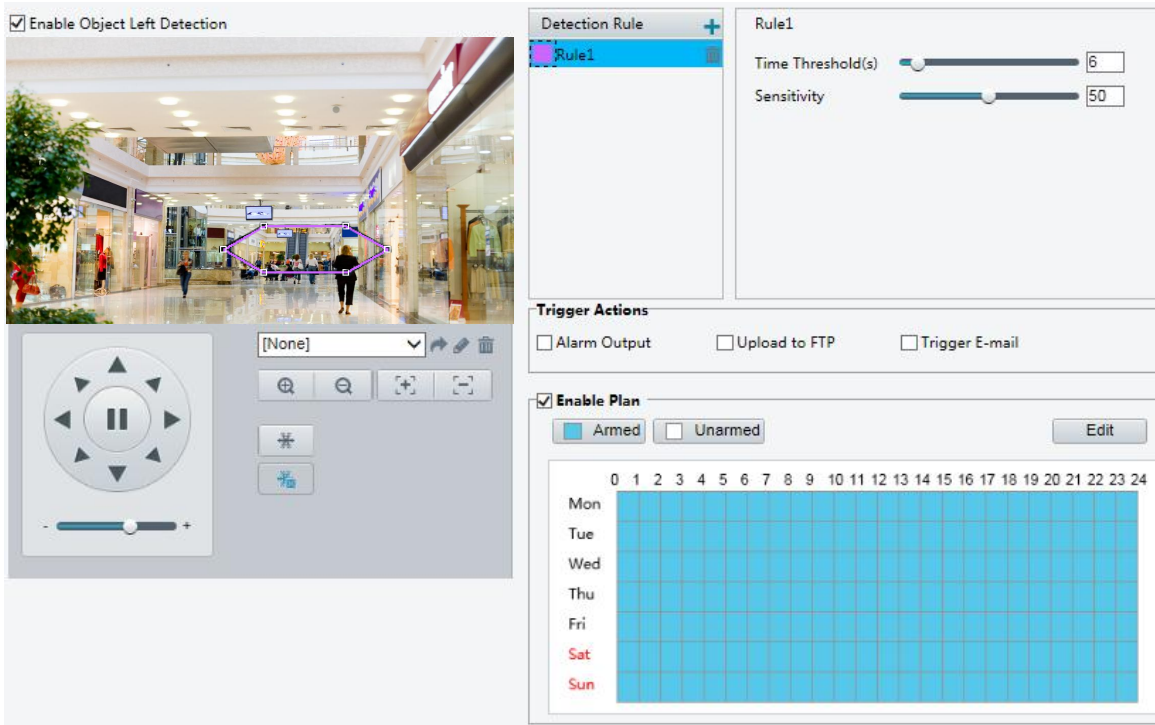




2. Enable Object Moving Detection を選択します。
3. Detection Rule エリアで  をクリックして、検知エリアを追加します。検知するには  をクリックします。
4. ボックスをドラッグして位置と有効範囲を設定します。
5. 侵入検知アラームをレポートさせるか否かを決定する際の基準となる、時間しきい値と感度を設定します。
 - 時間しきい値：指定エリアにおける物体の最低滞留時間です。この値を上回るとアラームがトリガーされます。
 - 感度：数値が大きいくほど、感度が高くなります。指定エリアで、物体が検知される時間が指定の時間を上回ると、アラームがレポートされます。
6. 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
7. Save をクリックします。

置き忘れ物

指定エリアで物体が置き去りにされたことを検知して、アラームを発します。


1. [Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。Object Left を選択し、 をクリックします。

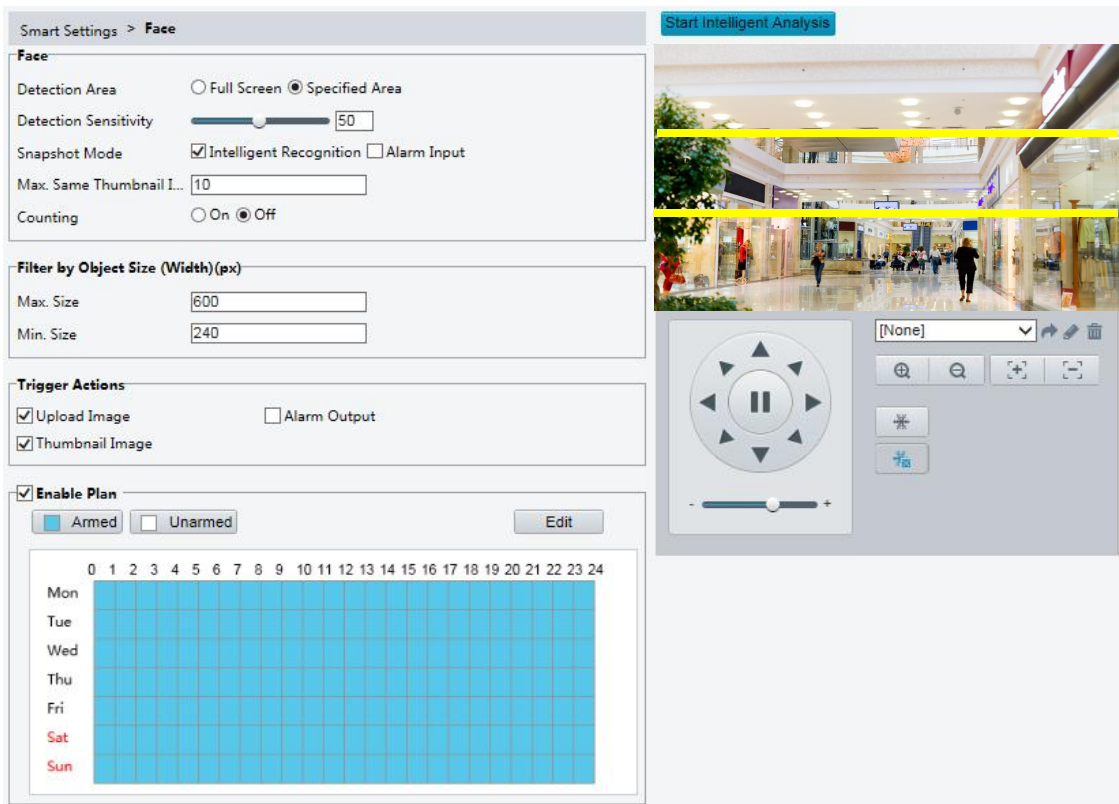


2. **Enable Object Left Detection** を選択します。
3. **Detection Rule** エリアで  をクリックして、検知エリアを追加します。検知するには  をクリックします。
4. ボックスをドラッグして位置と有効範囲を設定します。
5. 侵入検知アラームをレポートさせるか否かを決定する際の基準となる、時間しきい値と感度を設定します。
 - **時間しきい値**：指定エリアにおける物体の最低滞留時間です。この値を上回るとアラームがトリガーされます。
 - **感度**：数値が大きいほど、感度が高くなります。指定エリアで、物体が検知される時間が指定の時間を上回ると、アラームがレポートされます。
6. 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
7. **Save** をクリックします。

顔検知

顔検知は、ライブビデオ内で人の顔を検知します。

1. [Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。Face を選択し、 をクリックします。




2. 境界線をドラッグして、希望の位置と範囲を設定します。
3. 実際のニーズに応じて、検知パラメータを設定します。
4. 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
5. **Save** をクリックします。
6. **Start Intelligent Analysis** をクリックします。

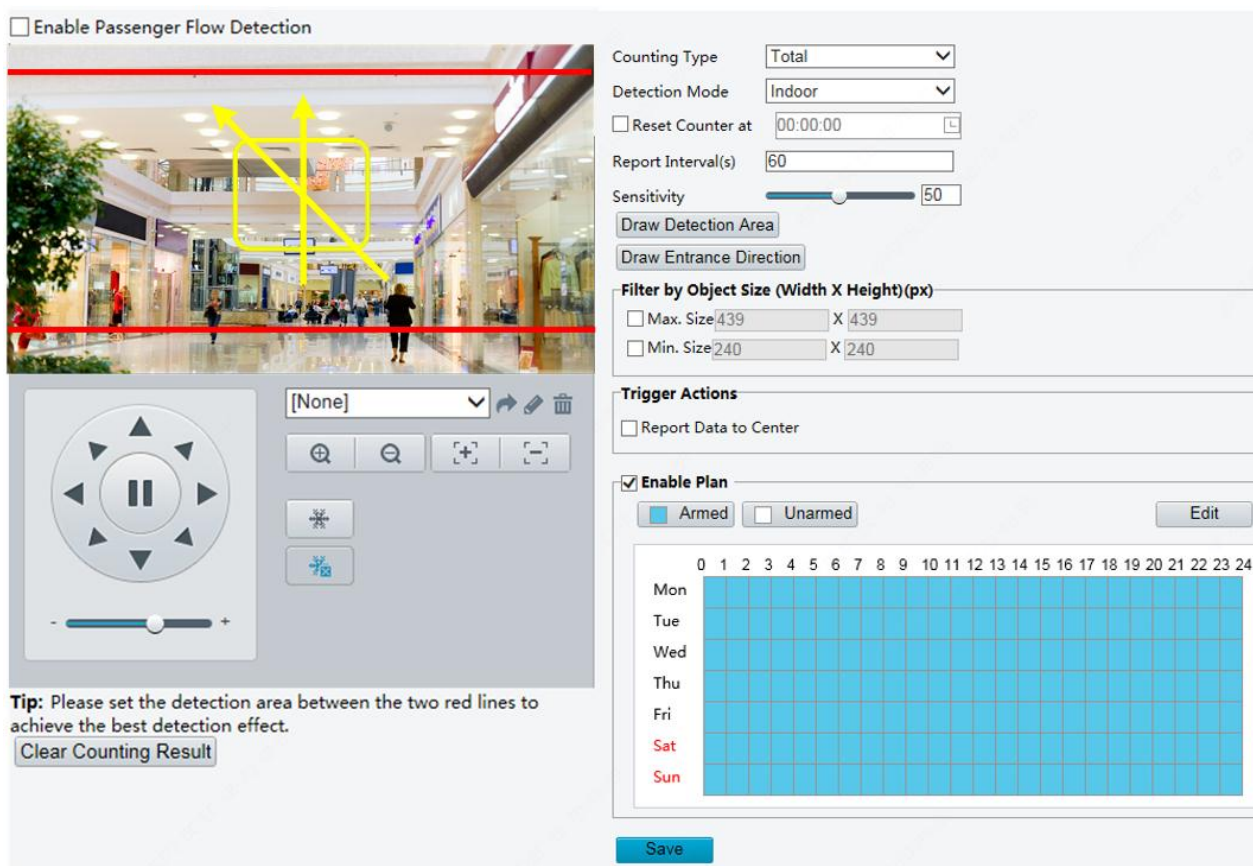
人数カウント



ヒント！

- この機能は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。
- サポートされるアラームのトリガーと警戒スケジュールは、カメラのモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. [Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。People Counting を選択し、 をクリックします。



Enable Passenger Flow Detection

Counting Type: Total

Detection Mode: Indoor

Reset Counter at: 00:00:00

Report Interval(s): 60

Sensitivity: 50

Filter by Object Size (Width X Height) (px)

Max. Size: 439 X 439

Min. Size: 240 X 240

Trigger Actions

Report Data to Center

Enable Plan

Armed Unarmed

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Mon

Tue

Wed

Thu

Fri

Sat

Sun

Tip: Please set the detection area between the two red lines to achieve the best detection effect.

2. Enable Passenger Flow Detection を選択します。検知モードを選択し、レポート間隔と感度を設定します。
3. Draw Detection Area をクリックし、左側のプレビューウィンドウに検知エリア（正方形など）を描きます。
4. Draw Entrance Direction をクリックし、左側のプレビューウィンドウに方向を描きます。通常、報告は垂直または傾斜方向です。
5. Filter by Object Size で Max. Size と Min. Size を設定します。範囲内のサイズの物体のみがカウントされます。それ以外の物体はフィルタリングされカウントされません。最大幅または最大高さは、最小幅または最小高さよりも大きくなければなりません。
6. 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
7. カウント結果をリセットするには、Clear Counting Result をクリックします。
8. Save をクリックします。


自動追跡

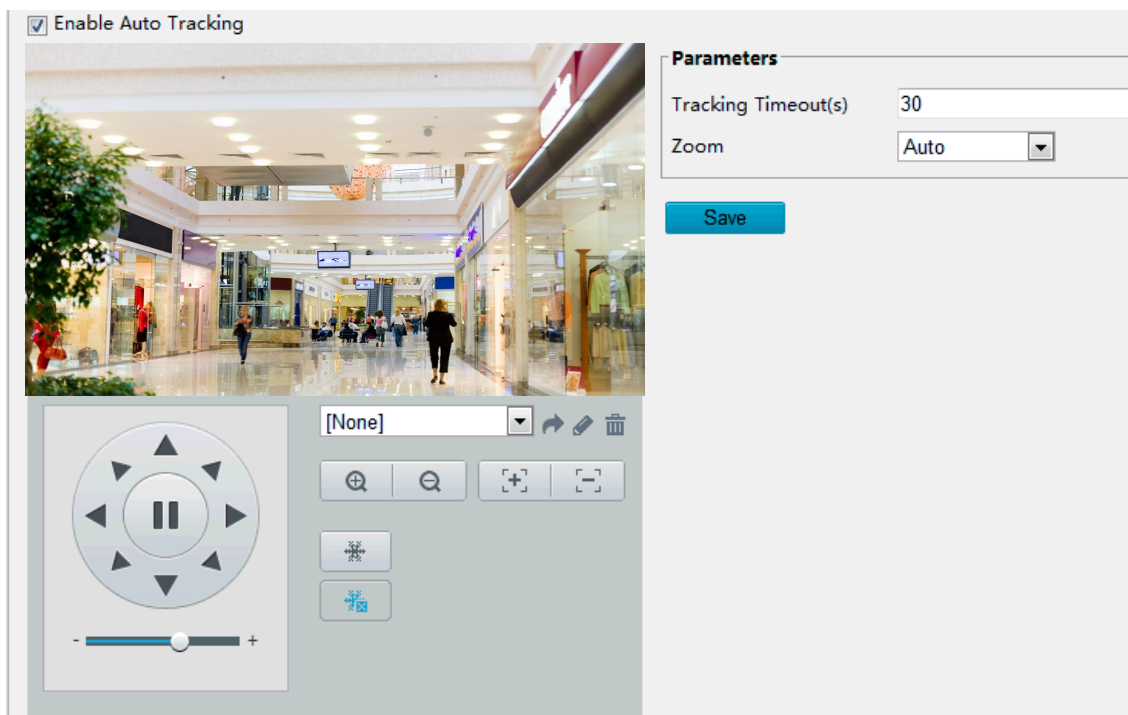
カメラは、ルールを満たす物体を自動的に追跡します。



ヒント！

- この機能は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。
- サポートされるアラームのトリガーと警戒スケジュールは、カメラのモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。


1. [Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。Auto Tracking を選択し、 をクリックします。

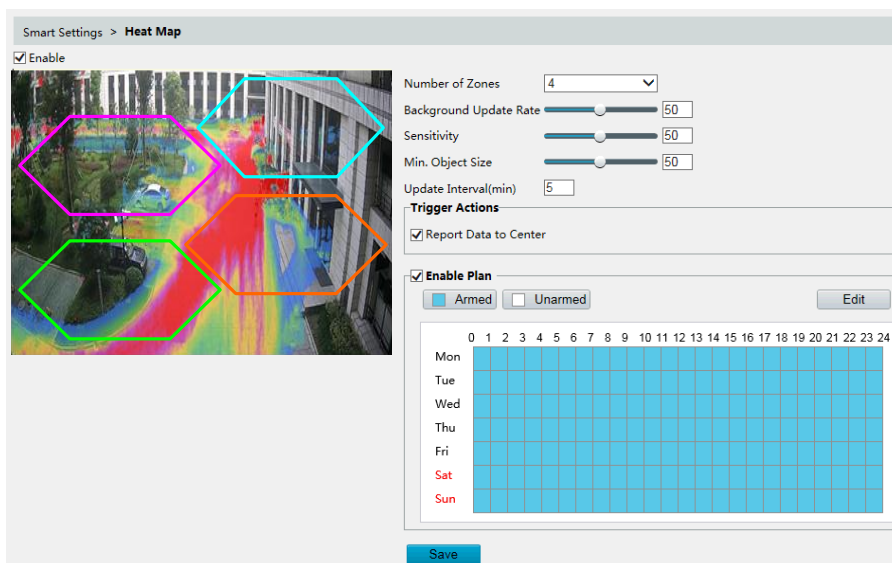


2. 追跡タイムアウト（単位：秒）とズーム比を設定します。
3. Save をクリックします。

ヒートマップ

ヒートマップでは、訪問者の通行パターンを、別々の色を使って表示します。赤などの暗い色は、通行密度が高いことを示しています。

1. [Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。Heat Map を選択し、 をクリックします。



2. Enable を選択します。

3. **Background Update Rate** を設定します。値が大きいほど、画像が頻繁に更新されるようになります。
4. **Sensitivity** を設定します。値が大きくなるほど、小さな物体が検知される可能性が高くなります。
5. **Min. Object Size** を設定します。値が大きくなるほど、検知の際に無視される小物体の数が多くなります。
6. プラットフォームにおけるレポート統計の更新間隔を設定します。
7. 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
8. **Save** をクリックします。


デフォーカス検知

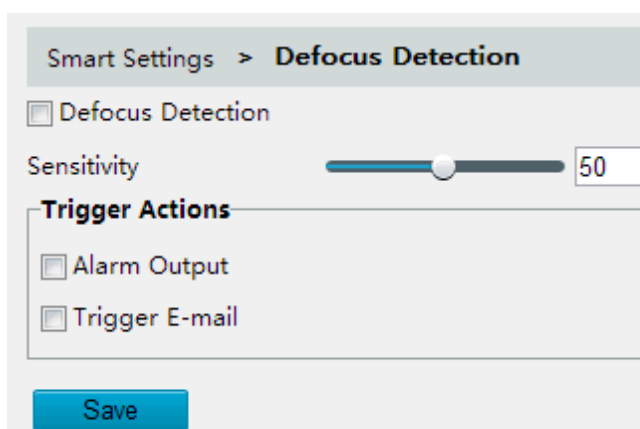


ヒント！

- この機能は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。
- サポートされるアラームのトリガーと警戒スケジュールは、カメラのモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

デフォーカス検知を使用してカメラのデフォーカスが検知され、そのようなイベントが検知されるとアラームがレポートされます。

1. **[Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings]** とクリックします。**Defocus** を選択し、 をクリックします。



2. **Defocus Detection** を選択します。
3. 必要に応じて、検知感度とアラーム起動型動作を設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
4. **Save** をクリックします。


シーン変更検知

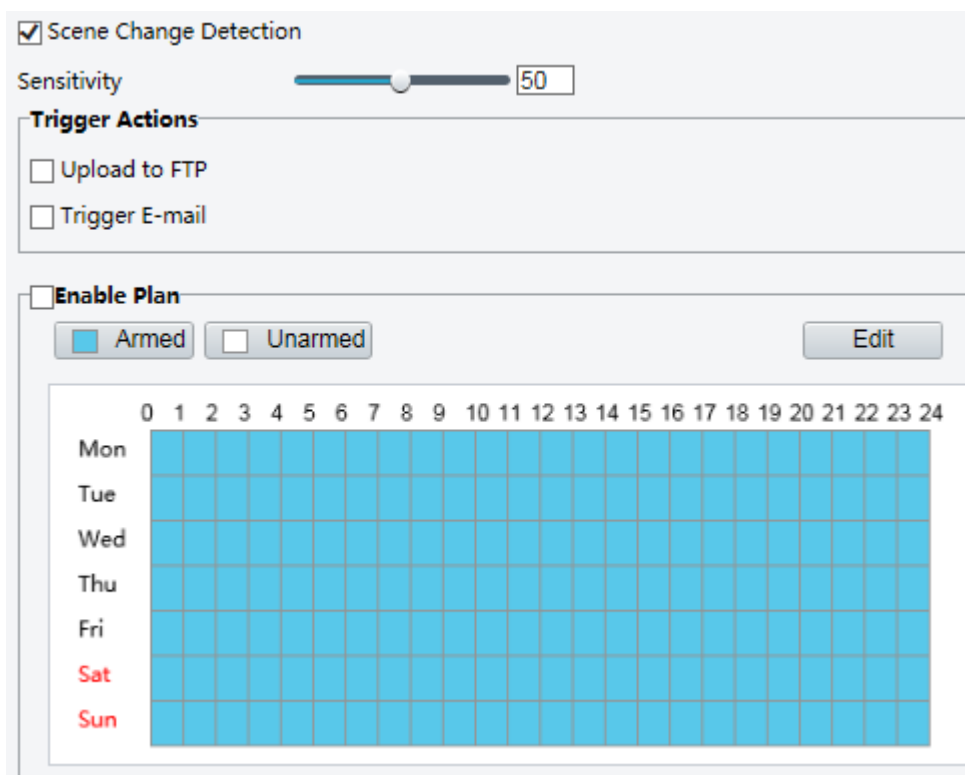


ヒント！

- この機能は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。
- サポートされるアラームのトリガーと警戒スケジュールは、カメラのモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

シーン変更検知を使用して、意図的なカメラの回転などの外部要因による監視環境の変化を検知し、そのようなイベントが検知されるとアラームがレポートされます。

1. [Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings] とクリックします。Scene Change を選択し、 をクリックします。



Scene Change Detection

Sensitivity 50

Trigger Actions

Upload to FTP

Trigger E-mail

Enable Plan

Armed Unarmed

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Mon	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed
Tue	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed
Wed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed
Thu	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed
Fri	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed
Sat	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed
Sun	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed	Armed

2. Scene Change Detection を選択します。
3. 検知感度を設定します。必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
4. Save をクリックします。

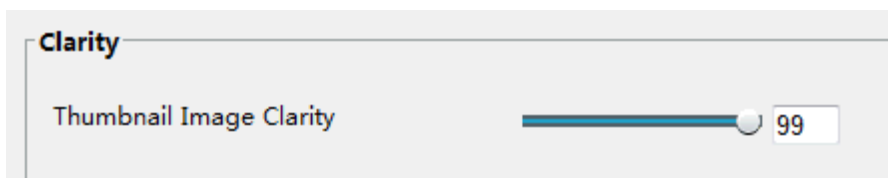
高度な設定

高度な設定には、スナップショットの明瞭性、検知モード、インテリジェント機能などがあります。

写真パラメータ

スナップショットの明瞭性を設定します。

1. [Setup] > [Intelligent] > [Advanced Settings] とクリックします。Photo parameters タブをクリックします。



Clarity

Thumbnail Image Clarity 99

2. サムネイルの明瞭性を設定します。
3. Save をクリックします。



ヒント！

写真パラメータを設定する前に、顔検知を解除してください。

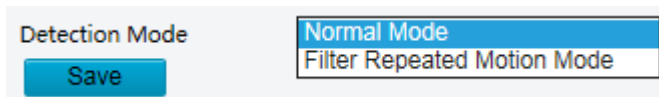
検知パラメータ



ヒント！

- 高度な設定は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。
- デフォルト検知モードは **Normal Mode** です。必要に応じて設定します。

1. **[Setup] > [Intelligent] > [Advanced Settings]** とクリックします。 **Detection parameters** タブをクリックします。




2. 検知モードを選択します。監視対象の環境で動体検知が繰り返されるたびにアラームが発生しないように、**Filter Repeated Motion Mode** を選択します。
3. **Save** をクリックします。

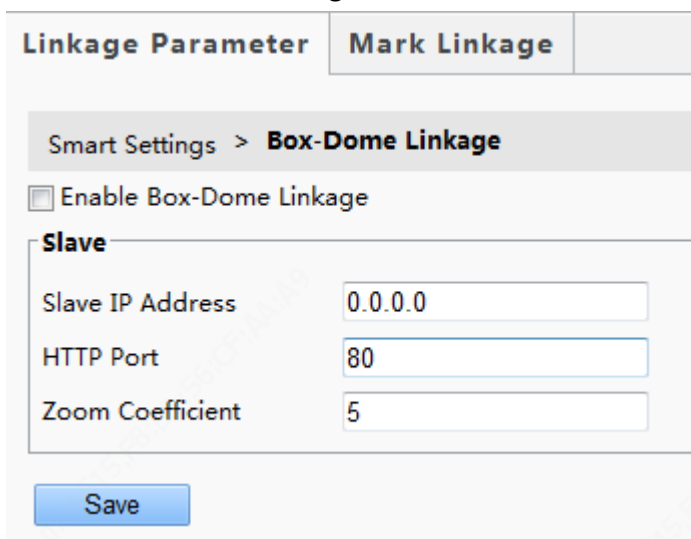
ボックス-ドームのリンクージ



ヒント！

- この機能は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。
- サポートされるリンクージパラメータとリンクージモードと警戒スケジュールは、カメラのモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. **[Setup] > [Intelligent] > [Smart Settings]** とクリックします。 **Box-Dome Linkage** を選択し、 をクリックして、**Linkage Parameter** タブを選択します。



カメラのモデルによっては、このページは次のように表示されます。

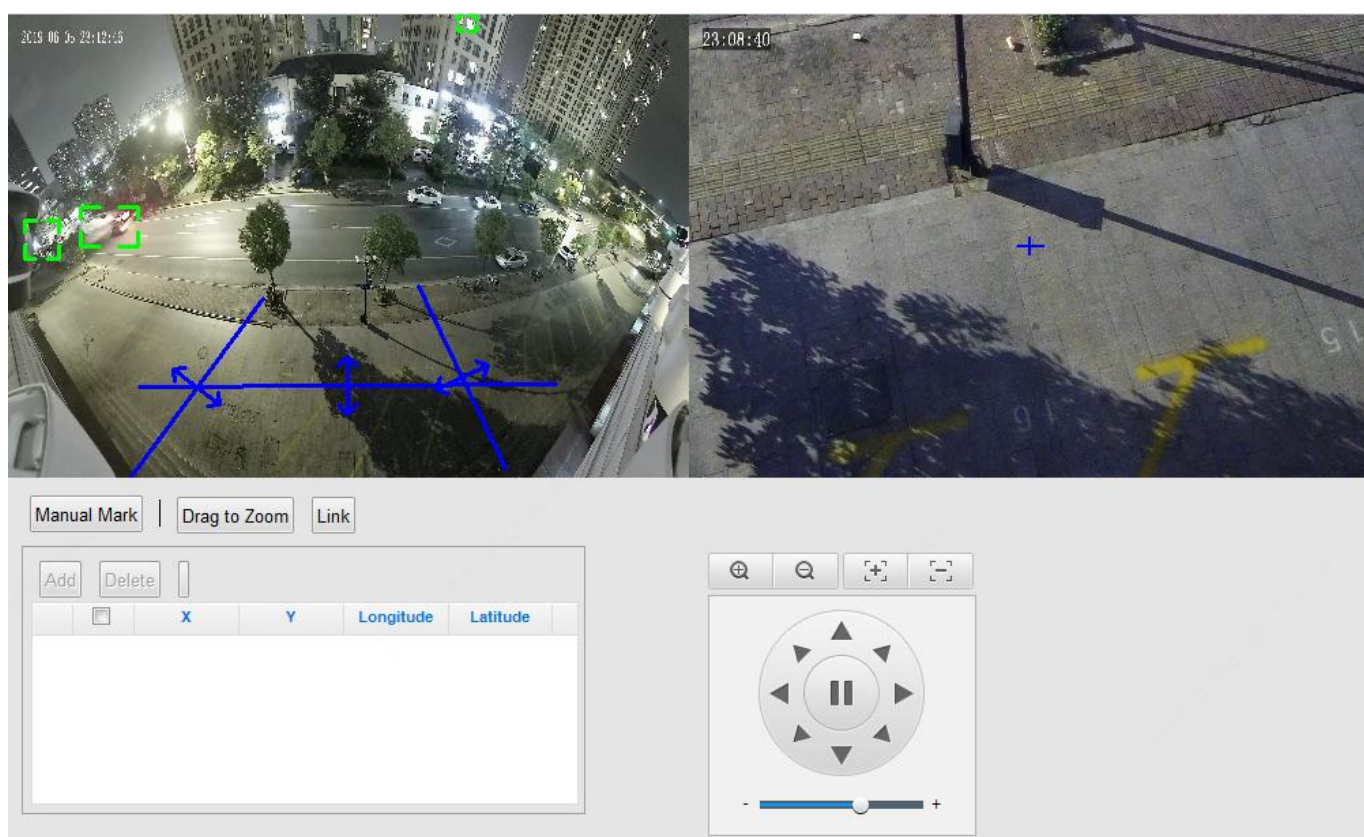
Linkage Parameter

Smart Settings > **Box-Dome Linkage**

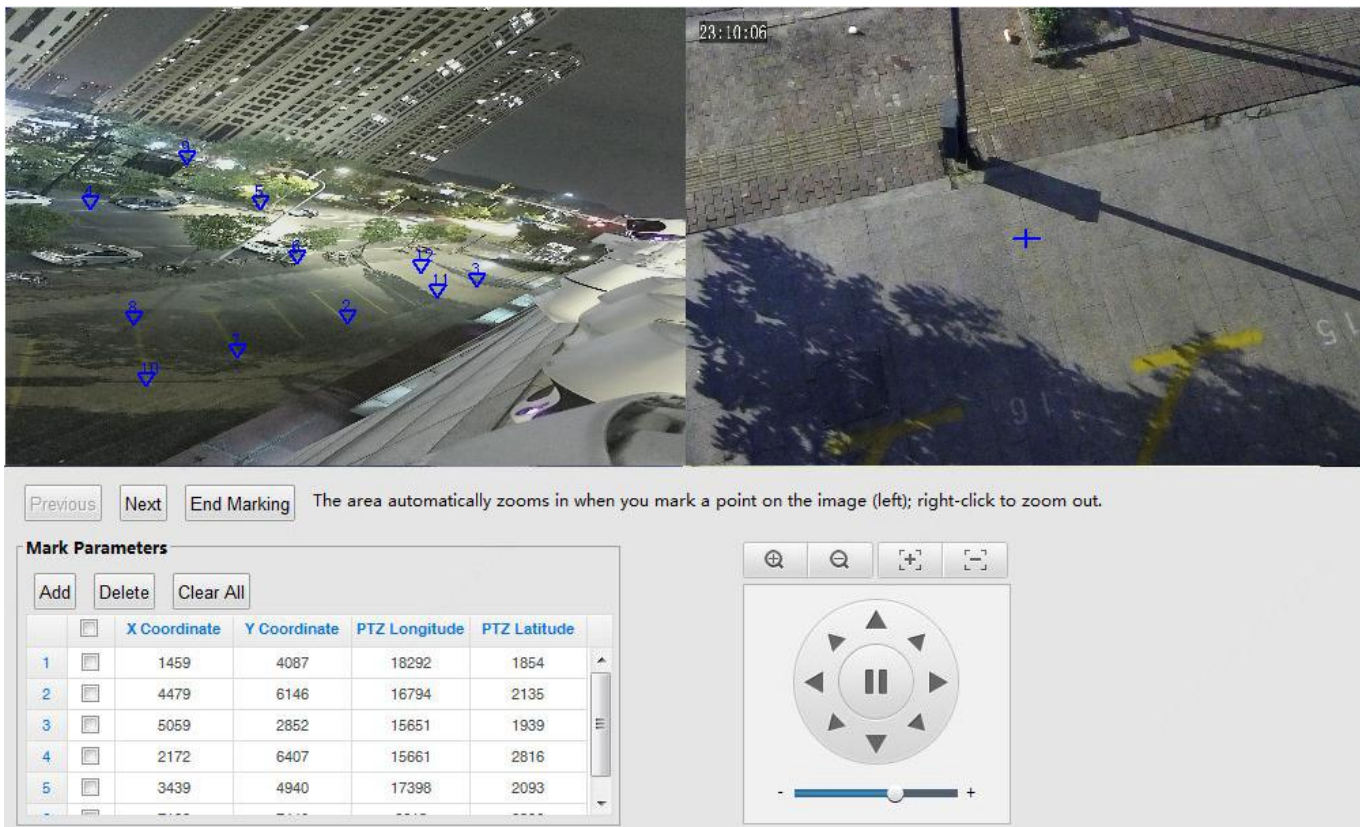
Enable Box-Dome Linkage

Master IP Address

2. **Enable Box-Dome Linkage** を選択します。
3. マスターまたはスレーブ IP アドレス、HTTP ポート、ズーム係数を設定します。
4. **Save** をクリックします。
5. **Mark Linkage** タブを選択します。



6. **Manual Mark** をクリックすると、次のページが表示されます。ボタンの意味：



前/次：現在のシーンでマーキング操作を終了すると、マーキングシーンが変化します。

エンドマーキング：保存せずにマーキング操作を終了します。

追加/削除：マーキングポイントを追加または削除します。

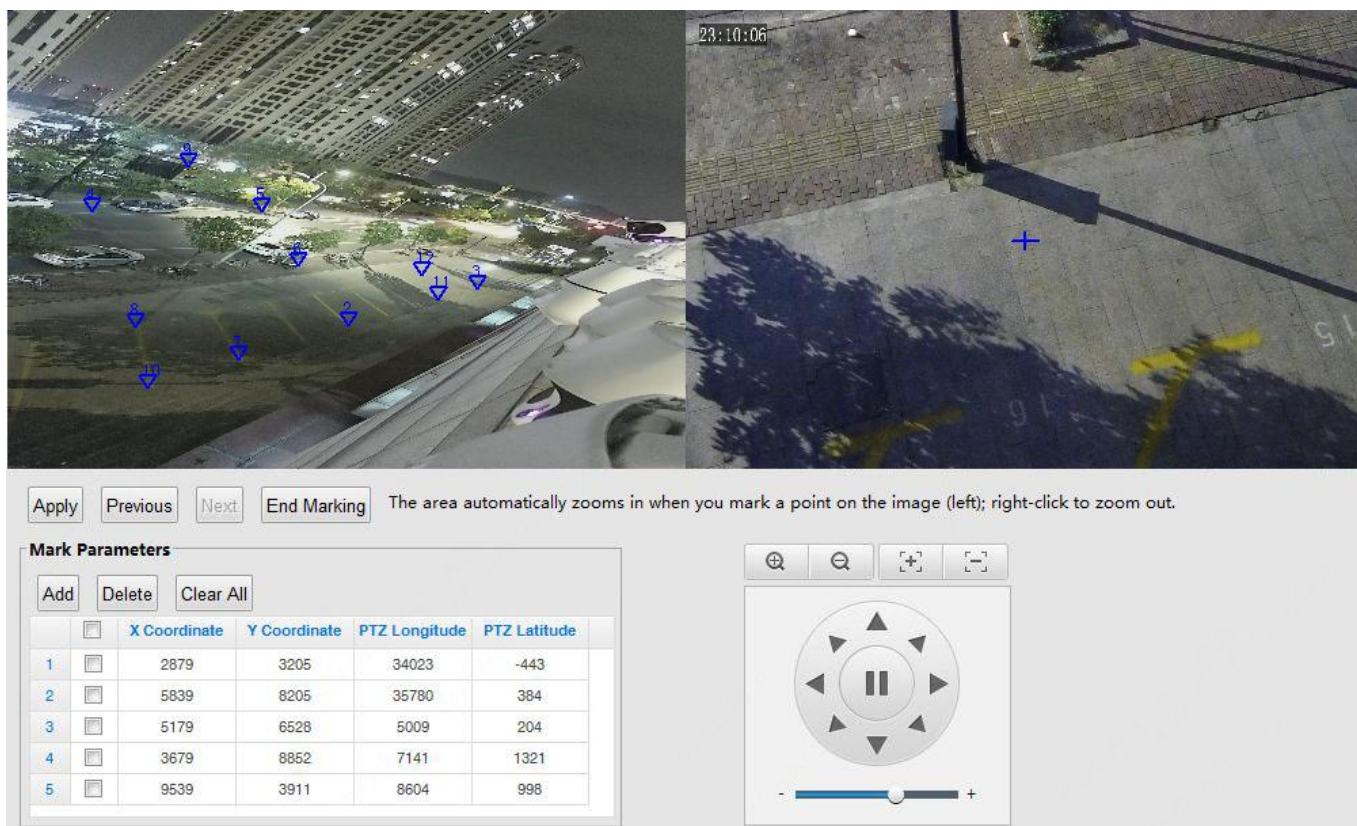
すべてクリア：このページのマーキングポイントをすべて削除します。

- 1枚のマーキングページでマーキングを行なうには次のステップを実行します。**Add** をクリックし、左側のマスターカメラ画像をクリックします。クリックした個所に小さな白いフレームが現われ、そのエリアが自動的に拡大されます（下に例を示します）。**OK** をクリックして現在のマーキングポイントを確認するか、右クリックしてオリジナル画像に戻ります。



2. マーキングポイントのある位置にスレーブカメラを向けます。スレーブカメラの拡大率を最大に設定し、スレーブカメラの画像中心の十字を、マスターカメラ画像のマーキングポイント（白い小さなフレーム）と一致させます。**OK** と **Orient** をクリックして、マーキングポイントをリンクさせます。**Cancel** をクリックすると、リンクされたマーキングポイントがキャンセルされます。

9. マスターカメラ画像で新しい位置をクリックして、最後の手順を繰り返します。ニーズによって異なりますが、5個ないし12個のマーキングが必要です。**Finish**と**Next**をクリックすると、次のシーンに移動します。
10. マーキング設定がすべて終了したら、**Apply**をクリックします。マルチセンサーカメラの場合、4か所のシーンでマーキング設定を行なった後でボタンをクリックします。



共通アラームコンフィギュレーション

アラームと、それによって起動する動作が時間内に処理できるように、アラームレポートのスケジュールを設定して、他のデバイスによって起動できる動作を設定することができます。

アラームレポートのスケジュールは、動体検知アラーム、アラーム入力、アラーム出力、タンパー検知アラーム、音声検知アラームに設定できます。サポートされるアラームは、デバイスモデルによって異なることがあります。お使いのカメラでサポートされるアラームタイプについては、ウェブインターフェースをご覧ください。

動体検知アラームの設定

動体検知は、指定の期間内に、指定の長方形エリア中の動体を検知します。動体を検知した際に動体検知アラームをレポートするかどうかを決定するために、検知エリア、検知感度、物体のサイズ、カメラの履歴を設定する必要があります。

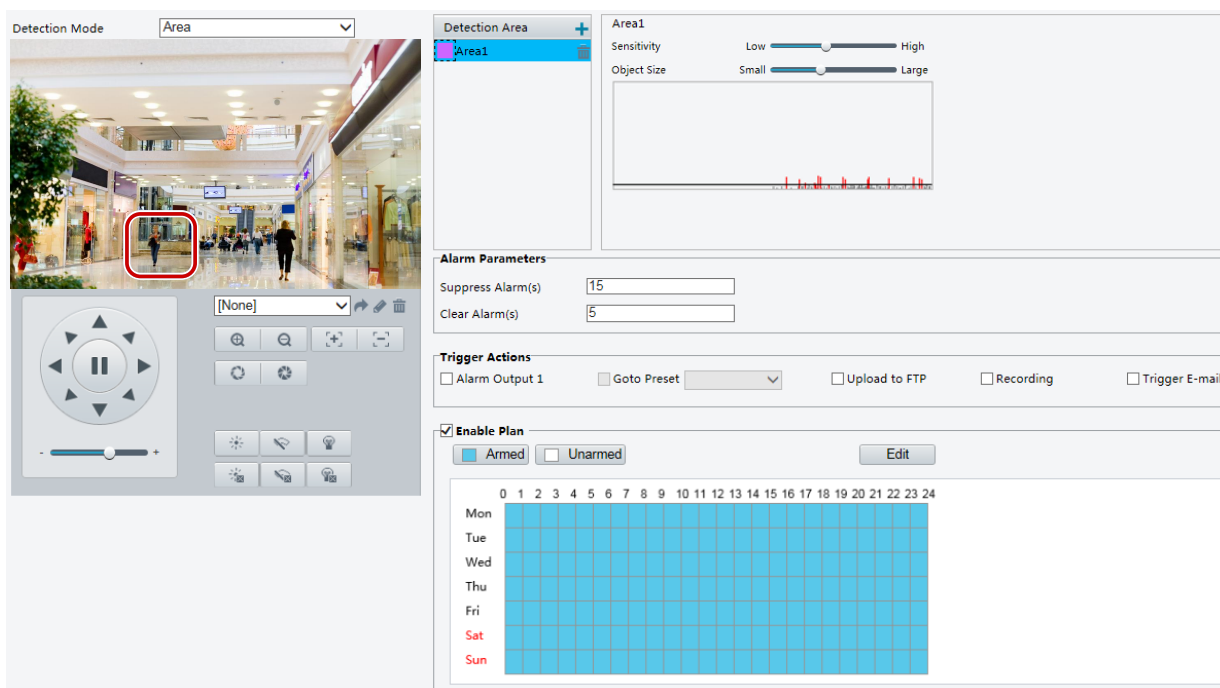


ヒント！

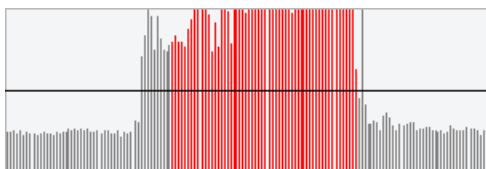
- この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。
- アラーム起動型動作はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

エリア検知

1. [Setup] > [Events] > [Common Alarm] > [Motion Detection] とクリックします。Detection Mode を Area に設定します。



2. Detection Area エリアで **+** をクリックして、新しい検知エリアを追加します。検知エリアを削除するには **✖** をクリックします。
3. マウスをクリックしてドラッグし、検知エリアを設定します。
4. 動体を検知した際に動体検知アラームをレポートするかどうかを決定するために、検知感度、物体のサイズ、カメラの履歴を設定します。
 - スライダーを右に動かすと、検知感度が増加します。検知エリア内の動体の動きが設定した物体のサイズを上回ると、カメラはアラームをレポートします。
 - 物体のサイズは、検知エリア全体のサイズに対する物体のサイズの割合の最低値です。物体のサイズがこの値を上回ると、アラームがレポートされます。すなわち、小さな物体の動きを検知するには、実際の動体エリアに対して、小さなボックス（検知エリア）を描く必要があります。
 - 動体検知の結果はリアルタイムで表示されます。赤い線は、動体検知アラームの発生した時点を示しています。動きが大きいほど、線が長くなります。動きが頻繁なほど、線が太くなります。



5. アラームパラメータを設定します。
 - アラームの抑制：アラームがトリガーされた後で、設定された時間内に同じアラームがトリガーされてもレポートされません。
 - アラームのクリア：アラームが起動した後で、
 - a. 設定された時間内に同じアラームがトリガーされなかった場合、アラームはクリアされ、同じアラームを再度レポートすることができます。

- b. 設定された時間内に同じアラームがトリガーされた場合、抑制アラーム時間が経過するまでアラームはクリアされません。その後、同じアラームを再度レポートすることができます。
6. 動体検知アラーム起動型動作とプランを設定します。

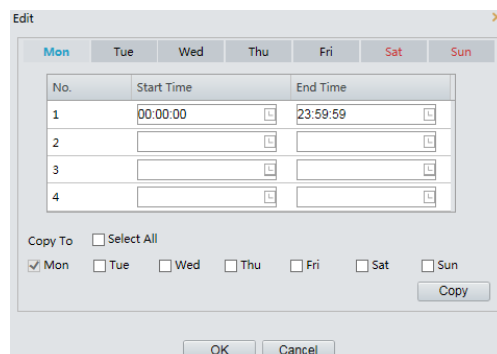
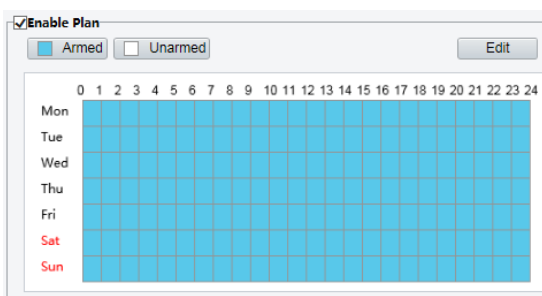
下表に、主なアラーム起動型動作とプランの設定方法が説明されています。

項目	説明
アラーム出力1	<p>チェックボックスを選択します。この設定は、動体検知アラームにリンクされたアラーム出力インターフェースです。</p> <p>注意： アラームがレポートされると、カメラは、サードパーティデバイスによる動作が起動するように、アラーム出力をトリガーします。</p>
プリセットに進む	<p>このチェックボックスを選択し、動体検知アラームにリンクされるプリセットを設定します。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> プリセットが設定されたことを確認してください。さもないと、このパラメータを設定することはできません。プリセットの設定方法については、プリセットの設定を参照してください。 アラームがレポートされると、PTZ カメラは自動的にプリセットに進み、適切なシーンでビデオを取得します。
FTP へアップロード	<p>Upload to FTP を選択した場合、アラームがトリガーされると、カメラは、自動的に、指定の FTP サーバにスナップショットをアップロードします。</p> <p>注意： この機能を使用する前に、FTP と スナップショット の設定を完了しておいてください。</p>
録画	<p>Recording が選択されている場合、アラームがトリガーされると、カメラは自動的にビデオを録画します。</p> <p>注意： まず、Storage ページで Post-Record(s) を設定してください。Post-Record(s) は、アラーム終了後に録画が継続される時間を指定します。</p>
センターをアラームする	<p>Alarm the Center を選択した場合、アラームがトリガーされると、カメラは、中央サーバにアラーム情報を送信します。</p> <p>注意： まず、Server ページで設定を完了してください。</p>
追跡をトリガー	<p>Trigger Tracking を選択した場合、アラームがトリガーされると、カメラは、自動追跡を開始します。</p> <p>注意： この機能は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。 まず、Smart Settings ページで自動追跡を設定してください。</p>
メールをトリガー	<p>Trigger E-mail を選択した場合、アラームがトリガーされると、カメラは、自動的に、指定のメールアドレスにスナップショットを送信します。</p> <p>注意： この機能を使用する前に、Eメール の設定を完了しておきます。</p>

プランの有効化

このチェックボックスを選択して、動体検知動作の開始時刻と終了時刻を設定します。直接マウスをドラッグしてプランを描き、**Edit** をクリックして表中の時刻を編集することができます。時間は重複できません。カメラは、指定時間内にもみアラームをレポートします。

月曜から日曜までが選択でき、各曜日に4つまで時間を設定できます。



マウスをドラッグしてプランを描きます。

表中の時間を編集します。

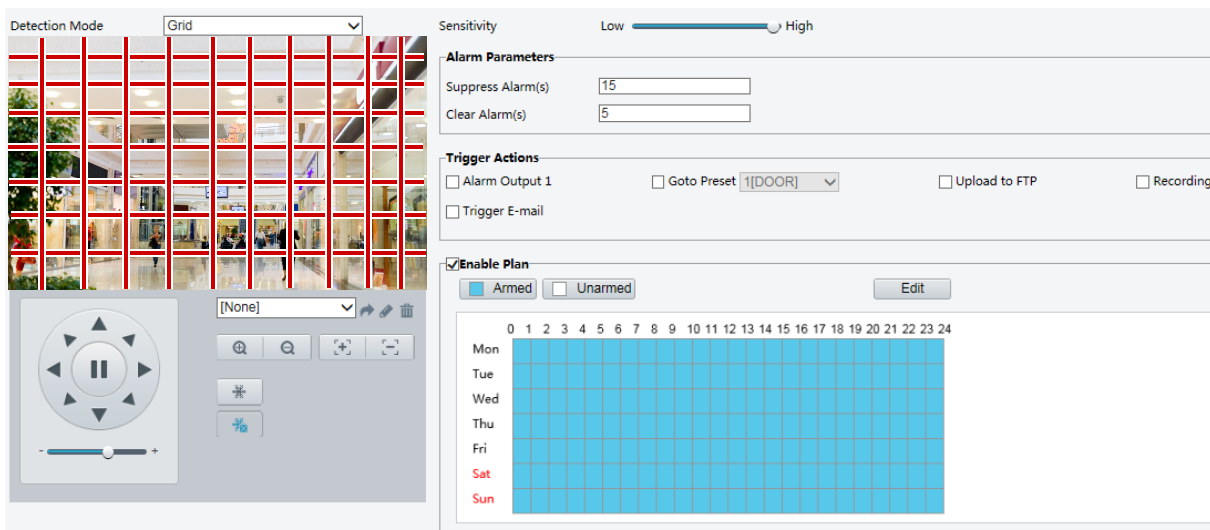
注意：

マウスによるプランの描画は、IE バージョン 8.0 以降でのみサポートされます。1 日のプランを設定した後で、**Copy** と **Paste** をクリックすると、同じ設定を別の日に適用することができます。

7. **Save** をクリックします。

グリッド検知

1. **[Setup] > [Events] > [Motion Detection]** とクリックします。**Detection Mode** を **Grid** に設定します。



2. グリッド上で不規則な検知エリアを設定することができます。
3. 動体検知アラームをレポートするかどうかを決定するために、カメラの検知感度を設定します（アラームは、互換性のある NVR に表示されます）。
4. アラームパラメータを設定します。
 - アラームの抑制：アラームがトリガーされた後で、設定された時間内に同じアラームがトリガーされてもレポートされません。
 - アラームのクリア：アラームが起動した後で、
 - a. 設定された時間内に同じアラームがトリガーされなかった場合、アラームはクリアされ、同じアラームを再度レポートすることができます。

- b. 設定された時間内に同じアラームがトリガーされた場合、抑制アラーム時間が経過するまでアラームはクリアされません。その後、同じアラームを再度レポートすることができます。
5. 動体検知アラーム起動型動作とプランを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定のエリア検知](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
6. **Save** をクリックします。

タンパーアラームの設定

レンズが指定の時間の間ふさがれるとカメラがタンパーアラームをレポートするように、タンパーアラームを設定します。



ヒント！

- この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。
- アラーム起動型動作はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. **[Setup] > [Events] > [Common Alarm] > [Tampering Alarm]** とクリックします。

Tampering Alarm On Off

Sensitivity 50

Duration(s)

Trigger Actions

Alarm Output 1 Goto Preset 1[DOOR] Upload to FTP Recording Trigger E-mail

Enable Plan

Armed Unarmed

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Mon																									
Tue																									
Wed																									
Thu																									
Fri																									
Sat																									
Sun																									

2. **Tampering Alarm** で **On** を選択します。
3. カメラにタンパーアラームをレポートさせるか否かを決定する際の基準となる、カメラの検知感度と時間を設定します。

感度は、高レベル、中レベル、低レベルの3つに分割されています。感度を高レベルに設定した場合、カメラは、中レベルよりも遠い場所までレンズのブロックを検知することができます。指定の時間、レンズがふさがれると、カメラはタンパーアラームをレポートします。タンパーアラームは画面全体で有効です。タンパーアラームを無効にするには、**Tampering Alarm** チェックボックスからマークを外します。
4. タンパーアラーム起動型動作とプランを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
5. **Save** をクリックします。

音声検知アラームの設定

カメラは、音声入力信号の異常を検知することができます。音量の上昇度や下降度が設定限界を超えたり、入力音量がしきい値に達すると、カメラはアラームをレポートし、設定された動作をトリガーします。音声入力デバイスがカメラに正しく接続され、[アラーム入力の指定](#)で音声入力が入力されていることを確認してください。



ヒント！

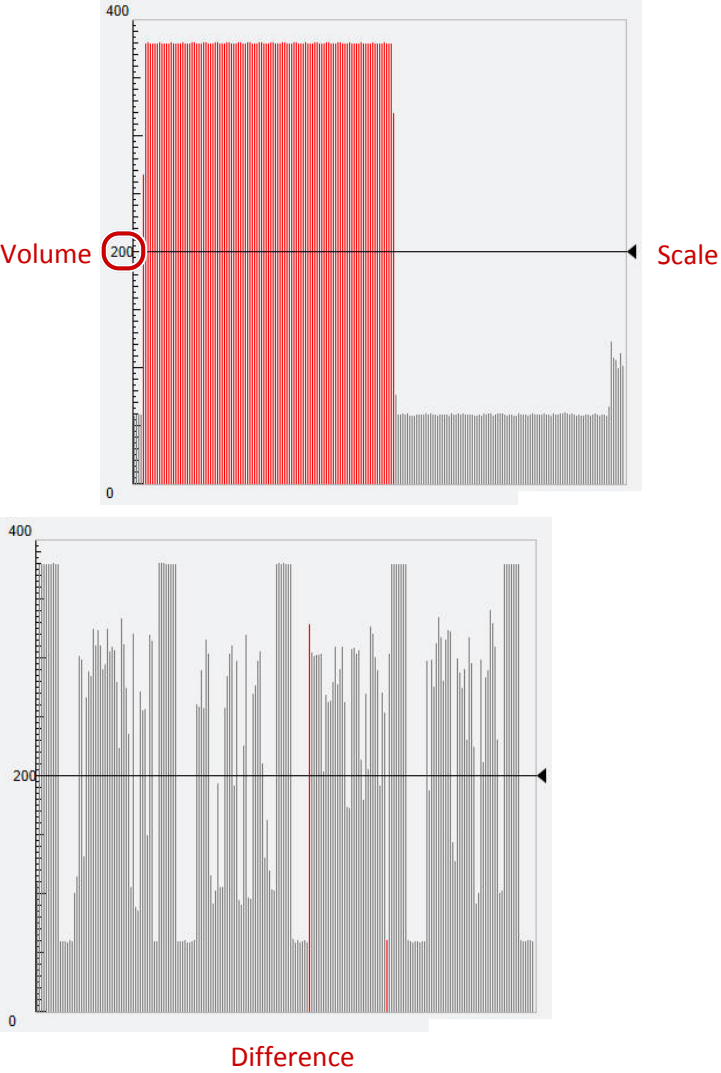
- この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。
- アラーム起動型動作はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。

1. [Setup] > [Events] > [Common Alarm] > [Audio Detection] とクリックします。

2. **Audio Detection** で **Enable** を選択し、検知タイプを選択し、音量差またはしきい値を設定します。音声検知を無効にするには、**Enable** チェックボックスからマークを外します。

次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
検知のタイプ	<ul style="list-style-type: none"> 急激な上昇: 音量の上昇度が音量差を上回ると、アラームがレポートされます。 急激な下降: 音量の下降度が音量差を上回ると、アラームがレポートされます。 急激な変化: 音量の上昇度または下降度が音量差を上回ると、アラームがレポートされます。 しきい値: 音量がしきい値を上回ると、アラームがレポートされます。
音量差	<ul style="list-style-type: none"> しきい値: しきい値として音量が設定されると、しきい値を超えたときにアラームがレポートされます。 音量差: 2つの音量の差。音量の上昇度または下降度が音量差を上回ると、アラームがレポートされます。 <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声検知エリアのスケールを使用して、音量が測定されます。 音声検知の結果はリアルタイムで表示されます。赤い部分は、音声検知アラームがレポートされた部分を示しています。

パラメータ	説明
	 <p>The image contains two waveform graphs. The top graph shows a red waveform labeled 'Volume' with a peak at 200 and a horizontal line labeled 'Scale' extending to the right. The bottom graph shows a grey waveform labeled 'Difference' with a horizontal line at 200 and a vertical red line indicating a threshold.</p>

- 必要に応じて、アラーム起動型動作と警戒スケジュールを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
- Save をクリックします。

アラーム入力の指定

カメラは、サードパーティデバイスからアラーム情報を受信することができます。この機能を使用するには、まず、アラーム入力に、ポート、アラーム名、アラームタイプ（ノーマルオープンかノーマルクローズか）、アラームレポート時間の各情報を設定する必要があります。



ヒント！

- この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、[実際のモデル](#)をご覧ください。
- アラーム起動型動作はモデルによって異なることがあります。詳細については、[実際のウェブインターフェース](#)をご覧ください。

1. [Setup] > [Events] > [Common Alarm] > [Alarm Input] とクリックします。

Select Alarm: Alarm Input 1

Alarm Name:

Alarm ID:

Alarm Type: N.O.

Alarm Input: On Off

Trigger Actions

Alarm Output 1 Goto Preset 1[DOOR] Upload to FTP Recording Trigger E-mail

Enable Plan

Armed Unarmed

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Mon																									
Tue																									
Wed																									
Thu																									
Fri																									
Sat																									
Sun																									

2. アラームを選択し、アラーム名を設定します。
3. サードパーティアラーム入力デバイスのタイプに応じて、**N.O.** または **N.C.** を選択します。たとえば、サードパーティアラーム入力デバイスがノーマルオープンの場合、ここで **N.O.** を選択します。すると、カメラは、サードパーティアラーム入力デバイスからアラームを受信できます。
4. 入力アラーム起動型動作とプランを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
5. **Save** をクリックします。

アラーム出力の設定

アラーム出力がノーマルオープンまたはノーマルクローズに正しく設定されている場合、動体検知アラーム（ブーリアン型アラーム）によってアラーム出力がトリガーされると、カメラはサードパーティデバイスに、アラーム情報を出力することができます。アラーム出力の時間を設定することができます。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. [Setup] > [Events] > [Common Alarm] > [Alarm Output] とクリックします。

2. アラームを選択し、アラーム名を設定します。
3. 状態を **N.O.**（デフォルト設定）に設定し、アラーム時間を設定します。
4. アラームライトなどのサードパーティアラームデバイスに適合するように、リレーモードを設定します。お使いのサードパーティアラームデバイスに応じて、トリガーモードを選択してください。

項目	説明
モノステーブル	アラーム出力は、パルスによってサードパーティアラームデバイスをトリガーします。
バイステーブル	アラーム出力は、高レベルまたは低レベルによってサードパーティアラームデバイスをトリガーします。

5. 入力アラーム起動型動作とプランを設定します。詳しい手順については、[動体検知アラームの設定](#)のアラーム起動型動作の説明をご覧ください。
6. **Save** をクリックします。



注意！

デバイスの電源を入れる際には、カメラのコンポーネントを破損させないように、正しい順番に入れてください。

1. アラームタイプが **Normally Open**（デフォルト設定）に設定され、カメラとアラーム出力デバイスの電源が切っていることを確認します。
2. 接続が終了したら、まずカメラの電源を入れ、次にアラーム出力デバイスの電源を入れます。

メモ리카ードストレージ



ヒント！

- 一部のモデルではこの機能はサポートされません。またモデルによって機能が異なることがあります。詳細については、実際のモデルをご覧ください。
- カメラがスタンダロンモードで動作する場合は、エッジストレージが推奨されます。カメラが中央管理サーバで管理される場合、キャッシュポスト録画サービスに影響が出ないように、エッジストレージを停止する必要があります。
- ポスト録画機能に対応するデバイスでは、Post-Recordが表示されます。この機能に対応しないカメラでは、このパラメータは表示されません。

エッジストレージの設定

エッジストレージを使用して、メモ리카ードに、直接、ビデオデータとスナップショットが保存されます。カメラがスタンダロンモードで動作している場合は、エッジストレージが推奨されます。

マニュアルストレージ

マニュアルストレージが有効になっている場合は、カメラは繰り返しライブビデオを録画します。

1. [Setup] > [Storage] > [Storage] とクリックします。

2. エッジストレージを起動し、必要に応じて設定を変更します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
ストレージ媒体	ストレージリソースの種別です。 注意： <ul style="list-style-type: none">メモ리카ードをフォーマットするには、まず、カードのストレージ機能を無効にします。次に、Format をクリックし、OK をクリックして操作を確定します。フォーマットが完了すると、システムが再起動します。総容量と空きスペースに関する情報が表示されます。
データ上書きポリシー	<ul style="list-style-type: none">上書き：メモ리카ードに空きスペースがない場合、既存のデータの上に新しいデータが繰り返し上書きされます。停止：メモ리카ードに空きスペースがない場合、メモ리카ードに新しいデータは保存されません。

パラメータ	説明
ポストレコード	アラーム起動型録画の場合、アラームが終了した後も、継続して録画されます。

3. Save をクリックします。

ストレージプラン

スケジュール録画が有効になっている場合、カメラは、指定の時間、メモリカードにビデオを録画します。

1. [Setup] > [Storage] > [Storage] とクリックします。

Storage Medium Memory Card Enable

Total Capacity 7594 MB, Free Space 382 MB.

Allocate Capacity

Video(MB) 7594 (The remaining capacity is used for image storage.)

Common Snapshot(MB) 0 (The remaining capacity is used for smart snapshot storage.)

Smart Snapshot(MB) 0

Video Storage Info

Storage Policy Manual Storage Planned Storage Off

Stream Main Stream

When Storage Full Overwrite Stop

Post-Record(s) 60

Plan

Armed Unarmed

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Mon																									
Tue																									
Wed																									
Thu																									
Fri																									
Sat																									
Sun																									

カメラのモデルによっては、このページは次のように表示されます。

Storage Medium Enable

Total Capacity 7514 MB, Free Space 7514 MB.

Allocate Capacity

Video(MB) (The remaining capacity is used for image storage.)

Common Snapshot(MB)

Video Storage Info

Storage Policy Manual Storage Planned Storage Off

Stream

When Storage Full Overwrite Stop

Post-Record(s)

Plan

Armed Unarmed

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Mon																									
Tue																									
Wed																									
Thu																									
Fri																									
Sat																									
Sun																									

2. **Planned Storage** を選択し、カメラがメモリカードにビデオを録画する時間を設定します。
3. **Save** をクリックします。



ヒント！

- マニュアルストレージとスケジュール録画の両方が有効になっている場合、スケジュール録画は有効になりません。
- メモリカードで録画を検索するには、[エッジストレージによるビデオ再生とダウンロード](#)をご覧ください。

キャッシュポスト録画の設定

中央管理されているカメラでは、中央管理サーバのバックアップストレージリソースとして、メモリカードを使用することができます。ネットワーク接続状態が不安定なために、カメラから中央ストレージデバイスへの保存が中断した場合、カメラは、自動的にキャッシュポスト録画を開始し、メモリカードにビデオを保存します。

録画バックアップが有効になっている場合、カメラとバックアップサーバとの間の通信が復帰したときに、カメラは、自動的に、メモリカードに保存されているビデオを、ファイルの形で、バックアップサーバのストレージリソースに転送することができます。



ヒント！

カメラでキャッシュポスト録画を設定する前に、以下の各項目を確認してください：

- メモリカードがカメラに正しくインストールされている。
- 中央サーバにバックアップリソースが追加されている。
- カメラにバックアップリソースが割り当てられている。
- ポスト録画機能に対応するデバイスでは、Post-Record が表示されます。この機能に対応しないカメラでは、このパラメータは表示されません。

エッジストレージの無効化

1. [Setup] > [Storage] > [Storage] とクリックします。

Storage Medium: Memory Card [Format] [Enable]

Total Capacity 7594 MB, Free Space 382 MB.

Allocate Capacity

Video(MB): 7594 (The remaining capacity is used for image storage.)

Common Snapshot(MB): 0 (The remaining capacity is used for smart snapshot storage.)

Smart Snapshot(MB): 0

Video Storage Info

Storage Policy: Manual Storage Planned Storage Off

Post-Record(s): 60

2. Storage Policy を Off に設定します。カメラがこの機能をサポートする場合ポスト録画が表示されるので、Post-Record(s) を設定します。
3. Save をクリックします。

システムメンテナンス



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

セキュリティ

ユーザ管理

システムユーザには次の2種類があります：

- 管理者：本書では「admin」と称します。管理者のデフォルト名は admin で、これを変更することはできません。Admin には全権限が与えられ、全ユーザと全デバイスを管理することができます。1台のシステムには1人の admin ユーザのみが許可されます。
- 共通ユーザ：本書では「ユーザ」と称します。ユーザは、ライブビデオと録画済みビデオを再生する権限しかありません。1台のシステムには32人までの共通ユーザが許可されます。

ユーザ管理インターフェースでユーザを追加することができます ([Setup] > [Security] > [User] で)。ユーザが追加できたら、新しいパスワードでパスワードを変更したり、ユーザ名をクリアしてユーザを削除することができます。



ヒント！

- admin のみがパスワードを変更できます。ユーザのログイン中にユーザ名またはパスワードを変更すると、そのユーザは強制的にログアウトされます。この場合、そのユーザは新しいユーザ名とパスワードを使用しなければログインできません。
- admin のみがユーザを追加または削除できます。ログイン中のユーザを削除すると、そのユーザは強制的にログアウトされます。削除されたユーザはログインできません。

セキュアデータ転送の設定

セキュリティを確保するため、データ転送用のセキュアチャンネルを設定します。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. [Setup] > [Network] > [Port] とクリックします。

HTTP Port	<input type="text" value="80"/>
HTTPS Port	<input type="text" value="443"/>
RTSP Port	<input type="text" value="554"/>

2. HTTPS Port テキストボックスにポート番号を入力します。
3. Save をクリックします。
4. [Setup] > [Security] > [Network Security] > [HTTPS] とクリックします。

HTTPS	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
SSL Certificate	<input type="text"/> <input type="button" value="Browse..."/> <input type="button" value="Upload"/>

5. HTTPS で On を選択します。必要に応じてカスタム SSL 証明書をインポートすることができます。
6. Save をクリックします。

次回ログインする際に、`https://IP: HTTPS port number` フォーマット (例: `https://192.168.1.13: 443`) にアドレスを入力してセキュアチャンネルモードに進みます。デフォルト HTTPS ポートを使用する場合は、`https://IP` を入力します。

認証

RTSP (リアルタイムストリーミングプロトコル) はアプリケーションレイヤープロトコルです。音声とビデオを送信して制御するには、ウェブインターフェースで RTSP 認証を設定します。

1. [Setup] > [Security] > [Network Security] > [Authentication] とクリックします。

RTSP Authentication	<input type="text" value="Digest"/>
HTTP Authentication	<input type="text" value="Digest"/>
<input type="button" value="Save"/>	

2. 認証モードを選択して Save をクリックします。

ベンダー情報の非表示

ウェブインターフェースでネットワークカメラのベンダー情報を非表示にするよう設定できます。

1. [Setup] > [Security] > [Registration Info] とクリックします。

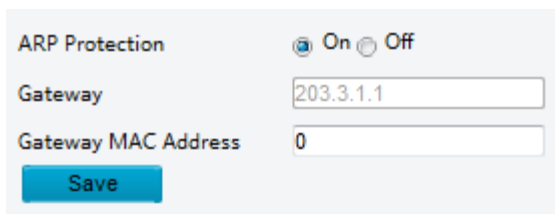
Hide Vendor Info	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
<input type="button" value="Save"/>	

2. Registration Info で On を選択します。
3. Save をクリックします。

APR 保護

この機能は、ARP 攻撃からカメラを保護します。ゲートウェイと MAC アドレスを適切に設定しなければ、PC は別のネットワークからカメラにアクセスできません。MAC が間違っていて設定された場合、同じ LAN 上の PC しかアクセスできません。

1. [Setup] > [Security] > [Network Security] > [ARP Protection] とクリックします。



ARP Protection On Off

Gateway

Gateway MAC Address

Save

2. チェックボックスを選択して ARP バインディング機能を有効にし、ゲートウェイの MAC アドレスを設定します。
3. Save をクリックします。

IP アドレスフィルタリング

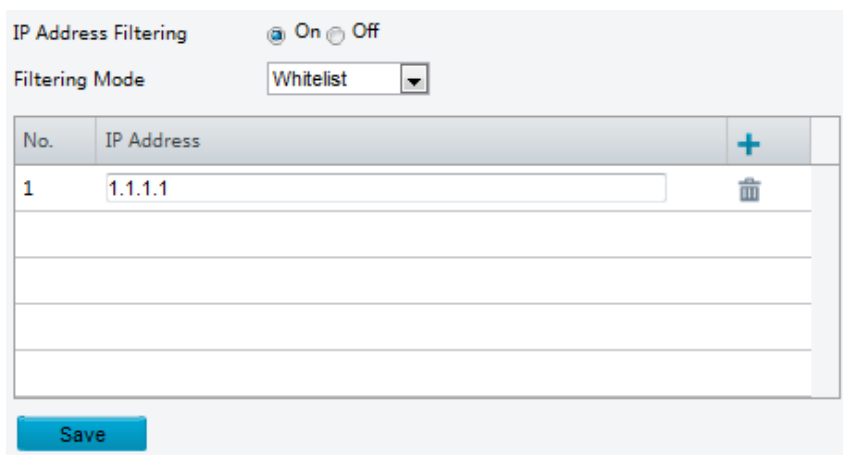
IP アドレスフィルタリングを使用して、指定の IP アドレスからのアクセスを許可または禁止します。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. [Setup] > [Security] > [Network Security] > [IP Address Filtering] とクリックします。



IP Address Filtering On Off

Filtering Mode

No.	IP Address	+
1	<input type="text" value="1.1.1.1"/>	🗑️

Save

2. On を選択して IP アドレスフィルタリングを有効にします。
3. フィルタリングモードを選択し、IP アドレスを追加します。
4. Save をクリックします。



ヒント！

- Filtering Mode が Whitelist に設定されている場合、追加された IP アドレスのみがカメラにアクセスできます。Filtering Mode が Deny Access に設定されている場合、追加された IP アドレスのみがカメラにアクセスできなくなります。
- IP アドレスは 32 個まで追加できます。各 IP アドレスは 1 回しか追加できません。
- 各 IP アドレスの最初のバイトは 1~223 でなければならず、第 4 バイトは 0 にできません。たとえば、次の IP アドレスは不正ですので追加できません：0.0.0.0, 127.0.0.1, 255.255.255.255, 224.0.0.1。

アクセスポリシー



ヒント！

フレンドリーなパスワードを有効にしても使用法は変わりません。これをオフにして弱いパスワードでログインすると、ページがポップアップ表示され、パスワードを変更するよう指示されます。このページには Cancel や Close のボタンはありません。デフォルトパスワードは弱いパスワードと見なされます。

1. [Setup] > [Security] > [Network Security] > [Access Policy] とクリックします。

Friendly Password On Off
MAC Authentication On Off
Save

2. On を選択し、フレンドリーなパスワードと MAC 認証を有効にします。
3. Save をクリックします。

デジタルウォーターマーク

不正に削除または変更できないように、デジタルウォーターマークを使用してビデオのカスタム情報を暗号化します。



ヒント！

この機能は、一部のカメラモデルでのみサポートされます。

1. [Setup] > [Security] > [Watermark] とクリックします。

Watermark On Off
Watermark Content
Save

2. On を選択し、デジタルウォーターマークを有効にし、デジタルウォーターマークのコンテンツを入力します。
3. Save をクリックします。

システム時刻の設定

以下の方法を使用して、デバイスのシステム時刻を調整します。

手動によるシステム時刻の設定と同期

1. [Setup] > [Common] > [Time] とクリックし、Time タブをクリックします。

Sync Mode
Time Zone
System Time

2. 同期モードを選択します。
3. 正しいタイムゾーンとシステム時刻を設定します。Sync with Computer Time をクリックして、カメラの時刻設定を PC の時刻と同期させることもできます。
4. Save をクリックします。

NTP サーバとの同期

1. [Setup] > [Common] > [Time] とクリックし、Time タブをクリックします。

Sync Mode	<input type="text" value="Sync with NTP Server"/>
Time Zone	<input type="text" value="(UTC) London,Casablanca,Coordinated Universal Time"/>
System Time	<input type="text" value="2018-05-10 08:48:53"/> <input type="button" value="Sync with Computer Time"/>
NTP Server	
NTP Server Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="123"/>
Update Interval(s)	<input type="text" value="600"/>

2. Sync Mode を Sync with NTP Server に設定し、NTP サーバの IP アドレスとポート番号および更新間隔を設定します。
3. Save をクリックします。すると、カメラは、定期的に、NTP サーバと時刻を同期します。

夏時間の設定

1. [Setup] > [Common] > [Time] とクリックし、DST タブをクリックします。

DST					
DST	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off				
Start Time	<input type="text" value="Apr"/>	<input type="text" value="First"/>	<input type="text" value="Sun"/>	<input type="text" value="02"/>	<input type="text" value="h"/>
End Time	<input type="text" value="Oct"/>	<input type="text" value="Last"/>	<input type="text" value="Sun"/>	<input type="text" value="02"/>	<input type="text" value="h"/>
DST Bias	<input type="text" value="60mins"/>				

2. DST で On を選択し、開始時刻、終了時刻、夏時間と冬時間との差を設定します。
3. Save をクリックします。

サーバの設定

インテリジェントサーバー

中央サーバで超高感度カメラが管理される場合、インテリジェントサーバを設定する必要があります。



ヒント！

- インテリジェントサーバは、一部のカメラモデルでのみサポートされます。
- 顔スナップショットを使用するには、スナップショットのアップロード先の TMS サーバを設定する必要があります。

1. [Setup] > [Common] > [Server] とクリックし、Intelligent Server タブをクリックします。

Server IP	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Server Port	<input type="text" value="5196"/>
Platform Communication Type	<input type="text" value="UV-V2"/>
Device No.	<input type="text" value="IPC"/>
Camera No.	<input type="text" value="IPC"/>

2. TMS サーバの IP アドレスを設定して、他の設定を完了します。
3. Save をクリックします。

シリアルポートモードの設定

サードパーティデバイスとのデータ交換には RS485 シリアルポートが使用されます。カメラのシリアルポートの設定は、接続されるサードパーティデバイスの設定と一致する必要があります。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

PTZ コントロール

サードパーティデバイスを通じて PTZ カメラを制御するには、**Port Mode** を **PTZ Control** に設定する必要があります。

RS485 ポートを通じて PELCO-D に準拠する PTZ コントロールコマンドを送信すると、PTZ コントロールパネルを使用せずに PTZ カメラを制御することができます。

1. **[Setup] > [System] > [Ports & Devices]** とクリックし、**Serial Port** タブをクリックします。

RS485_1	
Port Mode	PTZ Control
Baud Rate	9600
Data Bits	8
Stop Bits	1
Parity	None
Flow Control	None
PTZ Protocol	INTERNAL-PTZ
PTZ Mode	Built-in PTZ Priority
Address Code	1
<input type="checkbox"/> Enable Trans-Channel	

2. **Port Mode** ドロップダウンリストから **PTZ Control** を選択します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
PTZプロトコル	チャンネルがサポートするPTZプロトコルを設定します。 注意： <ul style="list-style-type: none">● Port Mode が PTZ Control に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。● PTZ Protocol が INTERNAL-PTZ に設定されていると、シリアルポートを使用せずに、外部 PTZ に接続することができます (シリアルポートパラメータはグレーアウトされます)。この場合、レンズにカメラのズームインターフェースとフォーカスインターフェースを接続するだけで済みます。すると、内部 PTZ と同様に PTZ が操作できます。

パラメータ	説明
PTZモード	<ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵 PTZ 優先：このオプションを選択すると、カメラはまず、外部 PTZ を使用せずに、カメラ本体だけで PTZ を制御しようとします（ズームやフォーカスなど）。カメラ本体だけで制御できない操作は、外部 PTZ を通じて実行されます。 ● 外部 PTZ 優先：カメラはまず、シリアルポートから接続された PTZ を通じて、PTZ を制御しようとします。 <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Port Mode が PTZ Control に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。 ● INTERNAL-PTZ が選択されている場合、このパラメータは、常に Built-in PTZ Priority に設定されるので、シリアルポートを通じてカメラを外部 PTZ に接続する必要はありません。カメラは外部 PTZ に接続されていても、外部 PTZ を介した操作は無効になります。 ● 必要に応じてこのパラメータを設定します。PTZ コントロール関連のインターフェースを正しく接続してください。
アドレスコード	<p>PTZ のアドレスコードを設定します。</p> <p>注意：</p> <p>Port Mode が PTZ Control に設定され、PTZ Protocol が INTERNAL-PTZ に設定されていない場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>

3. **Save** をクリックします。

透過チャンネル

サードパーティデバイスとの透過データ伝送には、RS485 シリアルポートが使用されます。透過チャンネルは、主に、2 台のデバイス間の透過データ伝送に使用されます。



ヒント！

- この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。
- カメラで **Port Mode** を **Trans-Channel** に設定してください。

1. **[Setup] > [System] > [Ports & Devices]** とクリックし、**Serial Port** タブをクリックします。

RS485_1

Port Mode: Trans-Channel

Baud Rate: 9600

Data Bits: 8

Stop Bits: 1

Parity: None

Flow Control: None

Enable Trans-Channel

Destination IP: 1.1.1.1

Destination Port: 1027

Source IP: 203.6.1.32

Source Port: 1025

2. **Port Mode** ドロップダウンリストから **Trans-Channel** を選択します。

3. **Trans-Channel** で **Enable** を選択します。
4. 転送先の IP アドレスとポート番号（透過チャンネルの接続先の IP アドレスとポート番号）を入力します。
5. **Save** をクリックします。

OSD

OSD にサードパーティデバイスからの情報を表示するには、ポートモードとして OSD を選択する必要があります。

カメラは RS485 シリアルポートを通じてサードパーティデバイスから情報を受信し、受信した情報を翻訳し、OSD に表示します。



ヒント！

カメラが、サードパーティデバイスから受信した情報を正しく翻訳できるようにするには、シリアルポートを通じてサードパーティデバイスから送信される情報が、当社で指定したデータフォーマットに準拠している必要があります。詳細については販売店にお問い合わせください。

1. **[Setup] > [System] > [Ports & Devices]** とクリックし、**Serial Port** タブをクリックします。

RS485_1

Port Mode	OSD
<input type="checkbox"/> Enable OSD Report	
Baud Rate	9600
Data Bits	8
Stop Bits	1
Parity	None
Flow Control	None
<input type="checkbox"/> Enable Trans-Channel	

2. **Port Mode** ドロップダウンリストから **OSD** を選択します。（OSD データがプラットフォームにアップロードされるように）**Enable OSD Report** を選択します。
3. **Save** をクリックします。

ONVIF 透過チャンネル

カメラの RS485 ポートとサードパーティデバイスとの間の透過チャンネル（ONVIF）を通じてデータを転送します。

1. **[Setup] > [System] > [Ports & Devices]** とクリックし、**Serial Port** タブをクリックします。

RS485_1

Port Mode	Trans-Channel via ONVIF
Baud Rate	9600
Data Bits	8
Stop Bits	1
Parity	None
Flow Control	None
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Trans-Channel	

2. **Port Mode** を **Select Trans-Channel via ONVIF** に設定します。
3. **Save** をクリックします。

ワイパーコントロール

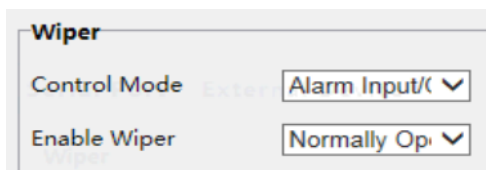
ワイパーパラメータを設定すると、ワイパーを制御することができます。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. **[Setup] > [System] > [Ports & Devices]** とクリックし、**External Device** タブをクリックします。



2. ワイパーのコントロールモードを選択します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

パラメータ	説明
シリアルポート	ワイパーは PELCO-D の指示で制御されるので、PTZ プロトコルを PELCO-D に設定する必要があります。詳細については PTZ コントロール をご覧ください。
アラーム入出力	アラーム入出力を使用して回路を開閉し、ワイパーを制御します。

デバイス状態の表示

現在のカメラの状態を表示することができます。

1. **[Setup] > [Common] > [Basic Info]** とクリックします。

Basic Info	
Model	IPC
Firmware Version	IPC
Hardware Version	A
Boot Version	V1.0
Serial No.	2102335CC3531740100232
Network	192.168.1.13/255.255.255.0/192.168.1.1
MAC Address	48:ea:63:4d:56:88
Status	
System Time	2018/1/25 19:16:27
Operation Time	0 Day(s) 0 Hour(s) 0 Minute(s)
Intelligent Server	Offline

2. **Refresh** をクリックすると状態に関する最新情報が表示されます。
3. デバイス情報が表示されます。



ヒント！

基本情報ページに、デバイスモデル、ファームウェアバージョン、インテリジェントサーバーの状態などを表示させることができます。

写真ストレージの状態

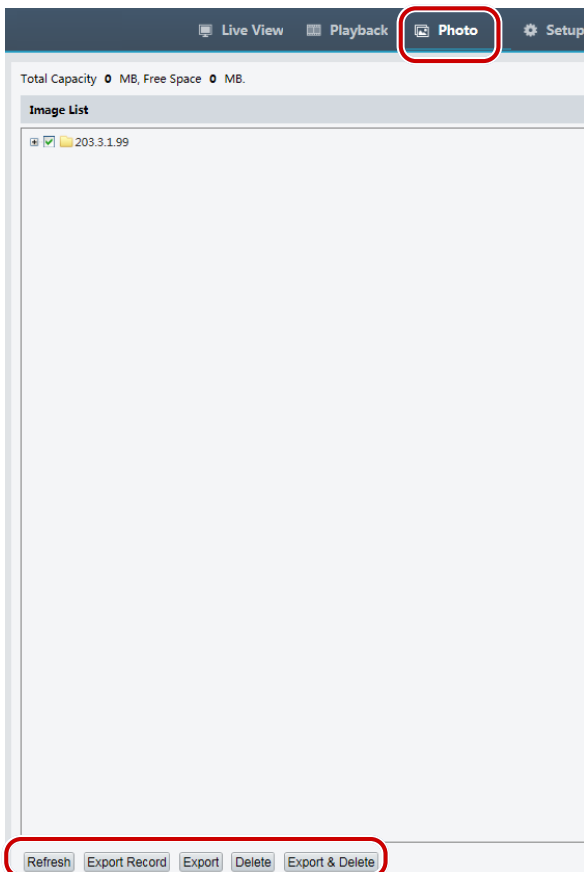
現在の写真ストレージの状態が表示されます。ストレージポリシーの全文は[メモリカードストレージ](#)をご覧ください。



ヒント！

ストレージ機能を有するモデルのみがこの機能をサポートします。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. **Photo** をクリックします。

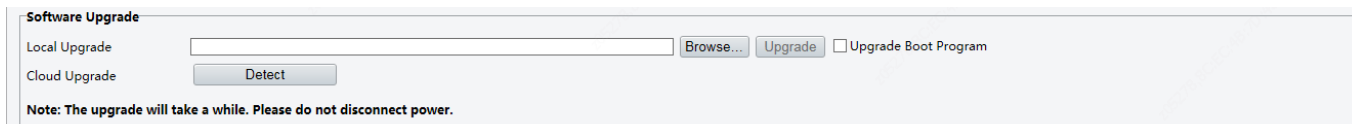


2. **Refresh** をクリックすると、ストレージの状態が更新されます。
3. **Image List** エリアで、写真をエクスポートまたは削除できます。

デバイスのアップグレード

中央管理サーバで管理されるデバイスを一括モードでアップグレードしたい場合、中央サーバでアップグレード操作を実行するよう推奨されます。詳しい手順については、中央管理サーバのユーザマニュアルをご覧ください。

1. [Setup] > [System] > [Maintenance] とクリックします。



2. Software Upgrade で Browse をクリックし、適切なアップグレードファイルを選択します。
3. Upgrade をクリックし確定すると、アップグレードが始まります。アップグレードが完了すると、カメラは自動的に再起動します。一部のデバイスでは、起動プログラムのアップグレードがサポートされます。アップグレードを行なうには Upgrade Boot Program を選択します。
4. Detect をクリックすると、クラウドアップグレードで新バージョンが利用できるかどうか確認されます。

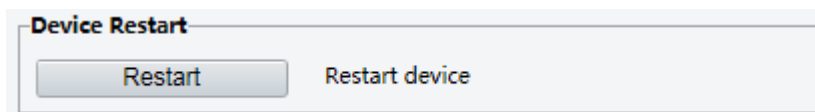


ヒント！

- 必ず、お使いのカメラに適したアップグレードファイルを使用してください。さもないと、予期せぬ結果になることがあります。
- アップグレードファイルはZIP ファイルで、必要なファイルがすべて含まれているはずです。
- 起動プログラムがオペレーティングシステムをロードし、システムが動作を開始します。デフォルトではアップグレード起動プログラムの機能は無効になっており、カメラは最新バージョンにのみアップグレードされます。これを有効にすると、カメラと起動プログラムがアップグレードされ、以下の新バージョンのオペレーティングシステムが適切に起動し、カメラが容易にアップグレードできます。
- アップグレード中は、確実に電源を接続しておいてください。アップグレードが完了すると、デバイスは自動的に再起動します。

システムの再起動

1. [Setup] > [System] > [Maintenance] とクリックします。



2. Device Restart で Restart をクリックします。操作を確定すると、デバイスが再起動します。



注意！

システムを再起動すると現在実行中のサービスが中断するので、この操作は慎重に実行してください。

システム設定ファイルのインポートとエクスポート

カメラの現在の設定をエクスポートして、PC または外部ストレージメディアに保存します。PC または外部ストレージメディアに保存したバックアップ設定をカメラにインポートすると、速やかに設定を復元することができます。



注意！

- デフォルト操作を実行すると、システム管理者のログインパスワード、ネットワーク設定、システム時刻を除く設定が、すべて工場出荷時のデフォルト設定に復帰します。
- お使いのカメラに適した設定ファイルをインポートしてください。さもないと、予期せぬ結果になることがあります。
- 設定ファイルのインポートが成功すると、カメラが再起動します。

1. [Setup] > [System] > [Maintenance] とクリックします。

Config Management

Restore all settings to defaults without keeping current network and user settings.

Importing

Exporting

2. バックアップした設定をインポートするには、**Import** ボタンの横の **Browse** ボタンをクリックし、インポートしたい設定を選択し、**Import** をクリックします。結果が表示されます。
3. 現在のシステム設定をエクスポートするには、**Browse** (**Exporting** フィールドの横) をクリックし、エクスポート先を設定し、**Export** をクリックします。
4. デフォルト設定を復元するには、**Default** をクリックし、操作を確定します。デバイスが再起動し、デフォルト設定に復帰します。チェックボックスを選択して **Default** をクリックすると、デバイスは工場設定に完全に復帰します。

診断情報の収集

診断情報には、ログやシステム設定が含まれます。PC に診断情報をエクスポートすることができます。

1. [Setup] > [System] > [Maintenance] とクリックします。

Diagnosis Info

Export Diagnosis Info

Collect Image Debugging Info

2. **Diagnosis Info** エリアで **Browse** をクリックし、エクスポート先を設定し、**Export** をクリックします。



ヒント！

- 圧縮ファイルの形で、ローカルフォルダに診断情報がエクスポートされます。WinRAR などのツールでファイルを解凍し、テキストエディタでファイルを開く必要があります。
- **Collect Image Debugging Info** を選択すると、デバッグ情報のあるビデオが表示されるので、故障診断が容易になります。

フォーカス設定

デバイスは、最小焦点距離に応じて、オートフォーカスの速度を調整することができます。対象物を明瞭に撮影する際には、最小焦点距離を、対象物とレンズとの間の距離より短く設定します。たとえば、最小焦点距離が 3m の場合、レンズから 3m 以内にある対象物には焦点が合わなくなります。



ヒント！

この機能は、オートフォーカス機能が実装されたデバイスでのみサポートされます。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. **[Setup] > [System] > [Maintenance]** とクリックします。

Focus		
Min. Focus Distance(cm)	10	OK
Max. Zoom Ratio	30	OK

2. **Focus** で **Min. Focus Distance**（単位：cm）と **Max. Zoom Ratio** を設定します。
3. **OK** をクリックします。

デバイス取付高さ

ドームが自動的に赤外線ランプを調整できるように、地面からの実際の赤外線ドームの取付高さを入力します。



ヒント！

この機能は、一部の赤外線カメラでしかサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. **[Setup] > [System] > [Maintenance]** とクリックします。

Mounting Info		
Mounting Height (cm)	600	OK

2. 地面からの実際の赤外線ドームの取付高さを入力します。
3. **OK** をクリックします。

魚眼カメラパラメータ

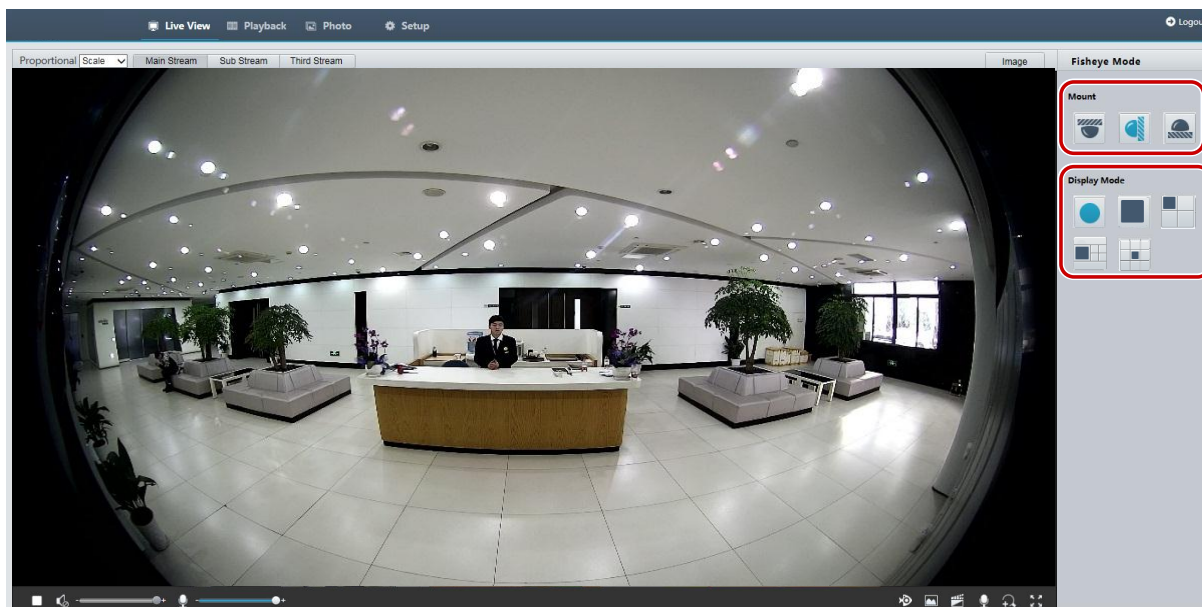
ビデオを適切に表示するには、実際の取付モードに応じて、魚眼パラメータを適切に設定する必要があります。



ヒント！

この機能は、一部の魚眼カメラでしかサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。





1. [Live View] > [Mount] とクリックします。取付モードを選択します。選択した取付モードが、実際の取付モードと一致していなければなりません。





カメラのモデルによっては、このページは次のように表示されます。



2. パラメータを設定します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

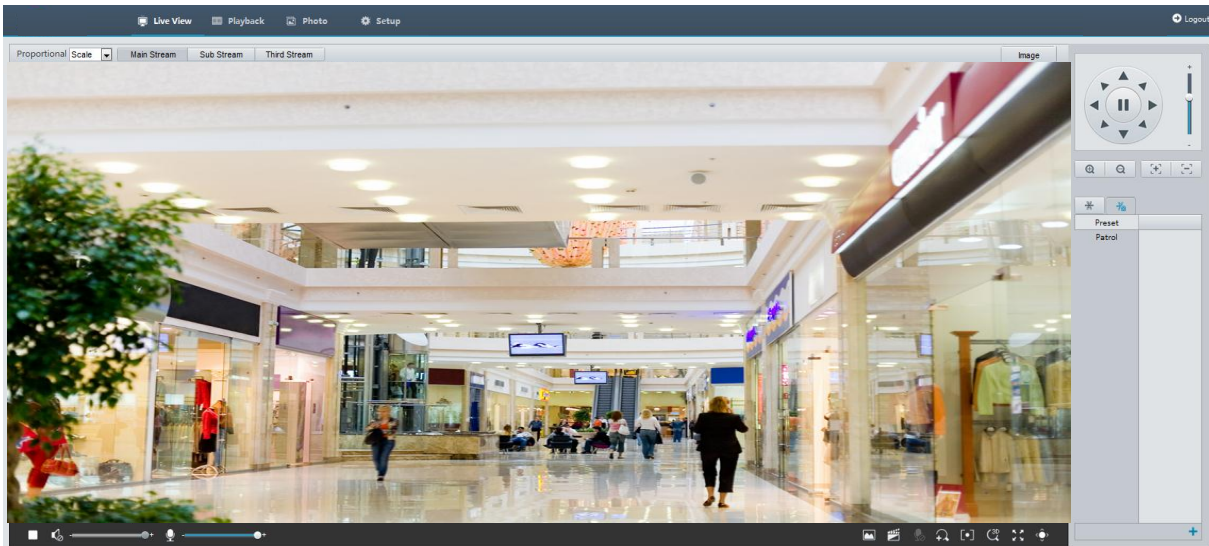
パラメータ	説明
   	11 種類のディスプレイモード : <ul style="list-style-type: none"> • オリジナル • パノラマ • パノラマ + 3PTZ • パノラマ + 4PTZ • パノラマ + 8PTZ • 360° パノラマ + 1PTZ • 180° パノラマ

パラメータ	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • 魚眼 + 3PTZ • 魚眼 + 4PTZ • 360° パノラマ + 6PTZ • 魚眼 + 8PTZ
	<p>3種類の取付モード：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 天井 • 壁面 • デスクトップ <p>注意： 選択した取付モードが、実際の取付モードと一致していなければなりません。</p>

4 ライブビュー

ライブビューとは、ウェブインターフェースを通じて、ウィンドウに、カメラからライブビデオ（リアルタイムの音声とビデオ）を再生することを意味します。

Live View チェックボックスを選択してログインすると、デフォルトでは、ログイン時にライブビデオが表示されます。ウィンドウをダブルクリックすると、全画面表示をオンオフすることができます。



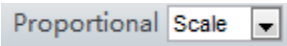





ライブビューツールバー



ヒント！

サポートされるライブビュー操作は、カメラのモデルによって異なることがあります。お使いのカメラでサポートされる操作については、ウェブインターフェースをご覧ください。

ボタン	説明
	ライブビューの再生と停止
	PCでメディアプレイヤーの出力音量を調整します。
	PCとカメラの間の音声通信で、PCのマイクの音量を調整します。
	現在PCに表示されている画像のスナップショットを撮影します。 注意： スナップショットの保存パスは System Configuration で設定されます。
	ローカル録画を開始/終了します。 注意： ローカル録画の保存パスは System Configuration で設定されます。
	PCとカメラの間の音声通信を開始/終了します。
	デジタルズームを開始/終了します。詳細については デジタルズームの使用 を参照してください。
	エリアフォーカスを開始/終了します。詳細については エリアフォーカスの使用 をご覧ください。
	3Dポジショニングを開始/終了します。詳細については 3Dポジショニングの使用 を参照してください。
	PTZコントロールパネルを表示/非表示します。

ボタン	説明
	ウィンドウで画像表示比率を設定します。たとえば、オリジナルの16:9で高解像度画像を表示するには、 Scale を選択します。ウィンドウのサイズに応じて表示するには Stretch を選択します。オリジナル画像サイズで表示するには Original を選択します。
	パケットロスレートをゼロにリセットします。 注意： ライブビューウィンドウでカーソルを移動すると、浮動ツールバーにこのボタンが表示されます。
	ウィンドウ下部に、パケットロスレートとビットレートの情報が表示されます。 注意： ライブビューウィンドウでカーソルを移動すると、浮動ツールバーにこのボタンが表示されます。 このボタンをクリックすると、いつでも情報を表示することができます。もう一度クリックすると、ウィンドウの上にカーソルを移動させたり下部に配置したときにのみこの情報が表示されます。カーソルがウィンドウ上で3秒間静止したり、カーソルがウィンドウの外に出ると、情報が非表示になります。
	このボタンをクリックすると画像設定ページが開きます。
	全画面モードで表示されます。
	メインストリーム、サブストリーム、サードストリームの中から、カメラがサポートするライブビデオストリームを選択します。

画像中の特定エリアの表示


デジタルズーム、エリアフォーカス、3D ポジショニングによって、画像中の特定エリアを表示することができます。デジタルズームでは、画質を犠牲にして画像が拡大されますが、3D ポジショニングでは画質を悪化させずに拡大できます。

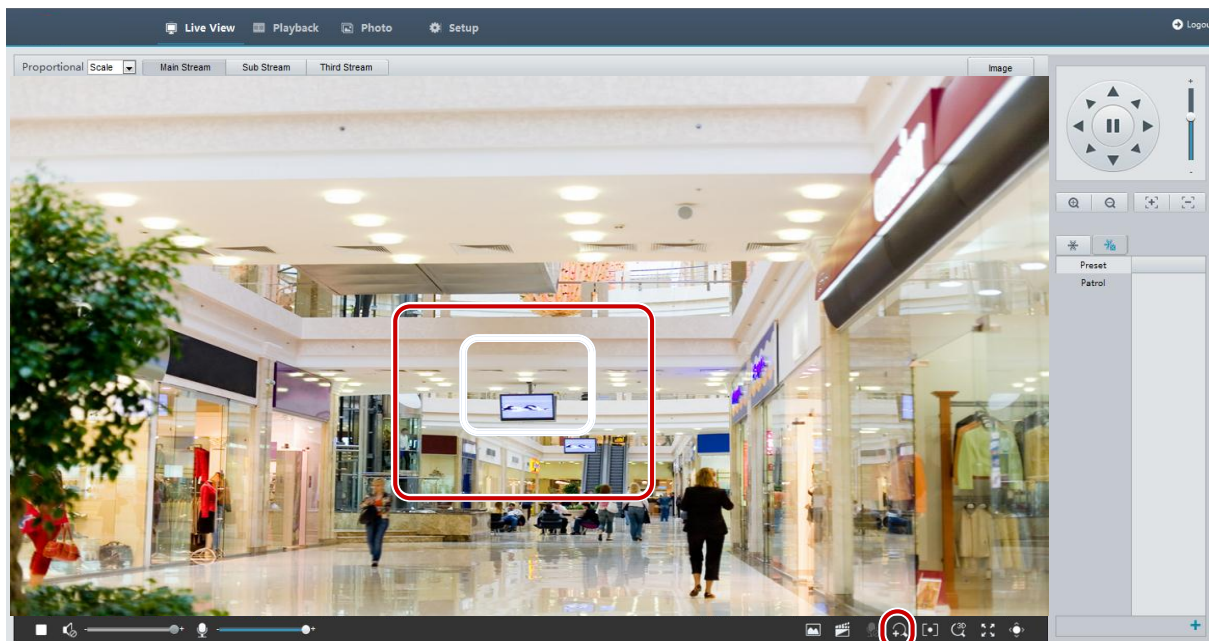
デジタルズームの使用




ヒント！

サポートされるライブビュー操作は、カメラのモデルによって異なることがあります。お使いのカメラでサポートされる操作については、ウェブインターフェースをご覧ください。

1. Live View ページのツールバーで  をクリックします。




2. マウスのボタンを押しながら上から下へドラッグして（長方形を描いて）エリアを指定します。オリジナル画像サイズを復元し画像の別の部分を拡大するには、マウスを右クリックします。
3. 終了するには  をクリックします。

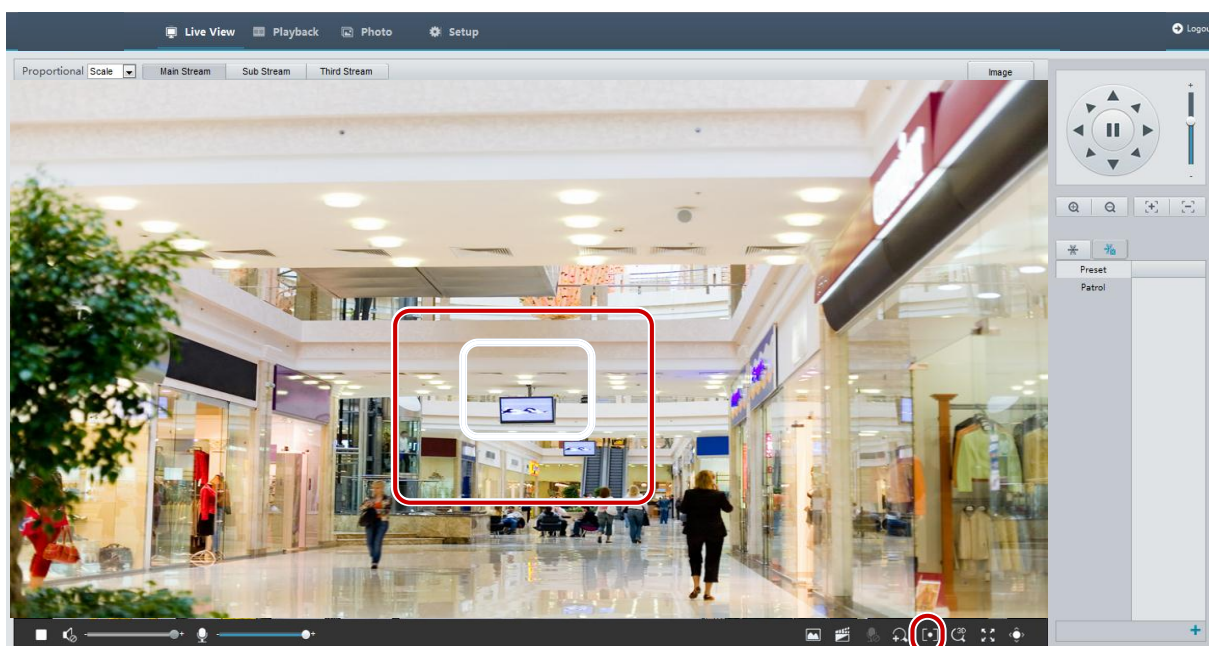
エリアフォーカスの使用




ヒント！

サポートされるライブビュー操作は、カメラのモデルによって異なることがあります。お使いのカメラでサポートされる操作については、ウェブインターフェースをご覧ください。

1. Live View ページのツールバーで  をクリックします。




2. マウスのボタンを押しながら上から下へドラッグして（長方形を描いて）エリアを指定します。
3. 終了するには  をクリックします。

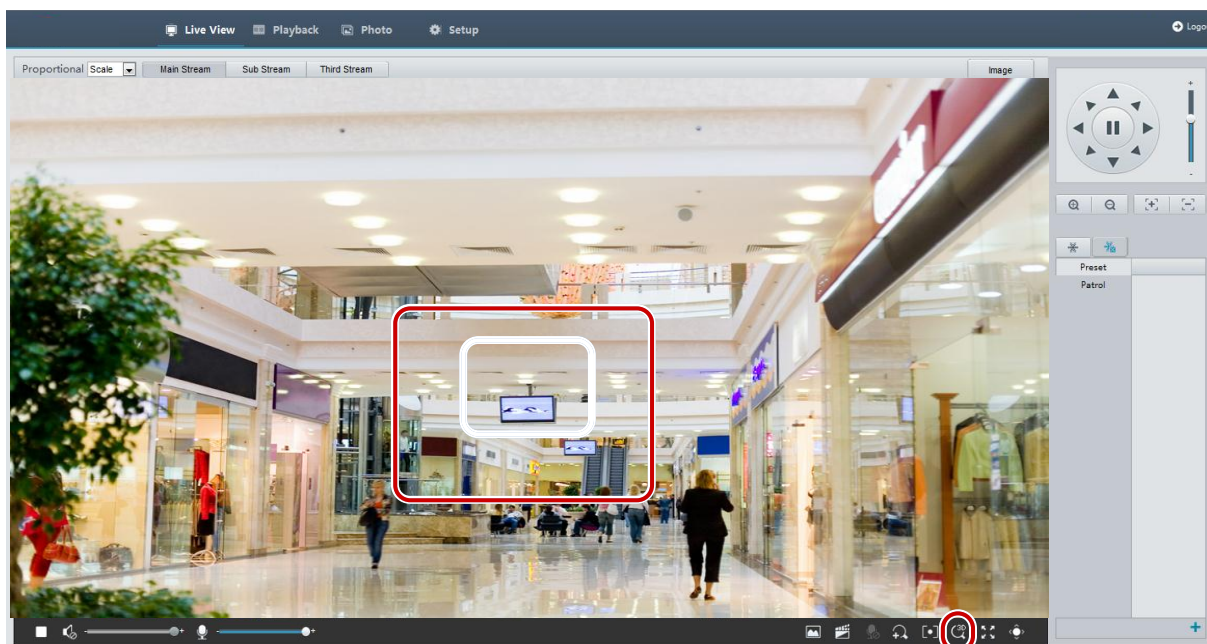
3D ポジショニングの使用




ヒント！

この機能は、ネットワーク PTZ カメラと、電動ズームレンズと PTZ が装備されたネットワークボックスカメラでのみ利用できます。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

1. Live View ページのツールバーで  をクリックします。



2. マウスのボタンを押しながら上から下へドラッグして（長方形を描いて）エリアを指定します。逆に（下から上に）ドラッグすると、縮小されます。
3. 終了するには  をクリックします。

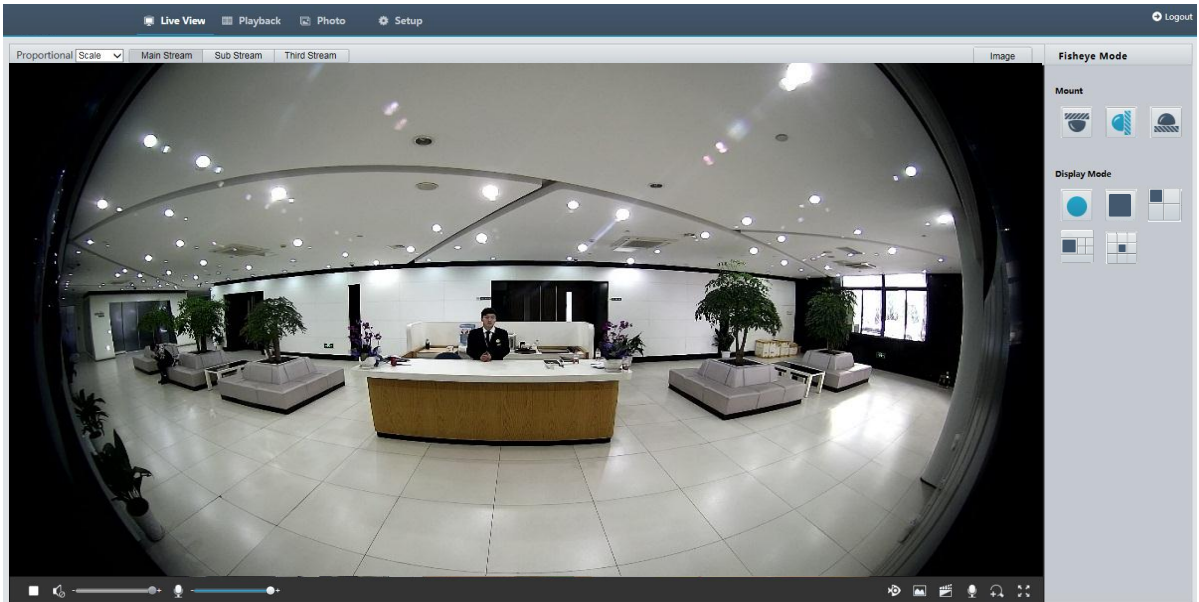
魚眼カメラのライブビュー



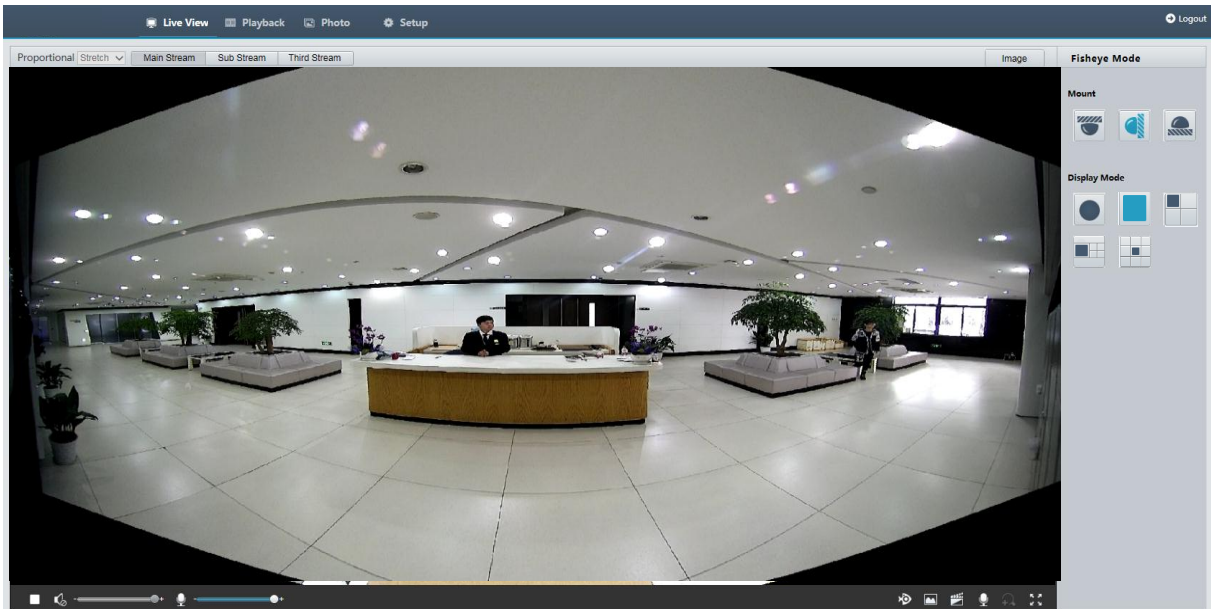
ヒント！

- この機能はネットワーク魚眼カメラでしかサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。
- ウェブ上でのプレビュー画像は、カメラの魚眼設定に応じて変化します。ライブビューを開始する前に、魚眼カメラパラメータ（[魚眼カメラパラメータを参照](#)）とカメラの魚眼モードを設定してください。

ディスプレイモードには、主に、オリジナル画像、魚眼と PTZ、パノラマ+PTZ の3つのモードがあります。取付モードが異なると、画像の表示も異なります。以下の例では壁面取付を取り上げます。オリジナル画像を選択すると、次のように魚眼画像が表示されます。



パノラマを選択すると、次のように、歪曲補正されたパノラマ画像が表示されます。

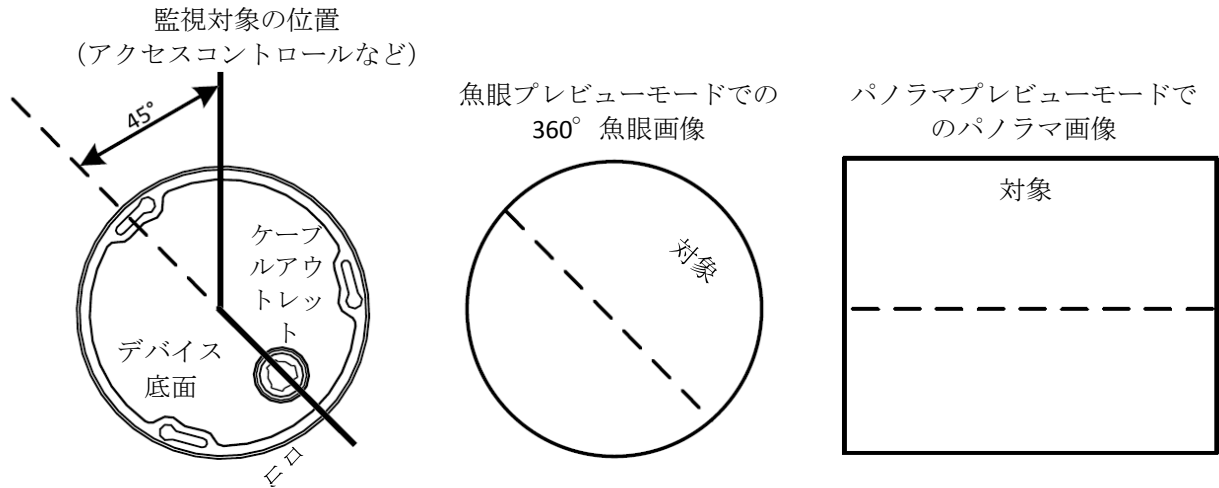




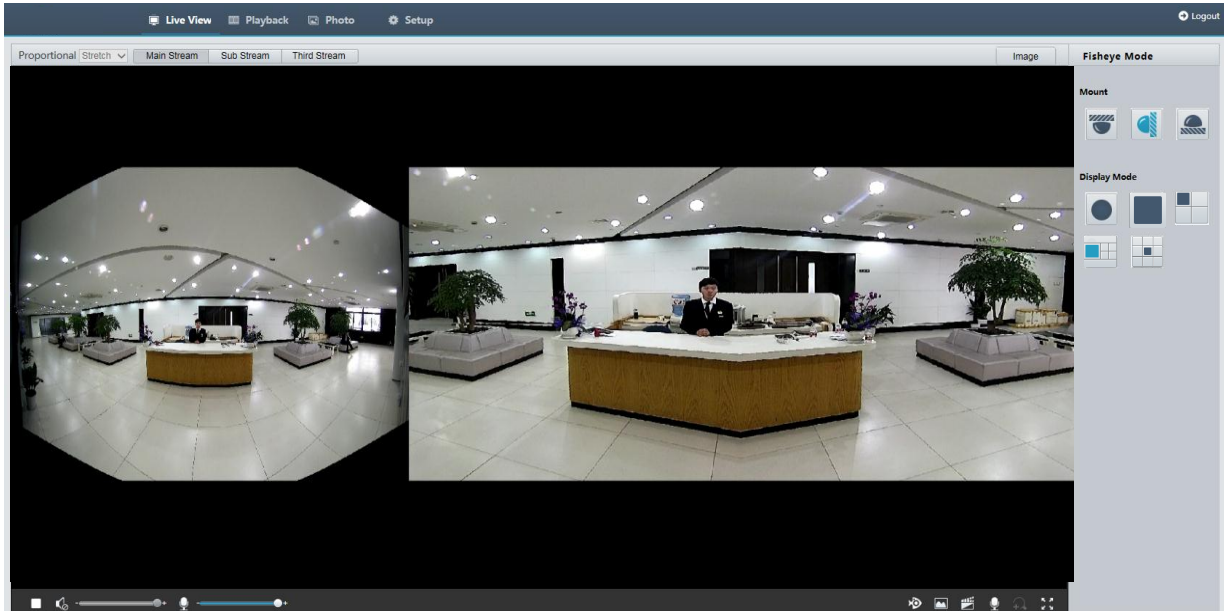
ヒント!

天井取付やデスクトップ取付を採用した場合、パノラマ画像（2枚の180°画像）は、魚眼プレビュー画像（360°画像）の歪曲補正画像になります。実際の監視要件に適した画角に、カメラを取り付けてください。

たとえば、天井に取り付けたカメラで、デバイスのケーブルアウトレット（ロゴ）と監視対象との間の交差角度が時計回りに135°であった場合、監視対象はパノラマ画像の上部に表示されます。



右のリストでパノラマ + 4PTZ プレビューモードが選択されると、デフォルトでは、左から右へ、上から下へ、4枚のローカル画像が表示されます。下図に示すように、各ローカル画像で、PTZコントロールとズーム操作を実行することができます。




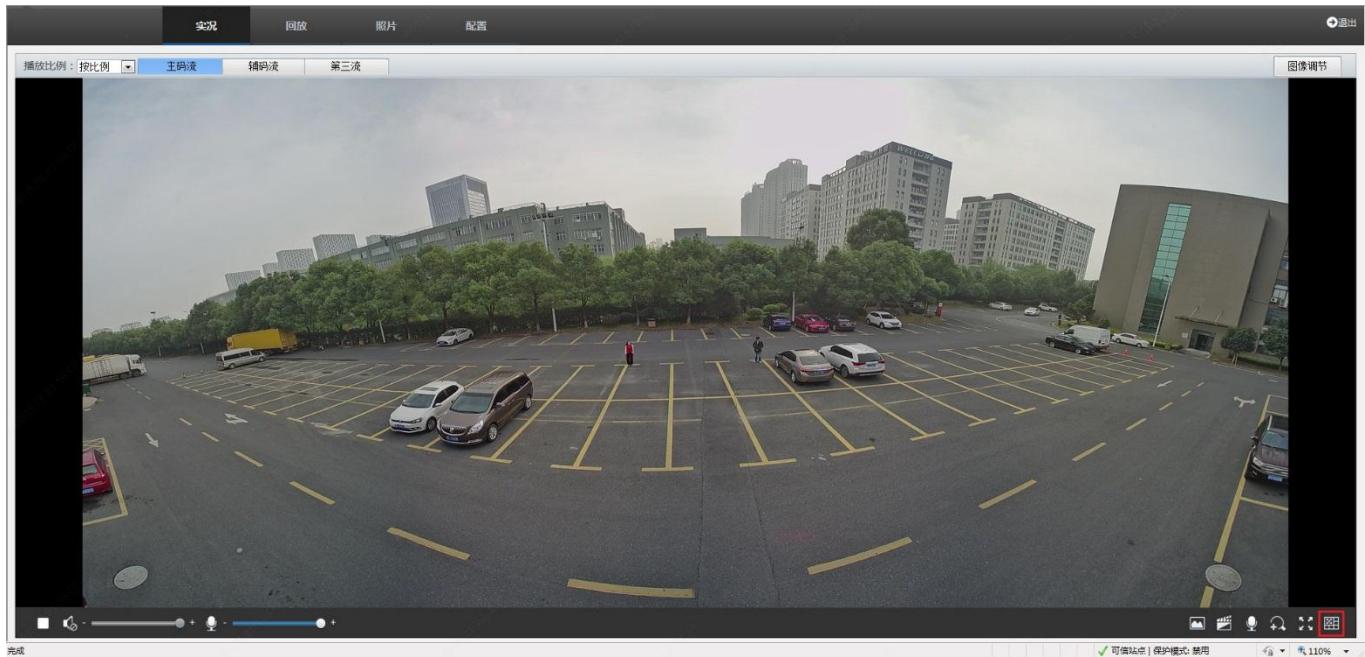
パノラマカメラの5ePTZ




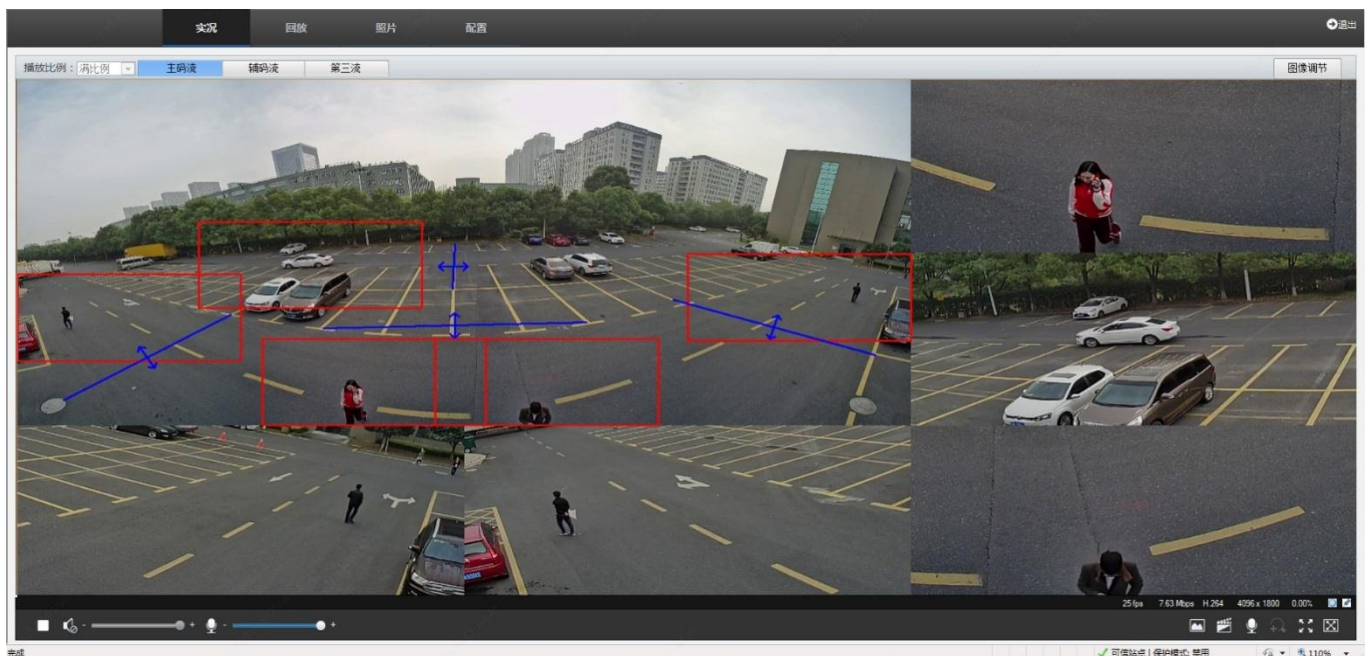
ヒント!


一部のカメラモデルでのみこの機能がサポートされます。詳細については、実際のモデルをご覧ください。自動追跡はメインストリームでのみサポートされます。

1. 下図に示すように、Live View ページでツールバー  を選択します。



2. パノラマモードで  をクリックすると、ライブビューが 5ePTZ 追跡モードになります。するとカメラは、周辺保護機能が有効になっている場合にライブビューで動体を追跡します。さらに、同時に、最大 5 個まで、周辺保護機能で設定したアラームルーツをトリガーする対象物を追跡して拡大することができます。この機能は、PTZ カメラの追跡・拡大機能と同様に動作します。



3. 5ePTZ 追跡モードで  をクリックするとパノラマモードに切り換わります。

5 エッジストレージによるビデオ再生とダウンロード



ヒント！

- エッジストレージとは、フロントエンドデバイス（ほとんどの場合カメラ）のメモリカードへの録画を指しています。ローカル録画とはローカル PC クライアントへのビデオ録画を指しています。
- エッジストレージでビデオを再生する前に、カメラにメモリカードがインストールされストレージが設定されていることを確認してください。
- この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

ビデオ再生

1. ホームページで **Playback** をクリックします。

The screenshot shows a video player displaying a mall interior. A calendar overlay is visible in the top right corner, with the date '13' selected. Below the calendar, there is a 'Recording Download' section with a 'Query' button. Underneath, a list of time intervals is shown under the heading 'Results'.

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

Recording Download

Query

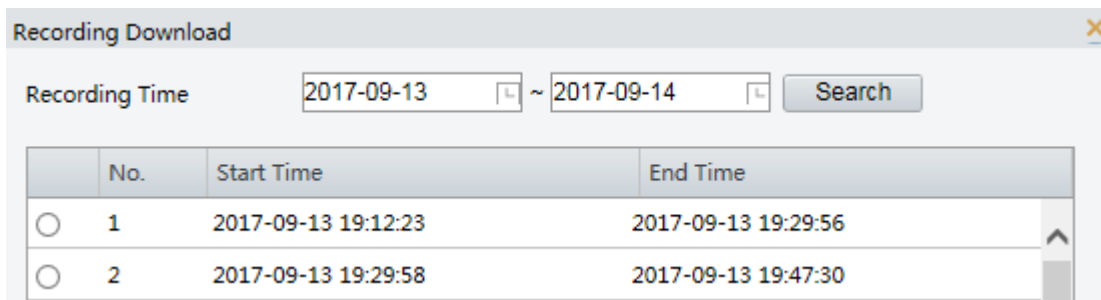
Results

- 18:19:38 - 18:37:11
- 18:37:13 - 18:54:46
- 18:54:48 - 19:12:21
- 19:12:23 - 19:29:56
- 19:29:58 - 19:47:30
- 19:47:32 - 20:05:05
- 20:05:07 - 20:22:40
- 20:22:42 - 20:40:15
- 20:40:17 - 20:57:49
- 20:50:04 - 22:07:35
- 20:57:51 - 21:15:24
- 21:15:26 - 21:32:59
- 21:33:01 - 21:49:18
- 22:07:37 - 22:25:09
- 22:25:11 - 22:30:19
- 22:37:15 - 22:37:27
- 22:38:23 - 22:39:05

2. カレンダーから日付を選択します。
3. **Query** をクリックします。
4. **Results** で時間をダブルクリックすると録画の再生が開始します。

ダウンロード

1. ホームページで **Playback** をクリックします。



2. 指定時間内でビデオを検索します。リストに検索結果が表示されます。
3. ビデオを選択し **Download** をクリックします。ビデオは、メモ리카ードからローカルパスにダウンロードされます（ローカルパスは **Local Settings** で変更できます）。
4. **Open** をクリックすると、ダウンロードされたビデオが保存されているフォルダが表示されます。

6 PTZ コントロール








この機能は PTZ ドームカメラまたはパン/チルトモーターにインストールされたボックスカメラでのみ利用できます。











ヒント！

- レンズコントロール機能の一部は、電動レンズを搭載したカメラに適用されます。
- PTZ コントロールボタンはカメラのモデルによって異なることがあります。お使いのカメラでサポートされる PTZ コントロールボタンについては、ウェブインターフェースをご覧ください。

PTZコントロールツールバー

項目	説明
プリセット	プリセットを選択して  をクリックします。PTZ カメラに、選択されたプリセットが適用されます。 プリセットを追加するには  をクリックします。プリセットを削除するには  をクリックします。
パトロール	パトロールルートを選択し  をクリックすると、パトロールを開始します。 <ul style="list-style-type: none">• パトロールルートを編集するには  をクリックします。• パトロールルートを追加するには  をクリックします。• パトロールルートを削除するには  をクリックします。

項目	説明
	PTZ カメラの移動速度を調整します。
	PTZ カメラの方向を制御し、コントロールをリリースします。
	<p>IR をオン/オフにします。</p> <p>ワイパーをオン/オフします。</p> <p>ヒーターをオン/オフします。</p> <p>照明をオン/オフします。</p> <p>スノーコントロールをオン/オフします。</p>
	カメラのフォーカスを調整します。
	カメラのズームを調整します。
	絞り径を増減します。
	<p>PTZ コントロールのショートカットキー。ライブビューでカーソルの形がこれらの形状のいずれかに変化したら、左マウスボタンを押しながら PTZ カメラを操作します。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> PTZ ドームカメラと PTZ カメラのみがこの機能をサポートします。 3D ポジショニングまたはデジタルズームを使用している場合は、これらのボタンは使用できません。
	<p>ライブビューにおける拡大縮小用ショートカットキー。ホイールを前方にスクロールすると拡大され、後方にスクロールすると縮小されます。</p> <p>注意：</p> <p>この機能は、電動ズームレンズを搭載したカメラでのみサポートされます。</p>

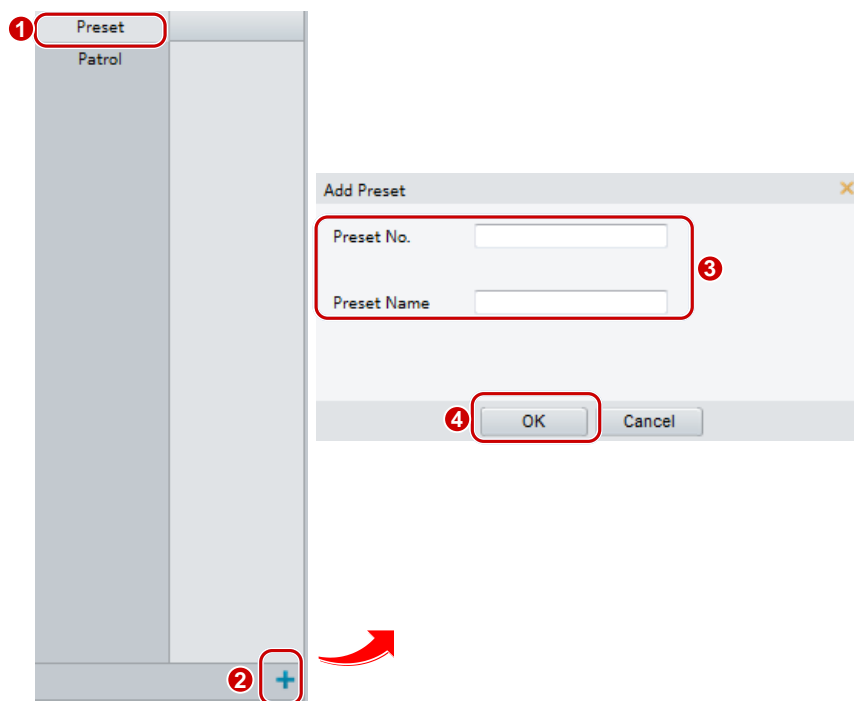
プリセットによるパトロールの設定

プリセットの設定

Preset タブで、プリセットを管理したり、PTZ カメラの制御操作を実行することができます。詳細については [PTZ コントロールツールバー](#) を参照してください。

プリセットの追加

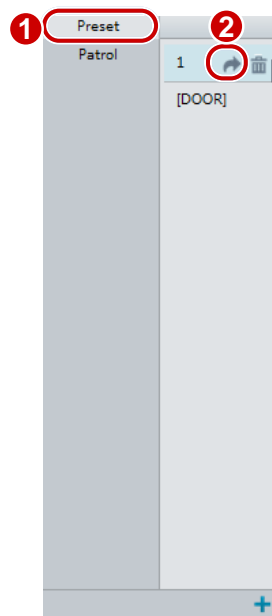
1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Preset** をクリックします。




2. 希望の方向を向くまでカメラを調整します。
3. 最適な画像が得られるように、必要に応じてズームとフォーカスを調整します。
4. **+** をクリックして、プリセットとして追加します。プリセットの番号と名前を入力し、**OK** をクリックします。

プリセットに進む

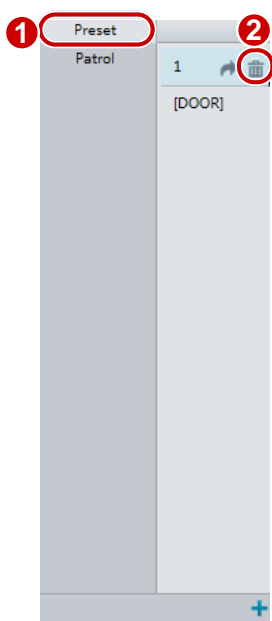
1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Preset** をクリックします。




2. プリセットで  をクリックします。PTZ カメラに、選択されたプリセットが適用されます。

プリセットの削除

1. Live View ページのコントロールパネルで **Preset** をクリックします。



2. プリセットで  をクリックし、削除を確定します。

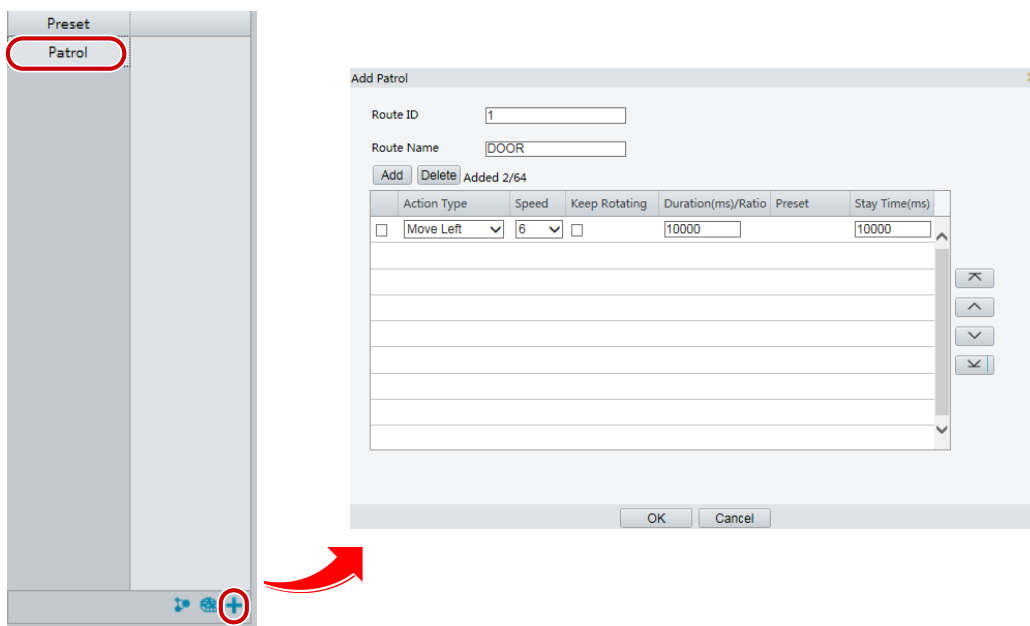
パトロールの設定

パトロールルートとは、1つのプリセットから次のプリセットに移動したときに PTZ カメラがフォローするトラックを指しています。PTZ カメラが各プリセットに滞在する時間を設定することができます。1台の PTZ カメラで複数のパトロールルートを設定することができます。

パトロールアクションの例として、プリセットに進み、特定の時間1つのプリセットに滞在してから次のプリセットに進む、などが挙げられます。回転方向、ズーム、回転速度、パトロール時間、滞在時間を設定することができます。システムはルートを記録し、それをアクションリストに追加します。**Keep Rotating** を選択すると、PTZ カメラは同じルートとパトロールを繰り返しフォローします。

パトロールルートの追加

1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Patrol** をクリックします。



2. **+** をクリックします。
3. **Add Patrol** ページにルートの ID と名前を入力し、**Add** をクリックすると、パトロールアクションが追加されます。最大 64 個のアクションが追加できます。アクションタイプが **Move Direction** と **Zoom** に設定されると各ラインには 2 個のアクションが含まれます。すなわち、32 個のアクションが許可されることとなります。このボタンを使用してアクションの順番を調整します。

パトロールアクションの例：

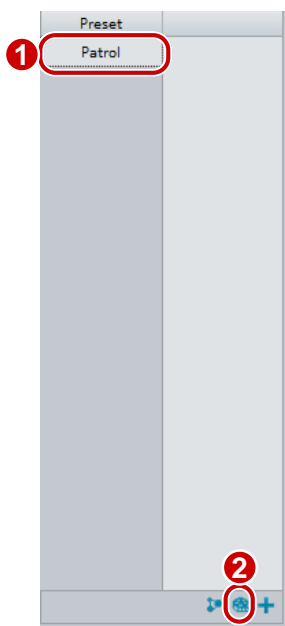
- プリセットに進み、1つのプリセットに指定の時間滞在してから次のプリセットに進む。
- 設定速度で指定の時間、設定方向に回転する。拡大する。設定位置に指定の時間滞在する。**Keep Rotating** が選択されている場合、パトロールを繰り返す。





最初のアクションタイプとして **Go to Preset** が推奨されます。

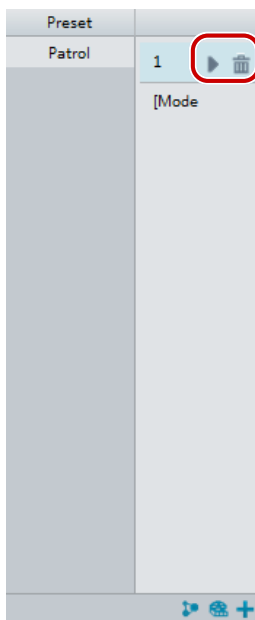
4. **OK** をクリックします。

パトロールルートの記録

1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Patrol** をクリックします。

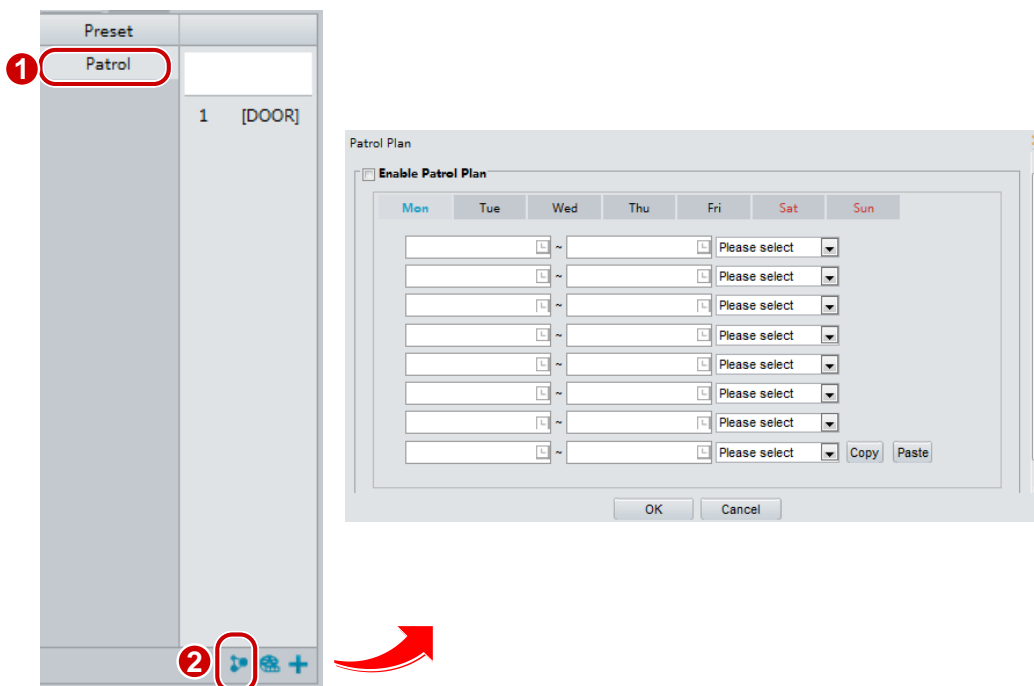



2.  をクリックすると、パトロールルートの記録が開始されます。記録中に、カメラの方向やズームを調整することができます。システムはカメラの動きとトラックを記録し、それらをアクションリストに追加します。
3.  をクリックすると記録が終了します。すると、自動的に、モジュールとして、パトロールルートが保存されます。 をクリックするとパトロールが開始し、 をクリックするとモジュールが削除されます。



パトロールプランの作成

1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Patrol** をクリックします。

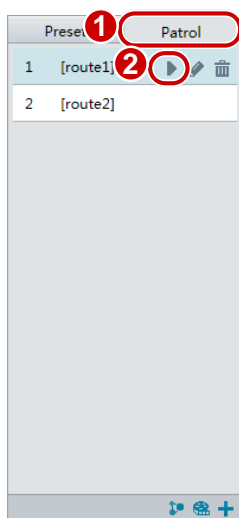



2.  をクリックします。パトロールプランを設定するページが表示されます。
3. パトロールの時間とルートを正しく設定します。
4. **Enable Patrol Plan** を選択します。
5. **OK** をクリックします。

パトロールルートの開始

パトロールルートを追加した後で、パトロールルートを選択するとパトロールが開始しします。

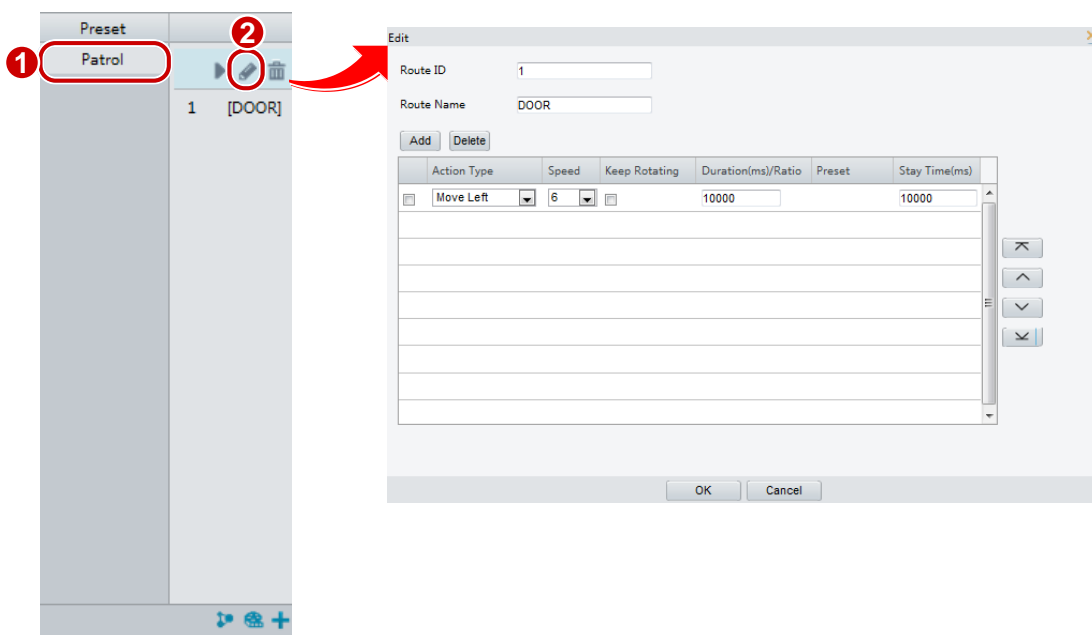
1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Patrol** をクリックします。




2. 開始したいパトロールルートで  をクリックします。

パトロールルートの編集

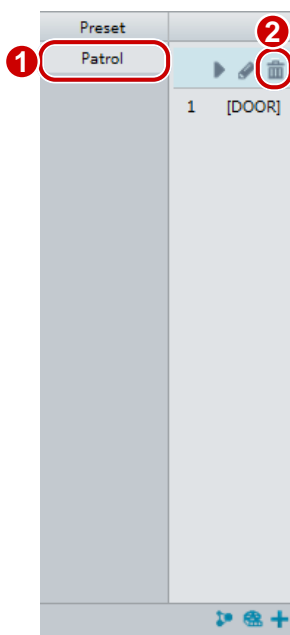
1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Patrol** をクリックします。



2. 編集したいパトロールルートで  をクリックし、必要に応じて設定を変更します。

パトロールルートの削除

1. **Live View** ページのコントロールパネルで **Patrol** をクリックします。



2. 削除したいパトロールルートで  をクリックし、削除を確定します。

ホームポジションの設定

指定時間内に操作されなかった場合、PTZ カメラはホームポジションに戻ります。



ヒント！

- この機能はネットワーク PTZ カメラでのみ利用できます。
- まず、プリセットまたはパトロールルートを追加する必要があります。詳細については、[プリセットの追加](#)と[パトロールルートの追加](#)をご覧ください。

1. [Setup] > [PTZ] > [Home Position] とクリックします。

Home Position On Off
Mode
ID
Idle State(s)

2. モードと ID を選択します。
3. Save をクリックします。

PTZのリモートコントロール

サードパーティプラットフォームが使用されているが PTZ プロトコルがそれにマッチしない場合、リモートコントロール機能を設定して PTZ を制御することができます。



ヒント！

この機能は PTZ カメラでしかサポートされません。

1. [Setup] > [PTZ] > [Remote Control] とクリックします。

Remote Control On Off
Listener Port
Address Code

2. On を選択して Remote Control を有効にします。リスナーポートとアドレスコードを設定します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

頭字語	説明
リスナーポート	未使用のカメラのローカルポートをリスナーポートにすることができます。必要な場合にのみ、デフォルト設定を変更します。
アドレスコード	カメラは、指示に記載されているアドレスコードのみを読み取ることができます。カメラは、指示中のアドレスコードがここで設定されているアドレスコードである場合にのみ、指示を翻訳します。

3. Save をクリックします。

PTZの限界

PTZ カメラが壁面などの障害物と衝突しないように、回転限界を設定します。



ヒント！

この機能は一部の PTZ カメラでしかサポートされません。

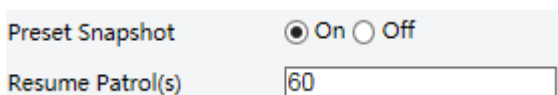
1. [Setup] > [PTZ] > [PTZ Limit] とクリックします。



2. 方向ボタンを使用して、希望の位置にカメラを回転します。
3. をクリックして、現在位置を限界に設定します。たとえば、上部の をクリックすると、上限が設定されます。 をクリックすると、方向が変化した場合に、現在の位置までカメラが回転します。
4. 必要に応じて上の手順を繰り返して、全部の限界（上下左右）を設定します。
5. **Save** をクリックします。
6. **Start PTZ Limit** をクリックすると、設定が適用されます。
7. をクリックすると、設定が削除され、限界がリセットされます。

パトロールの再開

1. [Setup] > [PTZ] > [Patrol] とクリックします。



2. パトロールが再開される時刻を設定します。
3. **Save** をクリックします。

7 LPR (ナンバープレート識別)

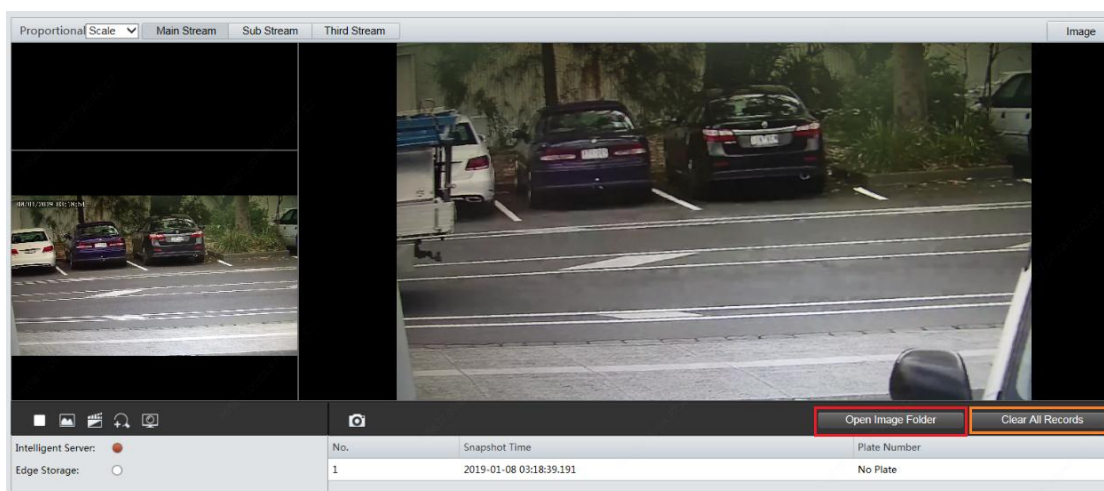


ヒント!

- この機能は一部のモデルのみで利用できます。

LPR ライブビュー

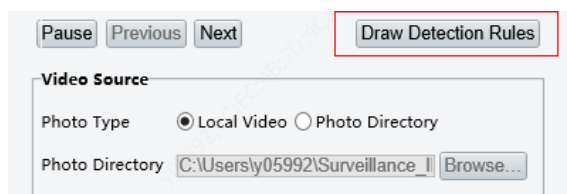
- マイクロ SD カードがインストールされているカメラでは、SD カードにスナップショットが保存されます。SD カードがインストールされていない場合、スナップショットは PC に保存されます。**Open Image Folder** をクリックすると、スナップショットが表示されます。左上のペインにプレートのクローズアップ画像が表示されます。
- Clear All Records** をクリックすると、スナップショットの記録がクリアされます。



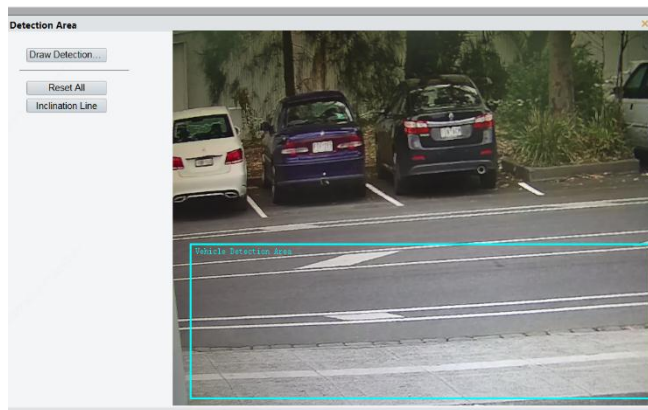
LPR の設定

検知エリアの設定

- [Setup] > [Intelligent] > [Traffic Monitoring] とクリックします。**Draw Detection Rules** をクリックします。



2. **Draw Detection Rules** をクリックし、スナップショットに検知エリアを描きます。



3. **Inclination Line** をクリックし、路面の傾斜を示す傾斜線を描きます。



フローカウンタのリセット

[Setup] > [Intelligent] > [Traffic Monitoring] > [Smart] > [Reset Flow Counting] とクリックします。
LPR スナップショットをリセットする時刻を設定します。

Smart	Snapshot Handling	Photo
Reset Flow Counting		
<input type="checkbox"/> Reset Counter at 04:00:30 <input type="button" value="L"/>		
<input type="button" value="Clear Counting Result"/>		
<input type="button" value="Save"/>		

スマートスナップショット処理

[Setup] > [Intelligent] > [Traffic Monitoring] > [Snapshot Handling] とクリックします。通常はデフォルト設定が推奨されます。

未確認車両：未確認車両を通過記録を作成するか否かを選択します。デフォルトではこの機能が起動しています。

写真生成：プレートのクローズアップ画像を表示するか否かを選択します。デフォルトでは、画像が表示されるように設定されています。

写真

[Setup] > [Intelligent] > [Traffic Monitoring] > [Photo] とクリックします。このページでスナップショット OSD を設定します。

項目	説明
1 枚の写真	フォントの色：OSD テキストの色です。 背景色：OSD 背景色です。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
文字スペース	OSD 文字間のスペースを設定します。
時間フォーマット	時間フォーマットを設定します。
日付フォーマット	日付フォーマットを設定します。
OSD 項目	OSD 項目を選択します。 項目を選択すると、下表を編集して各項目のOSD 設定の詳細を記入することができます。

付録 A 用語集

頭字語	説明
ARP	アドレス解像度プロトコル
CBR	固定ビットレート
DNS	ドメイン名サービス
DDNS	ダイナミックドメイン名サービス
DHCP	ダイナミックホスト設定プロトコル
DST	夏時間
FTP	ファイル転送プロトコル:
GOP	画像集合体
GUI	グラフィックユーザインターフェイス
HTTPS	ハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル・オーバー SSL
IE	インターネットエクスプローラー
IMOS	IP マルチメディアオペレーションシステム
IP	インターネットプロトコル
IPC	IP カメラ
MTU	最大伝送単位
NTP	ネットワーク時間プロトコル
OSD	オンスクリーンディスプレイ
PoE	パワー・オーバー・イーサネット
PPPoE	ポイント・トゥ・ポイント・プロトコル・オーバー・イーサネット
PTZ	パン、チルト、ズーム
ROI	関心領域
SMTP	シンプルメール転送プロトコル
SSL	セキュアソケットレイヤー
UNP	ユニバーサルネットワークパスポート
USB	ユニバーサルシリアルバス
VBR	可変ビットレート
WDR	ワイドダイナミックレンジ

付録 B よくある質問

初めて Windows 7 PC でログインしたときに、ActiveX をインストールするよう指示するメッセージが表示されないのですが、どうしたらよいですか

回答：次の手順で UAC をオフにし、再度ログインしてください。

1. Start ボタンをクリックし、Control Panel をクリックします。
2. 検索ボックスに uac と入力し、Change User Account Control Settings をクリックします。
3. スライダーを Never Notify の位置に動かし、OK をクリックします。
4. UAC がオフになったら、再度ログインします。

ActiveX のインストールに失敗しましたが、どうしたらよいですか

回答：インストールが失敗したら、次のように、信頼できるサイトとしてカメラの IP アドレスを追加します。IE で Internet Option を開き、Security タブをクリックし、Trusted sites をクリックし、Sites をクリックしてウェブサイトを追加します。

Windows 7 を使用する場合、まず PC に setup.exe を保存し、ファイルを右クリックし、Run as administrator を選択し、指示に従ってインストールします。

初めてログインしたときにライブビデオが表示できませんでしたが、どうしたらよいですか

回答：PC のファイヤーウォールを閉じ、ウェブインターフェースに再度ログインしてください。